年報２０１６の発行にあたって

平成２８年、当館は平成８年１０月２２日の開館以来２０年の記念の年を迎えました。

自然史博物館は本県の自然史系の学術文化の中心施設として自然や生物等に関わる資料の収集・保管や調査・研究を行うとともに、自然の成り立ちや仕組み、自然界の構造、生命の進化について理解していただくため展示や観察会等の教育普及活動を行ってきました。平成２８年度末には、開館以来の累計観覧者数は３５０万人、教育普及事業参加者は７０万人に達しました。

また、本年度開館２０年目を迎え、自然史博物館が取り組むべき今後１０年間の指針を基本構想としてまとめました。「人々が集い、学び、人間と自然が共存できる調和した未来を追求し、心豊かな暮らしを人々が協働で創造していく」「人々の、人々による、人々のための開かれた博物館」を目標に、自然史博物館の理念（ビジョン）を「生きた自然史を探究・継承し、守り、伝え、人を育てる」としました。これからの自然史博物館の活動に御期待ください。

平成２８年度は、３つの企画展と２つの特別展を開催しました。前年度３月１９日から５月１５日まで開催した第５１回企画展「よろいをまとった生き物たち」では、人がまとった甲冑に始まり、過去から現在までの時間的な切り口と、棲息場所に着目した空間的な切り口で、多様なよろいをまとった生き物たちを紹介しました。第５２回企画展では開館２０周年記念展として、*T.rex* とその仲間をテーマとし、この恐竜やその仲間の生態や進化をはじめ、様々な最新の研究成果を紹介する「超肉食恐竜 *T.rex* 展」を開催しました。展示構成は２部構成で、平成２８年７月１６日から９月２２日までを前期「EpisodeⅠ　ティランノサウルスのいた時代とからだ」、平成２８年１０月１日から１１月２７日までを後期「EpisodeⅡ　ティランノサウルスへの進化」として、前期と後期で展示の基本ストーリーを変更し、展示標本の一部を入れ替えました。恐竜の中でも人気の高い *T.rex* の企画展示ということもあり、リピーターも多く企画展観覧者数は、１１７,４５１人と企画展歴代１位の観覧者数となりました。平成２９年３月１８日から開催した第５３回企画展「尾瀬を科学する」では一般に知られることはほとんどなかった第三次尾瀬総合学術調査以降の研究成果とそのフィールドを紹介しました。平成２９年１月１４日から２月１９日まで開催した特別展「開館２０周年記念　自然史博物館２０年のあゆみ～コレクション展～」では、「標本」をキーワードとして、収蔵資料を展示するのみでなく、これからの博物館ビジョンも合わせ展示・紹介を行いました。平成２９年１月１４日から２月１９日まで開催した特別展「ぐんまの自然のいま」では自然保護・保全に携わる団体の活動成果等を紹介しました。

調査研究分野では「奥多野及び周辺地域学術調査」を行ったほか、担当分野別調査研究２１本、大学や専門機関等の連携による調査研究４０本等、県内を中心に調査研究を進めました。また、論文１７編からなる群馬県立自然史博物館研究報告第２１号を発行しました。

教育普及事業では、毎週土曜日に開催する「サイエンス・サタデー」をはじめ、ファミリー自然観察会、講演会、各種ツアー、ビデオ上映会などの他、次世代の育成として、小中学生を対象にした「ミュージアムスクール」や高校生を対象とした「高校生学芸員」等を実施しています。さらに学校団体向けに展示解説員による定時解説や随時解説の実施、並びに館内授業や出前授業等を通じて平成２８年度は延べ６７，２２６名が参加しました。

博物館活動の評価では、平成２８年８月に自己評価結果を公開後、１２月までに博物館専門委員３名による外部評価を公表しました。

博物館の活動では７９名の博物館ボランティアをはじめ、県内外の研究者、自治体関係者など、多数の皆様の御協力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申しあげます。

この度、平成２８年度の事業概要を年報としてまとめました。皆様の御高覧を賜りますとともに、引き続き御指導、御協力をお願いいたしまして、御挨拶とさせていただきます。

平成２９年６月

群馬県立自然史博物館
名誉館長　長谷川　善和

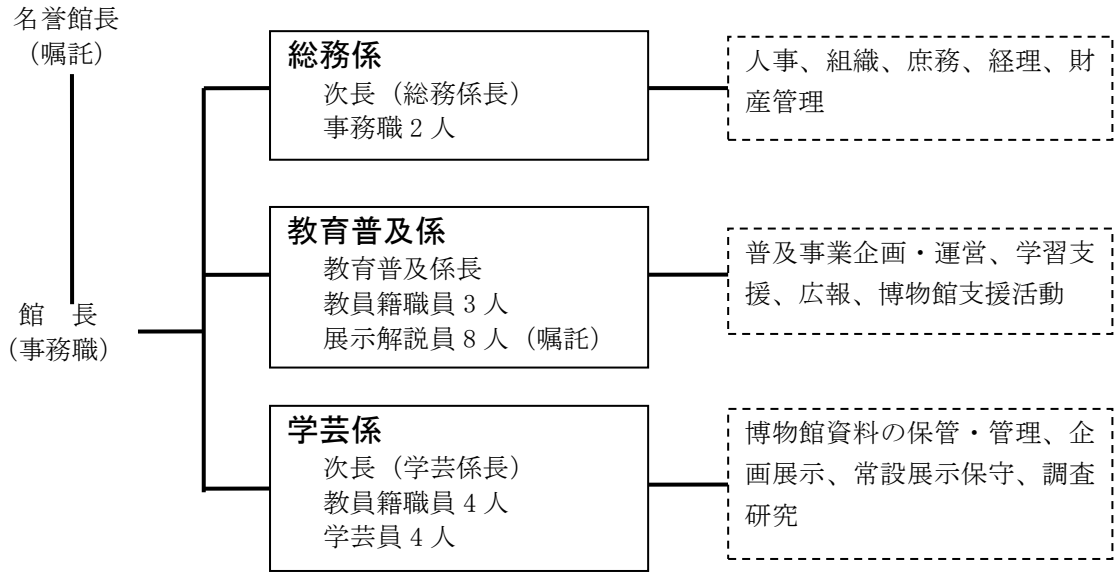
Ⅰ　管理

1　沿革

群馬県立自然史博物館の沿革は次のとおり。

昭和 32 年 3 月 12 日	「群馬県立博物館」として開館(群馬県富岡市一ノ宮 1353)
昭和 54 年 10 月 17 日	「群馬県立博物館」を廃止、「群馬県立歴史博物館」開館
昭和 57 年 7 月 16 日	「旧県立博物館」を改修し、「群馬県立自然科学資料館」として開館
昭和 63 年 12 月 1 日	「自然科学資料館整備拡充調査構想委員会」を設置（学識経験者 10 名、行政職 6 名）
平成元年 4 月 1 日	群馬県教育委員会社会教育課学習文化室に専任職員 1 名配置
平成 4 年 2 月 3 日	建築プロポーザルにて内井昭蔵建築設計事務所に建設基本設計を委託
平成 4 年 3 月 31 日	建築基本設計終了
平成 5 年 1 月 28 日	(株)丹青社と展示実施設計委託契約を締結 (財)日本科学技術振興財団と展示実施設計の監修業務の委託契約を締結
平成 5 年 4 月 1 日	建設準備室を設置
平成 5 年 7 月 31 日	建設実施設計終了
平成 5 年 8 月 31 日	展示実施設計終了
平成 6 年 6 月 30 日	建築工事等着工
平成 7 年 4 月 1 日	長谷川善和氏（理学博士・横浜国立大学名誉教授）が参与に就任
平成 8 年 3 月 15 日	建築工事等竣工
平成 8 年 3 月 27 日	「群馬県立自然史博物館の設置及び管理に関する条例」を公布
平成 8 年 3 月 31 日	「群馬県立自然科学資料館」を廃止し、資料は自然史博物館に引き継ぐ 併せて群馬県立歴史博物館所蔵の自然資料のほとんどを移管
平成 8 年 4 月 1 日	「群馬県立自然史博物館」発足（事務局：前橋市大友町庁舎３階） 職員 18 名（副館長、次長、総務課 3 名、教育普及課 3 名、学芸課 7 名） 非常勤嘱託 5 名 長谷川善和氏（理学博士・横浜国立大学名誉教授）が初代館長に就任
平成 8 年 5 月 16 日	付帯ホール（愛称「かぶら文化ホール」）の管理運営にあたる財団法人かぶら文化ホールが設立許可
平成 8 年 5 月 27 日	事務局を前橋市大友町庁舎から富岡市上黒岩「自然史博物館」に移転
平成 8 年 5 月 31 日	財団法人かぶら文化ホールにホールの管理運営等を委託
平成 8 年 9 月 14 日	展示工事竣工（(株)丹青社）
平成 8 年 10 月 21 日	開館記念式典
平成 8 年 10 月 22 日	「群馬県立自然史博物館」開館（一般公開） 第１回開館記念展「アルゼンチンの恐竜たち」開催
平成 14 年 1 月	開館５周年記念企画「ミュージアム・ポスター展」開催(1月4日～2月17日) 開館５周年記念講演会「ヒトと森と　ー森がヒトをはぐくむ」開催（1 月 26 日）
平成 14 年 6 月 9 日	入館者 100 万人達成
平成 18 年 7 月 15 日	開館 10 周年記念展「コアラ大陸オーストラリア　～ふしぎな動物たちの世界～」開催
平成 19 年 1 月 4 日	開館 10 周年記念企画「自然史博物館のあゆみ展」開催
平成 20 年 8 月 8 日	入館者 200 万人達成
平成 22 年 2 月	正面玄関プロムナード路面改修
平成 22 年 3 月	尾瀬シアター、トリケラトプス復元映像、機器及び映像更新
平成 23 年 7 月	開館 15 周年記念展「よみがえる！謎の巨大恐竜スピノサウルス」開催（7 月 16 日～11 月 20 日）
平成 23 年 9 月 17 日	入館者 250 万人達成
平成 24 年 10 月 16 日	平成 23 年度博物館活動の評価(内部評価)結果公表
平成 25 年 11 月 8 日	平成 24 年度博物館活動の評価(内部評価)に対する外部委員意見公表
平成 26 年 3 月 26 日	自然史博物館ＥＳＣＯ改修工事竣工
平成 26 年 4 月 1 日	自然史博物館ＥＳＣＯサービス開始
平成 26 年 8 月 17 日	入館者 300 万人達成
平成 28 年 7 月 16 日	開館 20 周年記念展「超肉食恐竜 *T. rex*」開催
平成 28 年 9 月 30 日	開館 20 周年記念式典開催
平成 29 年 1 月 14 日	開館 20 周年記念企画「自然史博物館 20 年のあゆみ」開催

2 組織



3 事業体系

管理運営			人事、組織	総務係
			予算、経理	
			施設管理	
			庶務	
事業	展示		常設展示保守、改修	学芸係
			企画展示	
	普及事業	一般対象	展示解説	教育普及係
			ビデオ上映会	
			スポット解説（一般、学校向け）	
			紙芝居	
			ファミリー観察会	
			天体観望会	
			自然史講座	
			企画展講演会	
			企画展自然教室	
			学芸員解説ツアー	
			出張展示	
			サイエンス・サタデー	
			ミュージアム・ナイト・ツアー	
			バックヤード・ツアー	
		成人対象	大人の自然史倶楽部	
		高校生対象	高校生学芸員	
		小学生対象	自然史博物館探検隊	
		小中学生対象	ミュージアム・スクール	

事業	学校教育支援	館内授業・出前	教育普及係
		職場体験	
		教育用資料貸出	
		博物館実習・大学生インターン	学芸係
	調査研究	奥多野及び周辺地域学術調査	学芸係
		分野別調査研究	
		外部研究機関との連携調査研究	
		研究報告編集	
	情報システム		全体
	資料収集・保存・管理	採集	学芸係
		製作委託・購入	
		寄贈・寄託・移管	
		貸出・借用管理	
		文献・図書管理	
	博物館支援活動・広報	ボランティア	教育普及係
		友の会	
		視察受入	
		広報	
		相談指導	
	自治体等との連携	調査	全体
		相談指導	

４ 管理運営業務

（1）入館者数の状況

平成２８年度の入館者数は 212,022 人（前年比 123.7%）で、前年度に比べ 23,342 人の増加であった。これは、開館以来の年間入館者数でみると、平成９年度の 207,688 人を超えて歴代１位の入館者数であった。

企画展ごとの状況をみると、平成２８年３月から５月に開催した「よろいをまとったまとった生き物たち」が 42,495 人、開館２０周年記念展として７月から１１月に前期と後期に分けて開催した「超肉食恐竜 *T.rex*」は、前期 Episode Ⅰ 「ティランノサウルスの時代とからだ」が 74,447 人、後期 Episode Ⅱ 「ティランノサウルスへの進化」が 43,004 人で合計 117,451 人、平成２９年１月に開催した「自然史博物館 20 年のあゆみ～コレクション展～」が 11,792 人、平成２９年３月から開催の「尾瀬を科学する」は３月末までの入館者数 9,485 人であった。 特に「超肉食恐竜 *T.rex*」は数多くの恐竜の中で三本の指に入る人気の高い *T.rex* とその仲間をテーマとした企画展で、*T.rex* の生体や進化をはじめ、関連する様々な最新の研究成果を数多くの恐竜の化石や骨格標本とともに紹介し、また企画展をより深く理解してもらうための恐竜学者による記念講演会や自然教室等の関連行事を開催、歴代 1 位の企画展観覧者数となった。「尾瀬を科学する」では第三次学術調査以降の研究成果をそのフィールドを紹介し、尾瀬に関する一歩進んだ知識を提供するとともに、平成２９年度から始まる第四次尾瀬総合学術調査についても実施内容と必要性を紹介し、学術調査が保全の基礎となることをＰＲした。「自然史博物館２０年のあゆみ～コレクション展～」では単に収蔵資料を展示するのみではなく、博物館としての２０年の活動の紹介、そしてこれからの博物館についてのビジョンを合わせて展示・紹介を行った。

今後も魅力的な企画展示は引き続き行うとともに、工夫を凝らした教育普及事業や解説員によるわかりやすい展示解説など、平素の活動にも一層力点を置き、博物館の役割を果たしていく考えである。

なお、開館以来の累計の入館者数は、3,492,888 人となった。１日平均の入館者数は 580 人、年度別の入館者数の推移は、次のとおりである。（詳細は 108 ページ参照）

入館者の推移

年度	Ｈ８	Ｈ９	Ｈ１０	Ｈ１１	Ｈ１２	Ｈ１３	Ｈ１４	Ｈ１５
開館日数	132	301	304	303	301	303	301	298
入館者数	120, 712	207, 688	165, 071	150, 211	156, 633	159, 416	166, 989	171, 697
１日平均	914	690	543	496	520	526	555	576

年度	Ｈ１６	Ｈ１７	Ｈ１８	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２	Ｈ２３
開館日数	292	292	293	292	291	290	288	291
入館者数	160, 456	153, 613	166, 629	161, 626	146, 170	162, 760	148, 697	177, 698
一日平均	550	526	569	554	502	561	516	611

年度	Ｈ２４	Ｈ２５	Ｈ２６	Ｈ２７	H28	累計
開館日数	290	288	289	290	289	6, 018
入館者数	182, 038	166, 533	167, 549	188, 680	212, 022	3, 492, 888
一日平均	628	578	580	651	734	580

＊入館者数は実観覧者数であり、教育普及事業等の参加人員は含みません。

(2)歳入歳出決算の状況

歳入　　単位（千円）

区　　分	金　　額	内　　容
博物館入館料	６０，１３５	観覧料
施設使用料	５２９	ミュージアムショップ他
財産収入	２６５	自動販売機設置収入
雑入	４，８５４	船の科学館助成金 3,000 千円含む
計	６５，７８３	

歳出

事業名	金　　額	内　　容
館運営	１８８，２５４	館の維持管理、事業運営等
博物展示	６０，９７７	常設展示メンテナンス、企画展
教育普及活動	５，９８６	観察会等教育普及事業
調査研究	１１，１９８	フィールド調査、学会参加
計	２６６，４１５	

(3)博物館評価の実施

平成２７年度に引き続き平成２７年度の博物館活動の自己評価を行い、平成２８年８月２７日から博物館ホームページで公開した。この後、３名の博物館専門委員を委嘱し、自己評価に対する意見聴取を行った。意見聴取の結果についても１２月２０日に博物館ホームページで公開した。

群馬県立自然史博物館専門委員（平成28年度）

・株式会社丹青研究所文化空間情報部部長　石川貴敏
・埼玉県立自然の博物館館長　中村修美
・上毛新聞社編集局次長　清水直樹

平成27年度の自己評価結果及びそれに対する専門委員の意見は次のとおり。

平成２７年度　自然史博物館活動の評価結果

平成２８年８月２７日
群馬県立自然史博物館

１　はじめに

本評価は、平成２３年度に策定した「活動目標の評価指標表（評価指標）」を用いた内部評価であり、平成２７年７月２１日に公表した平成２６年度の博物館活動の評価に続いて５回目となるものである。昨年度同様、本評価結果を今後の博物館活動の改善と充実につなげていきたい。

２　評価方法等について

（１）評価指標

今回の評価に当たっては、平成２６年度末までに、平成２６年度の評価結果を踏まえ、平成２７年度目標値の設定を行った。

（２）評価作業

今回の評価は、昨年度に続き５回目となることを踏まえ、評価作業は職員８名による

ＷＧが中心となって進め、素案作成後、職員全員で決定するという方法によった。

（３）結果の公表

評価結果については、全職員にフィードバックし、個々の業務改善につなげるほか、ＨＰにて公表し、県有施設としての説明責任を果たすために役立てたい。

※　博物館活動の評価に至る経緯、自然史博物館の使命と事業方針等は、平成２３年度の評価結果を参照してください。

３　外部評価

平成２２年度の「魅力ある博物館を語る会」で示された外部評価については、平成２４年度の評価から導入した。異なる分野から博物館活動に造詣の深い３名の外部有識者を専門委員に委嘱し、博物館活動に対する意見をいただき、平成２７年１１月１８日に公表した。今年度も同様に外部評価を行う予定である。

４　自己評価結果

（１）資料の収集・保存と活用　（「未来に伝える博物館」）

採集・寄贈等により収集した資料の合計点数は、目標値6,000点を4,417点上回る10,417点であった。追加される資料数は年度ごとに大きく変わるが、これは寄贈点数の変動によるところが大きい。

収集資料のデータベースは、常時サーバで運用されるとともに、定期的に磁気テープでバックアップされている。第４次システムではデータ管理の安全性を高めるため、館外のデータセンターを利用する。

一部の資料を除き、資料は温湿度管理、日常の点検、定期的な燻蒸等により、安全に管理されている。ESCO事業完了により、収蔵庫の温湿度は新たな空調機器により管理されている。今後も微調整を加えながら適切な運用を継続したい。

収蔵スペースの不足は以前から深刻な問題となっており、第一収蔵庫・第二収蔵庫・第三収蔵庫ともに慢性的かつ深刻な課題は解消できていない。本年度末の段階では収蔵庫での資料の保存を優先するために収蔵・配架が行われたため、分類群ごとの整頓や資料を安全に出し入れできる配架、資料を運搬する動線などの配慮はできなかった。資料運搬時の動線となるべき通路や仮置きスペースにも資料が存在しており、収蔵スペースに対して資料がオーバーフローしている事は明白である。このため、資料活用時の作業には通路の標本を移動させたのち、空けた隙間で資料を運搬する。その後、一時移動させた資料はまた元にあった通路に戻さなくてはならない。現状の作業は資料を破損させる危険性が常に伴い、通常時より多大な時間と労力、及び繊細な作業が求められている。収蔵資料は今後も増え続けるため、整理・配架の努力をしながら、これからも資料の保管場所については検討を続けていきたい。

展示での公開やレファレンスによる資料活用は、年度目標をほぼ達成しているが、これに甘んずることなく、より効果的な活用を模索していきたい。

（２）調査研究　（「魅力を引き出す博物館」）

調査研究の推進では、昨年度は3年計画で行われる奥多野及び周辺地域総合学術調査の本調査年度(2年度)で、延べ45回の現地調査を行った。この調査は平成25年度まで行われた上野村地域調査を発展させたものである。 また、各職員が独自に行っている調査研究は10分野19研究、外部研究施設等と連携している調査研究は昨年度からさらに増加し43研究となった。研究成果の公表では、発表論文数19件、学会等発表数20件、マスコミ等への発表11件であった。外部連携・招聘による講演会講座等数は25件で、例年20件前後で推移しているが昨年より6件増加した。市民参加型調査や市民連携の調査は4件と変動がなかった。博物館の調査研究全体として外部機関や研究者との連携、外部資金を利用

した研究への方向性が強くなってきている。その成果としての学会発表や論文発表がコンスタントに行われていることもその成果としての現れであろう。一方でこれらの成果を著書や講演会などを通して公表に努めており、両者をあわせた数やシンクタンクとしてのレファレンス対応（（６）シンクタンクとしての社会貢献参照）は高い水準で推移している。今後とも成果を出し、その公表を継続するためには、少なくとも現行の研究レベルを質と量ともに維持していく必要があると思われる。

（３）展　示　（「知を広め、高める博物館」）

観覧者数は188,680人で昨年度の167,549人を上回った。対面式アンケートによって得られたリピーター率は62％と目標値(60％)を越えることができた。企画展示の魅力的な内容の提供と様々な媒体による広報活動を実施しており、その効果が現れており目標値を達成することができた。常設展示では63件の資料追加・更新及び機器の更新を実施した。

展示全体（Ａ～Ｅコーナー）のケース内、常設展導入部他、ESCOの管理以外の部分について、電球交換を実施した。Ｄコーナー、Ｅコーナー（絶滅危惧種）壁ケース内の安定器（蛍光灯仕様）を交換した。尾瀬ジオラマ、ブナ林ジオラマ、丘陵地ジオラマ、茂林寺ジオラマ、シラビソジオラマ、恐竜骨格（マメンキサウルス）のクリーニングを実施した。シラビソについては劣化のため樹幹補修を行った。Ａコーナーの顕微鏡のLED化を行った。Ｂコーナーのプランクトン展示エリアにおいて、顕微鏡カバー２台を交換した。また、谷川岳・高山植物パネルスイッチのパネル、尾瀬ジオラマ解説台を修繕した。Ｅコーナーの「私たちの地球は、いま」の背景画像および動画を更新した。映像装置については、20インチモニター機器（利根川１・２、赤城山、カッコウの托卵、モリアオガエルの産卵、群馬の亜高山、二生歯性、霊長類のロコモーション、脳の発達と言語、道具、宇宙）について、DVDプレーヤーからSDメディアプレーヤーに更新した。
開館以来、大きな更新はなく老朽化が否めず、展示物が壊されること等もあることから、故障が頻発している。故障時の職員による対応は年間470回で、速やかに対処できる体勢が維持できている。

企画展は常設展にはないテーマを選定し、その時々話題性のある内容で夏、秋、春の年3回、冬には特別展を開催している。２７年度の企画展は順に「恐竜時代の海の支配者」「たべる」「よろいをまとった生きものたち」を開催した。特別展は地域支援活動「ぐんまの自然のいま」を開催した。夏は家族連れ、秋は学校団体を、春は家族連れなど一般向け、また季節を意識し展示を行っている。アンケート回答による昨年度の満足度は83％と前年の82％に引き続いて目標を上回った。予算は減少傾向にあるが、予算の確保に努めるとともに、映像撮影・編集、造作物等は可能な限り学芸職員が製作しており、クオリティも向上してきている。冬の特別展はほとんどすべてが職員による手作りである。今後さらにリピーターの方々がまた足を運んでもらえるような魅力ある展示と展示方法の工夫を積み重ねていくことが肝要であり、その努力を継続していきたい。

（４）教育普及　（「知を広め、高める博物館」）

学びの魅力を感じられる事業の推進では、昨年度並みの事業を実施したが、参加者数については昨年度を10％以上上回る結果となった。また、事後アンケートでの評価も高い。サイエンスサタデーにおける魅力的な新規メニューの開発・実施、自然史講座などの講演会でのトレンドに配慮した講演内容及び講師の選定などが、参加者増につながったと考える。ビデオ上映会参加者数は２年続けて伸び悩んだが、プロジェクターの不具合によりビデオ上映会を中止せざるをえなかったことが主な要因であり、修理を急ぎたい。

学校教育支援の推進では、ビデオ上映など数項目で目標を達成していないものもあるが、教員・生徒の満足度は目標80％を上回る100％であった。実地踏査において事前に館

内授業の魅力を伝える努力をしたことが成果につながったと考える。さらに、館内授業の提供のしかたを工夫することで、利用しやすい館内授業をめざしていきたい。

友の会活動の会員数に大きな変更はないが、ボランティアも含め、どちらの活動も研修や行事の質と量を充実させてきており、主体的な活動に向けた素地が醸成されつつある。

（５）情報の発信と公開　（「知を広め、高める博物館」）

企画展や普及イベントなどの情報発信としては、新聞やラジオ・テレビなど様々なメディアを活用し行った。また、ホームページの更新やフェイスブックでの情報発信なども積極的に行い、常に最新の情報を提供するよう心掛けた。ホームページでの新着情報では、１つ１つのイベントに対し事前には募集を兼ねた情報提供を行い、事後には活動内容報告をしている。ホームページのアクセス数は約316千件である。企画展毎のポスターやチラシを作成し企画展を周知するとともに図録を発行した。さらにイベントカレンダー（上期・下期）やデメテールを3回発刊した。

県広報を介した発信は51件（26年度60件）、館からの発信が150件（26年度150件）であった。

また、年3回の移動博物館や他館連携出前教室等も博物館の情報を公開する効果的な場として行っている。

（６）シンクタンクとしての社会貢献　（「知を広め、高める博物館」）

公共の博物館として、その有する様々な資源（資料、情報及び職員の専門性）を活用し、自治体や各種団体への専門知識の提供や講師の派遣など、シンクタンクとしての機能を充実させ社会貢献を果たすことは博物館の重要な使命の一つである。

学校・主任会などへの講師派遣件数は、目標値20件に対して17件（26年度28件）、学会・研究会における役員・委員等の受諾件数は、目標値5件に対して10件（26年度9件）であった。学校や主任会への講師派遣は、博物館の専門性を広められ、学会・研究会への寄与は社会貢献を高めることができるので引き続き推進していきたい。

また、博物館施設等への助言件数は、目標値10件／年に対して6件（26年度は31件）であった。今回目標値に達していないのでさらに博物館施設等との連携強化・推進をすすめたい。他の博物館等への資料の貸出件数は33件（26年度25件）と増加傾向にあった。これらの実績数は、少ない職員数のなか健闘できたと考えられる。

また、レファレンス利用者の件数が204件と昨年度147件よりも大幅に増加、目標値200件にも達することができた。引き続き専門性を求めるニーズへの対応を強化していきたい。

（７）マネージメント（経営）

平成28年度は開館20周年を迎えることから、これからの10年の館運営の基本的な考え方や理念や使命、機能、事業活動方針と事業展開方向などを盛り込んだ博物館基本構想「群馬県立自然史博物館のこれからの10年」を策定し、公表する。

安全で利用しやすい博物館施設への改善では、施設改修等は予算的な制約はあるが、開館後約20年近くになり、建物の老朽化・陳腐化が見られるので入館者の安全対策の面からも必要なものから順次対応していきたい。

情報システム関連は28年度に第四次情報システムが導入されるのでその利用等により来館者サービスの向上、業務効率の向上をしていきたい。

観覧者サービスの点検と質的向上では、案内業務のクオリティチェックと接遇研修を継続することで、一定の水準の確保を図っているが、引き続き更なる向上を目指したい。

博物館認知度の向上と利用者層の拡大では、27年度は26年度より入館者が増えたものの、富岡製糸場の世界文化遺産登録や周辺観光ポイントの増加など周辺環境が変化する

中で、常に最適な活動を目指し業務の見直しを行っていかなければならない。　最適な活動をしても相手に伝わらなくてはならないので、広報活動をより効果的に進めていく必要がある。

職員の意識改革と資質の向上では、研修会・学会等への参加が少ない状況にある。予算上の制約に加え、職員の通常業務が忙しく日程確保が難しくなっている面もあるが、博物館を一層魅力的なものにしていくためにも、職員には継続的なレベルアップが求められており、積極的な取組みを呼びかけていきたい。

博物館活動への理解及び外部協力の確保は、平成２８年度当初予算で平成２7年度を上回る予算を確保することができた。これは、開館２０周年記念展や次期情報システムを計上したことなどによるものである。また、平成２７年度は公益財団法人からの助成を得て企画展をより充実したものにすることができたが、平成２８年度も同様の助成を得る予定であり、引き続き外部資金の導入に努めていきたい。

防災意識の向上と危機管理体制の強化では、危機管理マニュアルを改訂し２度の防災訓練を行った。引き続き防災訓練を行うとともに、マニュアルについては、随時必要な見直しを行っていきたい。

博物館評価システムの構築では、平成２４年度分から外部評価を導入し有識者から意見をいただきＨＰで公開している。いただいた意見を受け止め、今後の博物館活動に生かしていきたい。

平成 27 年度自然史博物館活動の評価に対する意見

□平成 27 年度群馬県立自然史博物館活動の評価について

群馬県立自然史博物館専門委員　石川　貴敏

平成 27 年度の同館における事業活動は、活動目標に対して適正に行われたことを確認しました。前年度を上回るだけでなく、開館以来 2 番目に多い 188,680 人を記録した年間入館者数（実観覧者数）は、同種の施設と比較して高い成果と捉えています。評価委員会当日に拝見した開館 20 周年記念展「超肉食恐竜 *T. rex* Episode II ティランノサウルスへの進化」に代表されるように、同館の企画展・特別展、さらに教育普及活動は、独創性と工夫に満ちており、限られた予算の中、観覧者や参加者を刺激し楽しませるものとなっています。これからも高い目標を掲げながら、現在の取組を発展させてもらいたいと思います。

こうして博物館の事業活動が多岐にわたることにより、利用者との接点はますます多様化しています。館内事業、館外事業、インターネット利用などを含めた博物館の利用（者）について捉え直すことで、同館の事業活動に即した利用動向を把握することも必要ではないかと考えます。

一方、外部（館外）に保管場所を確保しながらも収蔵スペースの不足は解決に至っていません。個人所有者などからの寄贈が増えることが予想される今後の状況に対応するためにも、早期の改善につながることを望みます。また、内部評価で課題とされていた市民参加型調査や市民連携の調査、友の会やボランティアの主体的な活動の推進、他の博物館との連携強化・推進は、対話と連携を進めるこれからの博物館には必要な取組ですので、より一層の推進を求めます。

評価委員会では、平成 28 年 9 月に発行された「開館 20 周年記念誌 群馬県立自然史博物館 20 年のあゆみ 1996～2016」に収録された「博物館基本構想－群馬県立自然史博物館これからの 10 年－」を拝見しました。同構想には、素晴らしい理念や方針が掲げられており、同館が「自然史情報拠点」「連携協働拠点」「知的探究拠点」として機能する姿をわくわくする気持ちで思い浮かべながら通読しました。この基本構想を一層広めて

いただき、県民や利用者の方々とこれからの同館のあり方に対する意識の共有を図りながら、国内を代表する自然史博物館として30周年に向けて活動していただきたいと願っています。

「文化芸術の振興に関する基本的な方針（第4次基本方針）」（平成27年5月）、「日本再興戦略2016」（平成28年6月）、「明日の日本を支える観光ビジョン－世界が訪れたくなる日本へ－」（平成28年3月）など、国が最近打ち出した施策には、博物館の充実や博物館への期待とともに取組内容が記されています。UNESCO総会で採択された勧告「Recommendation on the Protection and Promotion of Museums and Collections, their Diversity and their Role in Society」（2015年11月20日採択）やICOM Kyoto 2019に向けた今後の動きも踏まえながら、次代にふさわしい博物館像を描いて欲しいと願っています。

□平成27年度自然史博物館活動の評価について

群馬県立自然史博物館専門委員　中村　修美

平成27年度の自然史博物館の評価結果並びに項目別実施結果をみると、博物館活動の各分野にわたり、多様な活動を行っている。外部からは理解されにくいところもあるが、博物館では実際に多様で多量の業務をこなしている。今回の結果からは、限られた職員で多くの成果を上げていると評価できる。現状の結果に満足することなく、業務の見直しをしながら博物館活動を進めていただきたい。

また、博物館として多様な活動をしていても、社会から博物館活動が十分に理解されていないことがある。特に、自然史系の博物館は数も少なく、社会に対しての博物館からの働きかけが弱かった面もあるのではないかと思う。日本を代表する自然史系博物館として、社会への博物館の理解を進めるためにも、多様な情報の公開・発信を進めていただきたい。

平成27年度の実施内容ではないが、開館20周年を記念して、これまでの歩みを総括し公表している。これは、これまでの活動を評価するうえで重要なことである。それにもまして、これからの10年を見据えたビジョンを制定しているのは素晴らしい。「これからの10年」にまとめられている方針や事業展開をぜひ実現できるよう活動していただきたい。

具体的な項目・内容でいくつかコメントさせていただく。

（1）観覧者数と近隣施設との連携

社会環境が変化しや施設や機会が多様化し、博物館の多くは入館者を維持するのが大変な状況である。その中で、観覧者数が増加していることは素晴らしい。また、近接して世界遺産の富岡製紙場や観光ポイントとなる施設がある。観覧者数に対して館独自での活動は必要だが、近隣施設と連携して来館者を迎えることも考慮する必要があろう。

（2）対面アンケートの実施

来館者への対面のアンケートを実施しているのが良く、アンケートの結果から高いリピーター率を示しており、日常活動の中での博物館の高い位置づけを見ることができる。据置型のアンケートでは、回答者に偏りのでる傾向がある。対面によることで、広い世代を対象にすることもできるし、より具体的な要望や意見、感想を得ることができる。対面でのアンケートは大変な労力を必要とするが、今後も継続していただき、博物館への要望を的確に把握し、対応の資料として様々な意見や情報を蓄積していただきたい。

（3）外国人来館者等への対応

2015年度には2000万人の訪日者があった。また、2020年にはオリンピック・パラリンピックが開かれ、今後も海外からの来訪者は増加する傾向だと考えられる。海外で

は、その地域の歴史や自然を知るために、最初に博物館を訪問するのがごく当たり前のことになっている。今後、外国人の来館者も増加すると考えられ、多言語等への対応が必要になってこよう。しかしながら、展示スペースには限度があり、出せる情報も限られる。また、費用的な問題もあり、紙ベースでの資料も簡単ではないことも考えられる。そこで、すでに設置されている Wifi を利用すれば、より具体的な情報を提供することもできるだろう。これは、外国人対応だけでなく、ユニバーサルデザインの観点からも、大勢の人に有効な一つの方法である。今後の活用を検討いただきたい。

□平成 27 年度自然史博物館活動の評価について

群馬県立自然史博物館専門委員　清水　直樹

公共の博物館として約 20 年にわたって積み上げてきた数多くの資源（職員の専門性、資料など）を生かし、社会貢献活動を強化してもらいたい。特に専門知識を有する職員の方々は積極的に小、中、高校や大学、自治体、各種団体に講師として出向いてほしい。

平成 27 年度の講師派遣件数は 17 件で、前年度より 11 件少なかった。研究の成果を県民に還元するという意味からも、職員がさまざまな場面で講師を務め、「知を広める」役目を果たしてもらいたい。それは自然史博物館への関心を高め、入館者の増加につながっていくはずだ。

収集した資料の合計点数は 1 万 417 点で目標（6,000 点）を大きく上回った。資料の点数は順調に増えているが、収蔵スペースは満杯で通路にも置かれている。このため、資料活用時の運搬に時間がかかり、資料を破損する危険性が指摘されている。保管場所の確保は喫緊の課題であり、本腰を入れなければならない。それは資料寄贈者の期待に沿うことになる。

観覧者数は 18 万 8,680 人で 2 年連続の増加となり、開館以来 2 番目に多い数字を記録した。趣向を凝らした企画展や積極的な広報活動の効果と言えるが、満足しないでほしい。世界文化遺産の富岡製糸場や隣接する富岡市立美術館との連携をさらに深め、新規の入館者を増やしてもらいたい。広報活動は充実してきたが、もう一歩踏み込んだ取り組みを検討してもらいたい。伸びしろは十分あると感じている。

5 ESCO事業

平成２６年度から開始されたＥＳＣＯサービスは、前年度の反省点を踏まえつつ、博物館と受託業者が連携して取り組んだ結果、平成２８年度も削減保証額を上回る７２,７１０千円のエネルギーコスト削減となった。

※ 変更契約締結後のベースライン　105,214 千円(補正後)

〃　削減保証額　60,686 千円

なお、削減実績の検証を行うために、博物館、受託業者、県関係課から構成される「自然史博物館ＥＳＣＯサービス検証ワーク」を６月、１１月及び３月に開催した。

6 防災訓練・危機管理

地震や火災などの発生に備えるため、かぶら文化ホールと連携して２回の防災訓練を行った。

・平成２８年７月２０日（水）　第１回地震避難訓練

・平成２９年３月１４日（火）　第２回消防訓練（消防署立ち会い）

Ⅱ　事業の概要

1　展示

(1) 常設展示

県民が自然の生い立ちや群馬県の多様で豊かな自然環境などへの理解を深め、自然に親しみながら学習する施設とするため、展示に際して、①資料についてはできる限り実物を揃える　②資料のケース内の展示を極力減らして身近に展示し、実物を実感してもらう　③資料を観覧するだけでなく、資料によっては直接手で触れたり、随所に映像や体験コーナーを設けたり、参加・体験型の展示を心がける、以上の３点に配意している。

常設展示は、下記の５つのコーナーに区分されている。展示の保持にあたっては、平成28年度も各コーナーの担当者が少なくとも毎月１回エリア内の状況を確認した（清掃、修繕を含む）。日々の動作確認については展示解説員が実施している。

①　地球の時代（Ａコーナー）

誕生から 46 億年を経て現在に至る地球の発達、すなわち大地が形成される過程、そして地球における生命誕生とその生命が様々な環境に適応し多様化していく過程の二つを軸として、その中に群馬県の地質や化石を絡めて、生命の進化史を群馬県の自然史と対比しながら世界的・日本的規模で展示している。現在のヒトから宇宙の誕生までを一気に遡って紹介する導入部のタイムトンネルを抜けたところからはじまり、今の自然環境の基盤となる地球（太陽系）の形成と生命の誕生ならびに先カンブリア時代の発展を紹介する「A-1 水の惑星と生命の誕生」、「A-2 生命を育てた太古の海」（古生代）、「A-3 恐竜の時代」（中生代）、「A-4 哺乳類の時代」（新生代古第三紀・新第三紀）、「A-5 人類の時代」（新生代第四紀）の５つに分けられる。

A-3「恐竜の時代」で常設展示している標本のうち、スピノサウルス頭骨の横にスピノサウルス胴椎化石（借用標本）を７月 16 日より展示に追加した。リストロサウルス頭骨化石についてはは名古屋市科学館 7 月 1 日～9 月 15 日に貸し出され、返却後の 9 月 21 日に展示に戻した。アンキロサウルス頭骨とティランノサウルス頭骨は当館の開館 20 周年記念展のため、7 月 16 日～11 月 27 日の間、企画展会場で展示された。なお、ティランノサウルス頭骨の展示場所には代替標本として、カルカロドントサウルス頭骨（借用標本）を設置した。10 月 1 日～11 月 27 日の間はパキケファロサウルス全身骨格（借用標本）をトリケラトプス全身骨格の後方に展示した。これらの標本については、開館 20 周年記念展終了後、すべて元の場所に戻したが、ティランノサウルス（動刻）の奥には当初からあったティランノサウルス(MOR555)に加え、ティランノサウルス(STAN)、カルカロドントサウルスの計３つの頭骨を暫定的に展示している。ティランノサウルス（動刻）の手前にはティランノサウルスの左後足骨格レプリカを展示した。

A-4「哺乳類の時代」で常設展示している標本のうち、鰭脚類のアロデスムスの頭骨レプリカ（全身骨格の一部）については、7 月 1 日～2 月 17 日の間、海遊館に全身骨格を貸し出した。貸出期間中は代替標本として同じ鰭脚類でアザラシ科のアクロフォカ頭骨実物化石を展示した。頭骨レプリカ返却後は展示資料を再検討し、アロデスムス頭骨、アクロフォカ頭骨、ダフォエヌス頭骨、ニムラヴス頭骨、ヘスペロキオン頭骨、エウスミルス頭骨に変更した。

A-5「人類の時代」で常設展示している鶏冠石、ヤベオオツノジカの化石について、日本地質学会が選定した群馬県の県の石（鉱物、化石）に決定したので、紹介サインを付け加えた。また、展示していた鶏冠石が経年劣化のためパラ鶏冠石に変化していたため、キャプションをパラ鶏冠石に変更した。また、「群馬の鉱物資源」として展示されていた石綿はタイトルにそぐわないため展示より下げた。「コロンビアマンモスのミニジオラマ」の

天板ガラスの交換を行った。

（展示資料数 1,197 点、追加・更新展示資料 計 4 点）

② 群馬の自然と環境（Ｂコーナー）

多様で豊かな群馬の自然環境を低湿地から亜高山帯まで、また利根川や尾瀬など代表的な地域に分けてジオラマ、標本、映像等で紹介している。特に山地帯の展示ではブナ林、亜高山帯はシラビソーオオシラビソ林、丘陵帯はクヌギーコナラ林、低湿地は茂林寺沼の周辺の植物、尾瀬では湿原植物を、それぞれジオラマで再現している。さらに平成22年度より近年生物多様性の保全上問題になる外来種の展示を加えた。また、利根川では3つの水槽に上・中・下流に代表的な魚を生体で展示している。水槽展示のメンテナンスは年22回実施している。それぞれの場所ごとに生息する哺乳類や鳥類などの剥製やレプリカ、アクリル標本なども数多く展示している。また尾瀬シアターは、180インチのプロジェクター投影機を用いて、日本を代表する尾瀬の湿原をミズバショウの妖精ミズビーが案内するものとなっている。本年度は、傷んだ剥製の交換とともに、亜高山帯ジオラマにおいて老朽化に伴って弛緩した低木（ハクサンシャクナゲ）の支持具の再緊縛を行った。

（展示資料数1,357点、更新展示資料23点）

③ ダーウィンの部屋（Ｃコーナー）

老博物学者のロボットが生物の進化について説明する。展示室内は、博物学者の書斎や倉庫、実験室をイメージし、数多くの標本を間近に見ながら、資料に触れたり、機器を操作したりしながら観察できる参加体験型の展示となっている。平成12年度に寄贈されたダーウィンの直筆書簡と顕微鏡を展示している。動刻（ロボット博士チャーリー）については、保守点検を年4回実施した。展示では、触れるタヌキの更新を行った。6月の燻蒸休館中、倉庫の剥製を燻蒸した。

（展示資料数546点、更新展示資料１点）

④ 自然界におけるヒト（Ｄコーナー）

このコーナーの名称は、ダーウィンの進化論を擁護したトーマス・ハックスリーの本の題名「自然界における人の位置」にもとづいている。コーナーの展示は以下の 3 つから成っている。

1 動物としてのヒト：ここではヒトが脊椎動物や哺乳類とどのような同じ特徴をもつかを展示しておりヒトがいかに動物であるかが実感できる。哺乳類は世界中に約 4,500 種いる。哺乳類には、授乳により子どもを育てる、胎生、恒温生、2 心房 2 心室、大脳の発達、7 個の頚椎、異形歯性、二生歯性などの特徴がある。ヒトはオランウータン、ゴリラ、チンパンジーなどの霊長類のなかまで、霊長類には拇指対向性、平爪をもつ、指紋がある、立体視ができ色覚があるなどの特徴が見られる。

2 ヒトの進化と起源：ヒトという種が複雑な進化の段階を経てきたことを当時の研究成果にもとづいて展示している。ヒトはチンパンジーとの共通祖先から別れた後、ヒトは独自の進化をとげてきた。現代人はホモ・ハイデルベルゲンシス（50 万年前）からホモ・サピエンス（20 万年前）と進化し現在にいたっている。

他の動物にはなくヒトだけがもつ特徴がいつどこで始まったのかを、欧米の芸術家の手による精巧な等身大人形や科学的復元図で展示している。

3 ヒトの特徴：ヒトの身体には、ほかの霊長類には見られない様々な特徴がある。この特徴は、そのほとんどが直立二足歩行を始めたために起きたと考えられている。頭蓋骨では脊髄が出る大後頭孔は真下にあり、頭をささえる項筋が付着する部分は小さくなっています。胸郭は内臓が下がらないようにすぼまっていて背骨は足から伝わるショックをやわらげるために S 字状になっている。また骨盤は内臓をささえるためにゆりかごのような形をしている。さらに脚にある大腿骨は斜めについており、歩く際にチンパンジーのように左右に揺れることなく歩行することができる。足の骨はアーチ状になって土踏まずができ、体重が一点に集中しないようになっている。

直立二足歩行、脳の発達が道具の製作と使用、死者の埋葬、火の使用、芸術と象徴、農耕と牧畜、文明などを生み出すことになった。これを実物標本や模型・複製等で再現している。

（展示資料数364点、更新展示資料なし）

⑤ かけがえのない地球（Ｅコーナー）

人間の生活が地球全体に及ぼす影響を紹介し、環境問題について考える機会を与える展

示である。エコボール、ドードーやトキなど絶滅、または絶滅の危機にある動物の紹介や、森林の保水作用を説明する模型、環境クイズの映像などを展示している。

（展示資料数29点、更新展示資料なし）

⑥ 常設展メンテナンス

ESCO 事業以外の照明等について、電球交換を実施した。また、DVD プレーヤーのメディアプレーヤー化（導入、ダーウィン入口、ダーウィンの部屋、直立二足歩行）を進めた。誘導サインのデザイン等を見直し、更新した。

・導入

6 面マルチのメンテナンスを実施した。

・Ａコーナー

恐竜骨格（カマラサウルス）のクリーニングを実施した。ミラーの実験装置の動作確認、メンテナンス作業を行った。

例年どおりＡ-1 の大型拡散霧箱のメンテナンスを年２回行い、２月にガラスケースのシーリング強化を実施した。

Ａ-1「Ａ-1 水の惑星と生命の誕生」で常設展示している Acasta Gneiss の和名は、アキャスタ片麻岩よりアカスタ片麻岩の方が一般的に用いられているため、標本ラベルの和名をアカスタ片麻岩に変更した。

Ａ-2「Ａ-2 生命を育てた太古の海」で常設展示しているメゾンクリーク産の古生物標本のラベル 26 点について、文字の大きさを調整し、年代表記を削除した。年代表記は標本群全体に対するラベルでの表記で対応する。

Ａ-3「恐竜の時代」において、恐竜の卵の展示ケース内のラベル 9 点を新規に作成した。同様に、恐竜の歯と下顎骨の展示ケース内のラベル 9 点を新規に作成した。

Ａコーナーにおけるガラス製展示ケース及びミニジオラマ内の照明を LED に変更した。

例年どおりティランノサウルスなどの動刻のメンテナンスを行った。

・Ｂコーナー

尾瀬ジオラマ、ブナ林ジオラマ、丘陵地ジオラマ、茂林寺ジオラマ、シラビソジオラマのクリーニングを実施した。シラビソについては平成 27 年度に引き続き、劣化のため樹幹補修を行った。また、尾瀬シアター内のプロジェクションシステムに対し、待ち受け画面で外部のライブカメラストリーミングを可能とするシステム更新を行った。芳ヶ平湿地群のラムサール条約登録にともない、解説パネルを更新し、チャツボミゴケのアクリル封入を制作・展示した。

・Ｃコーナー

交換部品生産終了にともない、書斎、実験室のキャビネット内の棚下照明器具を LED 化した。ガイガーカウンターのメンテナンスを行った。

例年どおりロボット「チャーリー」のメンテナンスを行った。

・Ｄコーナー

二足歩行モニター前のアクリルカバーが破損していたため、修理を行った。

(2)　企画展示

①　第51回企画展「よろいをまとった生きものたち」

A 趣旨

約５億年前から現在に至るまでのよろいをまとった生き物たちを、標本、生体、映像展示等を用いて紹介した。生物がよろいをまとうことになった理由や、現世の生態系におけるよろいをまとった生きものに着目し、進化・絶滅、生物多様性及び生態系のバランスに関して考えてもらうこと及び野外に出て観察することの大切さを伝えることを目的とした。

B　開催期間

2016 年 4 月 1 日（金）～5 月 15 日（日）（開催日数 40 日）

C　主な展示構成

a）タッチプール

よろいをまとった海の生きものに触れるタッチプール水槽 3 基と観察用水槽 2 基をエントランスに設置した。タッチプール水槽では、オオグソクムシ、アメリカカブトガニ（幼体）、ムラサキウニ、ヒザラガイ及びイトマキヒトデに触れることで、生きもののよろいを体感してもらう機会を提供した。触れる時間を１日 4 回（10:00～10:45、12:00～12:45、14:00～14:45、16:00～16:45）設け、担当職員が来館者の必要な情報を適宜把握しながらそれぞれの生物に関する情報を伝えた。観察用水槽では、タカアシガニ及びシルバーアロワナの生体展示を行った。オオグソクムシは深海の部屋のダイオウグソクムシ生体展示へ、アメリカカブトガニ（幼体）はカブトガニ（成体）の触れる標本へ、タカアシガニは巨大タカアシガニ標本へと、エントランスのタッチプールが企画展示室で展示されている標本へのいざないの役割を担えるように構成した。

b）よろいって何？

よろいのステレオタイプである日本甲冑と日本の武具を展示の導入部分で展開し、主観的によろいの必要性を考えてもらうことを目的として展示を行った。自然史博物館でありながら、歴史博物館のような展示物から始まる意外性と、放映中である NHK 大河ドラマ「真田丸」に合わせた上田城大型グラフィックパネル、真田幸村赤備え甲冑バナー、上州兜などの話題性を提供した。また、「エヴァンゲリオンと日本刀」展にも出展している富岡市の刀鍛冶、石田國壽氏の太刀を展示し、県内産の展示物提供を行った。

c）大昔のよろいをまとった生きものたち

初めてよろいをまとった生きものとしてカンブリア紀の生きものを紹介し、それ以降中生代までのよろいをまとった生きものたちを紹介した。このゾーンを通して、生きものがよろいをまとうことになったきっかけや、進化及び淘汰に関して地球史をおって考えてもらうことを目的とした。注目されるに値する標本として、アノマロカリスの実物標本２点、ドゥンクレオステウスの実物標本及び当館が所蔵するトゥオジャンゴサウルスの全身骨格標本を展示した。

d）今を生きるよろいをまとった生きものたち

現世のよろいをまとった生きものたちを、空域、陸域、水域に棲む生きものの流れで展示を行った。このゾーンでは、よろいをまとった生きものが広範囲に分布し、多様であることを伝えることを目的

とした。また、体験コーナーの充実を図り、ハチクマとトビを見分けるコーナー、ヤシの実・オニグルミの硬さに挑戦するコーナー、カメの甲羅を背負って動きにくさや重さを体感するコーナー、オウムガイの殻・カブトガニの甲羅・サメの皮に触れるコーナー、半分アクリルに包埋したカブトムシやサソリに触れるコーナー及び塗り絵コーナーを設けることで、来館者が体感的に展示されている生きものに関われるように工夫した。

日々変化するよろいをまとった生きものたちを観ていただけるように、このゾーンでは生体展示を充実させた。世界で最も重くなるゴキブリとしてヨロイモグラゴキブリ、サソリでは世界最大になるダイオウサソリ及びムカデでは世界最大になるペルビアンジャイアントオオムカデを、世界最大シリーズとして生体を展示した。海の生きものとしては、よろいをまといながらもよろいをまとった生きものたちにパンチで挑戦するモンハナシャコや、深海の部屋のオウムガイとダイオウグソクムシも展示した。解説員が行った定時解説、開館中に不定期で行った加湿メンテナンス、当館 facebook で告知して行ったごはんタイムイベントなどで生体にエサを与え、来館者に生き生きとしたよろいをまとった生きものの生態を観察していただけるように工夫した。

深海に棲むよろいをまとった生きものたちを展示した「深海の部屋」では、極力照明を落とし、株式会社馬場家具から提供していただいたソファーを２本設置して、癒しの空間の中でゆっくりと展示物を観察してもらえる工夫をした。

e）近所にすんでいるよろいをまとった生きものたち

企画展を構成する最後のゾーンとして、身近なよろいをまとった生きものたちに焦点を当てて、日本又は群馬県に棲む生きものを紹介した。また、ダンボール製拡大模型を展示した展示台の下にトンネルを設け、もぐら叩きのもぐらのように頭を出せるスポットを２箇所設置し、ダンボール製のムカデ、アリ、ダンゴムシなどを身近に観ることができるように工夫した。動画は、アリ対ダンゴムシ及びアリ対クモの２点を放映した。それぞれ、近所にすんでいるよろいをまとった生きものたちとよろいに挑戦する生きものたちの攻防で、近所でもよく観察すれば観ることができる内容であり、これらの動画を通して観察することの大切さを伝えることを目的とした。

D　展示点数：983 点（内当館収蔵資料数 754 点）

E　関連事業

a)自然教室「ダンボールアート王と作ろう！ダンゴムシペーパークラフト」

講師　篠崎 均氏（有限会社ザウルスワン）

実施日　４月１０日（日）

参加者　　２０名

展示したムカデやダンゴムシなどのダンボール製拡大標本の作者であり、テレビチャンピオンで３連覇した経歴をもつ高崎在住の篠崎氏を講師として、身近によく見ることができるダンゴムシのペーパークラフトを作る自然教室を行った。ペーパークラフトを作りながら、ダンゴムシの形態的特徴を把握するというねらいで行った。

b)講演会

題目「水分調節のできるよろいを手に入れた昆虫」

講師　岡島秀治博士（元東京農業大学昆虫学研究室）

実施日　４月１６日（土）

参加者　　４１名

「４億年を生き抜いた昆虫」の著者である岡島秀治博士を招いて、昆虫の概要と昆虫が繁栄した理由である昆虫の特徴についての講演会を実施した。ターゲットとする来館者に合わせて、大人から子どもまでわかりやすい講義内容で、昆虫は１００万種もいてとても数が多いこと（全動物の３分の４が昆虫であること）や昆虫が地球上で繁栄できた理由に着目した内容であった。

c)体験イベント「戦国時代のよろいをまとってみよう！」
甲冑着付け講師　中島秀規氏
甲冑付け補助　企画展担当職員、矢野間恒子
実施日　４月２９日（金）、５月４日（水）
実施回数　１日につき６回
参加者　１２組２４名
群馬県立歴史博物館より借用した甲冑（大人用１着、子供用１着）を着装してもらい、主体的に「よろいをまとった生きもの」になって、よろいの特徴を味わってもらうことを目的として実施した。会議室での着装後、よろいをまとった参加者にはそのまま企画展示室観覧へと移動していただいた。展示室では、企画展担当者からの展示解説を受けたり、記念撮影を行ったりしながら甲冑をまとう感覚を味わっていただいた。なお、着装の前週に１回と着装イベントの初日に１回、群馬県立歴史博物館の教育普及係の中島主幹に、日本甲冑の着付け講師をお願いした。

d)ミニイベント「鎧武者が行う展示解説」
解説担当　企画展担当職員
実施日　４月１７日（日）、２０日（水）、２４日（日）、２７日（水）、５月１日（日）、
８日（日）、１１日（水）、１５日（日）
実施回数　１日につき 30 分の解説を２回
日本甲冑をまとい鎧武者になった企画展担当者がエンターテイメント性を交えながら 30 分程度の解説を行い、よろいをまとった生きものたちへの興味関心を高める目的で実施した。

F　協力団体
石田國壽鍛刀場　上田市マルチメディア情報センター　笠岡市立カブトガニ博物館　株式会社技術評論社　株式会社謙信　株式会社馬場家具　株式会社名東水園　神流町恐竜センター　群馬県立ぐんま昆虫の森　群馬県立自然史博物館友の会「トゥオジアンゴサウルス組立イベント」参加者のみなさん　公益財団法人東京動物園協会　公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団　公益財団法人名古屋みなと振興財団　国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)　栃木県立博物館　鳥羽水族館　名古屋港水族館　ミュージアムパーク茨城県自然博物館　御船町恐竜博物館　和亀保護の会　和光純薬工業株式会社

（以上、敬称略）

G　協力者
畔見直子　石田國壽　岩井虎伯　えるしま さく　大岡徳雄　金井英男　腰高直樹　庄山由美　高橋 綾　武田晋一　田村 博　十津守宏　永田仁志　野口強志　樋口広芳　平野進一　森信 敏　吉田健　吉田将崇　渡瀬英晃　Citron　Ereenegee　Greencandy　Rosa Pineda　Tod Baker

（以上、敬称略）

H　印刷物
・企画展ポスター１(B2 判)　3,000 枚
・企画展ポスター２(B3 判横)　200 枚
・企画展パンフレット(A4 判)　65,000 枚
・招待券　6,000 枚
・展示ガイドブック(B5 判横とじ)　800 部

I　入館者数
42,495 人（うち平成 28 年 4 月 1 日から会期終了までの入館者数 31,483 人）

J　アンケート

回答数：312 件

年代構成：10 歳未満 29%，10 歳代 29%，20 歳代 7%，30 歳代 15%，40 歳代 15%，50 歳代 3%，
60 歳以上 1%

居住地：群馬県内 70%，県外 26%

来館回数（県内）：初めて 27%，2 回目 16%，3 回目 10%，4 回目 45%

企画展を何で知ったか：来館して 20%，チラシ 32%，インターネット 15%，その他 29%

企画展の内容：満足 77%，やや満足 19%，やや不満 1%，不満 1%

企画展のわかりやすさ：わかりやすい 72%，ややわかりやすい 21%，
ややわかりにくい 1%，わかりにくい 1%

②開館 20 周年記念展（第５２回）「超肉食恐竜 *T. rex*」

A 展示概要

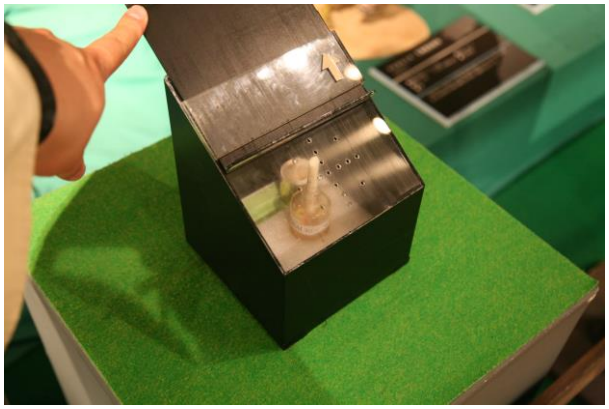
ティランノサウルス（*Tyrannosaurus rex,* 通称 *T. rex*）は、数多の恐竜の中でも三本の指に入る人気を誇るが、当館では実物大ロボット、頭骨、脳の鋳型のレプリカの展示しかなかった。そこで開館 20 周年を記念して、国内外の博物館等の研究者、研究機関の協力のもと、*T. rex* とその仲間をテーマとした企画展を開催し、この恐竜やその仲間の生態や進化をはじめ、関連する様々な最新の研究成果を紹介した。会期のうち、オープンから 9 月 22 日までを前期（Episode Ⅰ）、10 月 1 日から 11 月 27 日までを後期（Episode Ⅱ）として、前期と後期で展示の基本ストーリーを変更し、展示標本の一部を入れ替えた。

前期では、御所浦白亜紀資料館所蔵の *T. rex* 全身骨格標本（AMNH5027）や亜生体の *T. rex* と考えられているジェーン、ティランノサウルス類のディロンやテラトフォネウスなどの全身骨格、群馬県出身の古生物学者が研究したタルボサウルスの幼体全身骨格（岡山理科大学所蔵）、ナノティランヌス頭骨（北海道大総合博物館所蔵）、*T. rex* の幼体復元頭骨（茨城自然博所蔵）、羽毛を持つティランノサウルス類ユティランヌスの生体復元模型などを展示した。

後期はジェーンを常設展出口付近に移動し、新たに館で入手した *T. rex* のスタン頭骨、日本初公開となった北極圏にいたティランノサウルス類のナヌークサウルスの復元頭骨をはじめ、モンゴルにいた細い顔を持つアリオラムス、*T. rex* への大型化の兆しが見られるライスロナックスの全身骨格のほか、兵庫県産のティランノサウルス類歯化石（実物・兵庫県立人と自然の博物館所蔵）などを展示し

た。

T. rex は知名度と共に、来館者からの展示要望も高く、多くの方々の興味と当館への来館を喚起すると想定されたことから、企画展開催に併せて多くの関連行事を開催することで、それらの展示や行事などの活動を通じて、来館者が恐竜をはじめとする古生物のみならず、自然や地球に興味や関心を高める工夫を展示に加えた。当館の企画展では定番となっている学習用ワークシート、幼児向けのぬり絵については、Episode ごとに作成した。触れる化石としては、アンモナイト、*T. rex* の尾椎を設置した。



それらに加え、エコールドパルファン香りの学校の協力により、会期中を通じて、再現された「中生代の森の香り」と「恐竜のにおい」の体験展示を実施することができた。また、*T. rex* をはじめティランノサウルス類の頭骨などをスケッチしたいと、何度もご来館いただいた方もいた。

B　開催期間

Episode Ⅰ「ティランノサウルスの時代とからだ」

平成 28 年　7 月 16 日（土）～9 月 22 日（木・祝）

Episode Ⅱ「ティランノサウルスへの進化」

平成 28 年　10 月 1 日（土）～11 月 27 日（日）

Episode Ⅰと Episode Ⅱの合計開催日数 116 日間

C　主な展示構成

Episode Ⅰ　ティランノサウルスのいた時代とからだ

①　探検！*T. rex* の時代

恐竜がいた中生代、そして *T. rex* がくらしていた白亜紀後期の地球の様子や当時の環境、*T. rex* が暮らしていた現在の北アメリカ西部にあたるララミディアにおいて *T. rex* を生態系の頂点として共に暮らしていたその他の恐竜やその他の動物や植物などについて紹介した。

②　探検！*T. rex* のからだ

T. rex の骨格をもとに、この恐竜やその仲間に見られる様々な特徴やそれに伴う高い身体能力について、他の動物や恐竜との比較によって紹介した。

Episode Ⅱ　ティランノサウルスへの進化

③　探検！*T. rex* への進化

三畳紀後期の初期の獣脚類からジュラ紀を経て、白亜紀末には超肉食（Hypercarnivorous）恐竜とも呼ばれるようになった *T. rex* へと連なる、この仲間の進化について、主な種類の骨格や生体復元模型を用いて紹介した。

D　展示点数：約 190 点（内当館収蔵資料数 59 点）

E　関連事業

ここでは概要のみ記述。詳細は、Ⅱ２（１）教育普及事業⑤⑥（36～37 ページ）を参照してください。

a)記念講演会１

題目　　「ティラノサウルス類を中心とした獣脚類恐竜の進化」
講師　　對比地孝亘
実施日　　10 月 2 日（日）13:30～15:30
備考　本県出身の恐竜学者で、本展で展示したタルボサウルス幼体の研究論文の執筆者。講演後、会場で標本を観察しながらギャラリートークを行った。

記念講演会１

b)記念講演会２

題目　　「超肉食恐竜ティラノサウルス類、大解剖」
講師　　小林快次（北海道大学総合博物館准教授）
実施日　　10 月 16 日（日）13:30～15:30
備考　日本が世界に誇る恐竜学者の一人。ラジオの夏休み電話相談室への出演や著書も多く、知名度が高いため、早い時期から館に問い合わせがあった。講演の前後にも多くの子供たちがサインを求めていた。

記念講演会２

c）自然教室「恐竜の生体復元図に挑戦しよう！」
講師　　徳川広和（株式会社 ACTOW）
実施日　　7 月 18 日（月・祝）　10:00～11:30

d）自然教室「恐竜の生体復元模型に挑戦しよう！」
講師　　徳川広和（株式会社 ACTOW）
実施日　　7 月 18 日（月・祝）　13:30～16:00

e）自然教室「いろいろな爬虫類を観察しよう！」
講師　　富田京一（肉食爬虫類研究所代表）
実施日　　8 月 14 日（日）　13:30～15:30

f）自然教室「化石のコハクストラップをつくろう！」
講師　　小須田健志（当館教育普及係）
実施日　　9 月 22 日（木・祝）13:30～15:30

g）自然教室「恐竜時代の貝の化石レプリカをつくろう！」
講師　　廣瀬　浩司（天草市立御所浦白亜紀資料館学芸員）
実施日　　10 月 30 日（日）10:00～11:30、13:30～15:00（2 回実施）

H）自然教室「恐竜時代の化石さがしに挑戦しよう！」
講師　　久保田克博（神流町恐竜センター学芸員）
実施日　　11 月 6 日（日）9:40～12:00
備考　本自然教室のみ、館外で実施。

i）自然教室「超肉食恐竜 T.rex オリジナル缶バッチをつくろう！」
担当　　髙桒祐司（当館学芸係）

実施日　　11 月 23 日（日）10:00～12:00

j）自然教室「超肉食恐竜 T.rex オリジナル缶バッチをつくろう！」
担当　　茂木　誠（当館学芸係）
実施日　　11 月 27 日（日）10:00～12:00

F　協力機関
天草市立御所浦白亜紀資料館、飯田市美術博物館、大野市教育委員会、岡山理科大学、神奈川県立生命の星・地球博物館、神流町恐竜センター、国立科学博物館、栃木県立博物館、長崎市教育委員会、名古屋市科学館、白山市教育委員会、兵庫県立人と自然の博物館、福井県立恐竜博物館、北海道大学総合博物館、北海道大学小林快次ゼミ、みどり市大間々博物館（コノドント館）、御船町恐竜博物館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、むかわ町立穂別博物館、読売新聞社、株式会社 ACTOW.
Perot Museum of Nature and Science, Triebold Paleontology, Black Hills Institute of Geological Research, Gaston Design, 中国科学院古脊椎動物与古人類研究所(IVPP)

G　協力者
池上直樹、池田忠広、石垣忍、伊藤恵夫、大倉正敏、大島光春、大塚健斗、奥村よほ子、小田　隆、加野久男、河野重範、加藤太一、久保田克博、國府田良樹、小林快次、三枝春生、酒井佑輔、坂田智佐子、櫻井和彦、清水勝、清水伸彦、高橋　功、田中真士、田村　博、對比地孝亘、徳川広和、所十三、十津守宏、富田京一、中川久雄、西村智弘、西本昌司、長谷道隆、服部雅人、日比野　剛、廣瀬浩司、藤原慎一、松本涼子、真鍋真、宮田和周、村松武、森田洋子、矢部淳、吉田光一
Gregory M. Erickson, Anthony R. Fiorillo, Kent A. Stevens, Mike Triebold,
Lawrence M. Witmer, 徐星(Xu Xing)（敬称略）

H　後援
日本地質学会，日本古生物学会，化石研究会

I　印刷物
・エピソードⅠポスター(B2 判)　　3,000 枚
・エピソードⅠポスター(B3 判)　　200 枚
・エピソードⅡポスター(B2 判)　　3,000 枚
・エピソードⅡポスター(B3 判)　　200 枚
・エピソードⅠリーフレット(A4 判)　　80,000 枚
・エピソードⅡリーフレット(A4 判)　　65,000 枚
※各 Episode のプロモーション動画をネット配信し、スマートフォン等でポスターとリーフレットに付けた QR コードを読み取らせることで、それらの動画を見られるようにした。
・招待券　　6,000 枚
・展示解説書(B5 横判・カラー)　　1,900 部

J　入館者数　　117,451 名

K　アンケート
エピソードⅠ（回答数 445 件）
年代構成：10 歳未満 21%，10 歳代 24%，20 歳代 6%，30 歳代 23%，40 歳代 22%，50 歳代 3%，60 歳以上 1%
居住地：群馬県内 70.8%，県外 29.2%
来館回数（県内）：初めて 41%，2 回目 13%，3 回目 6%，4 回目 40%

来館回数（県外）：初めて 67%，2 回目 14%，3 回目 4%，4 回目 15%
企画展を何で知ったか：来館して 26%，チラシ 29%，インターネット 19%，その他 26%
企画展の内容：満足 76%，やや満足 17%，やや不満 5%，不満 2%
企画展のわかりやすさ：わかりやすい 71%，ややわかりやすい 24%，
ややわかりにくい 4%，わかりにくい 1%

エピソードⅡ（回答数 187 件）
年代構成：10 歳未満 33%，10 歳代 28%，20 歳代 6%，30 歳代 13%，40 歳代 12%，50 歳代 5%，
60 歳以上 3%
居住地：群馬県内 63.1%，県外 36.9%
来館回数（県内）：初めて 20%，2 回目 11%，3 回目 17%，4 回目 52%
来館回数（県外）：初めて 52%，2 回目 25%，3 回目 6%，4 回目 17%
企画展を何で知ったか：来館して 36%，チラシ 24%，インターネット 16%，その他 24%
企画展の内容：満足 74%，やや満足 16%，普通 6%，やや不満 1%，不満 3%
企画展のわかりやすさ：わかりやすい 66%，ややわかりやすい 24%，
ややわかりにくい 6%，わかりにくい 4%
エピソードⅠについて：見た 42%，見ていない 58%

L　その他
ア．20 周年記念オリジナル *T.rex* フィギュアの販売
20 周年記念の本企画展のため、神流町恐竜センターが製作の *T.rex* オリジナルフィギュア（およそ 1/72 スケール）250 体を販売した。

③第53回企画展「尾瀬を科学する」

A 趣旨
1995～1997 年に第三次尾瀬総合学術調査が行われ、その後も関係各県や国立環境研究所を中心に尾瀬に関する保全を中心とした研究が進められている。また、近年シカの侵入に代表される過去になかった現象が起こり、その影響が危惧されている。本展示では、一般に知られることがほとんどなかった第三次尾瀬総合学術調査以後の研究成果とそのフィールドを紹介し、尾瀬に関する一歩進んだ知識を提供することを目的とした。また、今年度から実施される第 4 次尾瀬総合学術調査についても実施内容と必要性を紹介し、学術調査が保全の基礎となることを PR した。

B　開催期間

2017 年 3 月 18 日（土）～3 月 31 日（土）（開催日数 12 日）

C　展示構成

a）導入展示・エントランス展示

尾瀬の魅力を写真パネルとドアバナーパネルで紹介した。また、エントランスホールに関係者の尾瀬保全のための取り組みを紹介するパネル展示を行い、行政や土地管理者が尾瀬の保全に真剣に向き合っていることを紹介した。また、企画展示室直前のスペースは群馬県尾瀬山の鼻ビジターセンターの展示やレクチャールームを再現し、ビジターセンターの施設と活動を紹介するとともに、臨場感ある展示で、これから尾瀬ヶ原に入るという雰囲気を作った。

b）科学が尾瀬のプロフィールを解き明かす

尾瀬の研究史とその成果から、尾瀬の自然科学的な特徴を紹介するとともに、研究や発表の方法とその発達について紹介した。まず、尾瀬の謎として語られてきた池塘、竜宮現象、赤シボに焦点を当てて、その成因を解き明かした科学的なプロセスとともに紹介した。次に尾瀬の生物相を、標本を交えて解説し、湿原を形成する泥炭に焦点をあてて解説した。特に 1967 年に山ノ鼻田代の研究見本園で掘削され、群馬県尾瀬保護管理センターに展示されていた泥炭標本は、150mm 角の柱状標本で、貴重なものである。尾瀬の生態系については、ヤチヤナギとポリネーションエコロジーに焦点をあてて展示した。

c）尾瀬を足元から調べる－地元自治体の尾瀬保全のための調査

群馬県尾瀬保護専門委員の活動の中で、植生、植物相、水生動物、クマに焦点をあてて実物標本、調査地点の写真パネル主体で展示を行った。クイズ、体験活動はこのコーナーに集中的に配置した。クイズの中で動物頭骨のハンズオンを採用する、植生図と花の彩色を組み合わせた図鑑づくりなど、単純作業や単なるクイズの答え合わせにとどまらない活動ができるよう工夫した（今回は従来多用されたワークシートラリー形式のクイズは廃止）。

d）尾瀬を復元する

アヤメ平と至仏山の植生回復作業については常設展にも解説パネルはある。常設展パネル作成後の植生回復とともに、過去の状態の変化や今後の計画・展望を、植生回復作業の当事者である東京パワーテクノロジー尾瀬林業事業所と群馬県の資料もとに解説することにより、詳しく正確な情報を伝達することに留意した。また、現地のイメージが伝わりやすいよう、模型を使った説明を行った。

e）激変する尾瀬の自然

現在尾瀬に起きている変化として、シカなどの野生動物の侵入、オゼコウホネの減少、異常気象に伴う災害の多発に焦点をあて、特にシカによる生態系や野生植物への影響を中心に構成した。シカに関しては影響を受けた植物の標本とともに、シカ侵入防止ネットを模したミニジオラマ、背中アブリ田代に設置された群馬県の自動撮影カメラの映像を併用し、尾瀬におけるシカの活動の現状を多角的にとらえられるよう配慮した。

f）研究によって守られる尾瀬の自然

平成 29 年度より実施される第 4 次尾瀬総合学術調査の体制、調査項目、目的を紹介するとともに、なぜ今学術調査が必要か解説した。特に第 3 次尾瀬総合学術調査以降の 20 年間に科学技術の進歩と分類学的知見の蓄積による体系の変化がみられ、それに対応する調査研究が求められることをドローンや新分類体系（APGⅢ体系）による図鑑や近年新種記載された種を紹介しながら解説した。

D　展示点数：308 点（3 月 24 日バージョン：内当館収蔵資料数 248 点）

E　関連事業

a）　記念講演会

題目「尾瀬を科学する」

講師　新井幸人（プロカメラマン）

実施日　３月 19 日（日）13 時 30 分～15 時 30 分

参加者 55 名

プロカメラマン・新井幸人氏の写真や動画をもとに、尾瀬の魅力や尾瀬を美しく撮るテクニック、そして撮影の裏話を、実技を交えて語っていただいた。

F　共催団体

公益財団法人　尾瀬保護財団

G　後援

上毛新聞社、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、福島民報、福島民友、新潟日報

H　協力団体

環境省北関東地区国立公園・野生生物事務所、東京パワーテクノロジー株式会社尾瀬林業事業所、東京電力ホールディングス株式会社、福島県、新潟県、国立科学博物館、東京大学総合研究博物館、ホシザキグリーン財団、京都大学総合博物館、苫小牧市美術博物館、群馬県森林組合連合会、国立環境研究所、檜枝岐村温泉観光協会、魚沼市観光協会、片品村観光協会、群馬県林業試験場

（以上、敬称略）

I　協力者

新井幸人、福原晴夫、野原精一、黒沢高秀、木村吉幸、林　成多、群馬県林業試験場

片野光一、吉井広始、鈴木伸一、峯村宏、金杉隆雄

（以上、敬称略）

H　入館者数

平成 29 年 3 月 31 日までの入館者数 9,485 人

I　その他

3月中の土日、東京パワーテクノロジー尾瀬林業事業所の尾瀬解説員による展示解説を行った。

(3)　特別展示

①　ぐんまの自然のいま

A 趣旨

この企画は、群馬県内で長年にわたって地域に根ざして活動している自然保護、保全に携わる団体等の活動成果を、収蔵実物標本を活用しながら、ポスターやパネル等で紹介する。広く一般の県民に展示、教育普及することで、県民の自然史に関する好奇心・探求心を刺激し、地域の生物多様性の保全への関心を高めることを目的としている。

B　展示点数

ポスター50 点、ドイツ箱 7 点、野鳥ジオラマ 1 点、きのこ乾燥標本 11 点、コケ生体 1 点

総計 70 点

C　期　　間

平成 29 年 1 月 14 日（土）～2 月 19 日（日）（開催日数 32 日）

D 入場者数

11,792 人

E　関連事業

・ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2016　　※詳細は、Ⅱ2（4）学会等の開催を参照

・報告会アンケート結果（参加者人数 100 名、回収枚数 30 枚）

※「報告会から何か得られたか」

新しい情報・知見を得た（97%）、これまでの知識に誤りがあったことに気づいた（3%）

※「得た知見が、自然に対する向き合い方に影響を与えるものであったか」

これから何らかの取組に参加してみたいと思った（22%）

もっと自然について知りたいと思った（63%）

身近な自然をみてみたいと思った（7%）

これまでよりは少し自然について考えてみたいと思った（7%）

②開館 20 周年記念　自然史博物館 20 年のあゆみ～コレクション展～

Ａ．趣旨

当館は 1996 年に開館し，2016 年には開館 20 周年を迎えた．その間に収蔵資料は 16 万点を越え，また資料の蓄積だけではなく様々な調査活動や諸団体との連携など多くの人々に支えられて博物館自体も 20 年の時を重ねて成長をしてきた．本展示で「標本」をキーワードとして当館の 20 年の歩みを紹介した．単に収蔵資料を展示するのみではなく，博物館としての 20 年の活動の紹介，そしてこれからの博物館についてのビジョンをあわせて展示・紹介を行った．

Ｂ．開催期間

2017 年 1 月 14 日（土）～2 月 19 日（日）（開催日数 32 日）

Ｃ　展示構成

１．自然史博物館の 20 年

当館のこれまで 20 年間の様々な活動について紹介した．またこれまで行ってきた企画展のポスターを実施順にすべて企画展示室前の回廊部部分に展示した．企画展のポスターを見ながら来館者の方が以前に来館した際に行われていた企画展を探す様子が多く見受けられた．これによりリピーターの方にとって自然史博物館の 20 年を効果的に体験していただくことが出来た．

２．自然史を未来へと伝える標本

当館の資料収集や収蔵という側面の紹介を行った．自然史を探究・継承し、守り、伝え、人を育てる」を博物館の理念（ヴィジョン）としており，この理念の実現にむけて根幹をなすものが標本あること紹介し，標本を収集・調査研究し、適切に関し収蔵し続けて行くことを通して、従来の博物館活動を超える新しい学びのしくみを実現していくことが可能であるということを伝えた．当館が収蔵するカマラサウルスの亜成体の全身骨格標本をはじめとして，様々な分野の収蔵資料を展示した．

３．自然史を広める標本

当館の行ってきた教育普及活動の紹介や，これまで実施してきた企画展の紹介を行った．そして

これらの活動を通して県民の皆さまにとっての自然史の窓口となるような活動を行ってきた事を紹介した．普及事業の紹介では，来館者による飛ぶ種の模型づくりを実施し，風洞装置を用いて実際に種の模型の様子の観察も行った．また，それに加えボランティアによる活動の紹介も行い，資料整理ボランティアによる展示を行った．

４．自然史を切り拓く標本

当館の行ってきた調査研究活動の紹介を行った．これまで実施してきた自然史総合調査についての紹介や，当館が収蔵する標本あるいは当館職員が行った研究によって新たに明らかとなった研究成果などの紹介を模式標本などとともに紹介した．これらを通して，博物館が単なる展示施設ではなく，まだ誰も知らない自然の中にある事実を見いだし、未知の世界を明らかにしていくことも博物館の役割であることを紹介した．

５．これからの自然史博物館

当館では開館 20 年の節目に、これからどのような博物館を目指すのか、どのような博物館を県民の皆様に提供できるのかについて考え、新たな自然史博物館基本構想を策定し、中期的・長期的な目標を設定した．この基本構想について来館者の方にわかりやすく紹介を行った．

Ｄ．展示点数：約 500 点（すべて当館収蔵資料）

Ｅ．関連事業

a）カムバックダイナソーキャンペーン

2000 年に開催された第 10 回企画展「ちびっこ恐竜来る」では県内の小学生以下の方々より 3000 点以上の恐竜の絵が寄せられた．今回の特別展期間中に，この恐竜の絵を 17 年ぶりに応募された方へ返却するイベントを実施した．また返却の際は当館のオリジナル缶バッジのプレゼントも実施した．

ｂ）開館 20 周年記念　長谷川善和講演会

「いま恐竜は生きているのか？」

当館名誉館長がこれまでの恐竜等の発掘に関わる研究内容について講演した。

実施日　平成 29 年 1 月 15 日(日)

ｃ）カマラサウルス亜成体全身骨格組み立てイベント（友の会イベント）

特別展で展示するカマラサウルス亜成体全身骨格の組み立てを，友の会イベントとして実施した．友の会会員を対象として参加者を募集し，平成 29 年 1 月 7 日に実施した．

Ｆ．入館者数

11792 人

(4)　ミニ展示

①ミニ展示「きみも石ころ探偵！」

A　趣旨

一般的に、岩石は地味なイメージがあり、興味をもたれにくい存在である。しかし、子どもには宝物として収集されることがあり、身近にある自然史を子どもに伝える素材として優れていると思われる。博物館に来た子どもから岩石鑑定の依頼がしばしばあるが、興味はあれども、自ら種類を調べる

までに至ることは少ないようである。
　そこで、地質の日のイベントとして、「楽しみながらできる同定」を目的とした体験型のミニ展示を行った。ミニ展示を通して来館者の岩石に対する関心を高め、観察するきっかけをつくることを目的とした。

B　開催期間
　平成 28 年 5 月 7 日（土）～8 月 9 日（火）（75 日間）

C　主な展示構成
　用意した３つのミニシナリオに沿って来館者が探偵となり、幾つかの道具（ルーペ、磁石など）を使って犯人（岩石・鉱物）を見つけ事件を解決する。犯人を見つける作業が、実は岩石・鉱物の同定をするための一般的な手順となっている。
　a)　シナリオ１
　　鉱物の性質の違いに着目する
　b)　シナリオ２
　　複数の道具を自由に使い、鉱物の同定をする
　c)　シナリオ３
　　岩石は鉱物の集まりであることを理解する
　d)　３つの事件簿
　e)　感謝状

D　その他
　このミニ展示は、岩石鉱物資料整理ボランティアの松本恵利那氏及び安江 健氏の活動成果である。
　また、本来の会期終了は 6 月 20 日（日）の予定であったが、大変好評だったため、会期を 8 月 9 日（火）まで延長した。

②ミニ展示「群馬県の石」
A　趣旨
　日本地質学会により群馬県の石が「岩石…鬼押出し溶岩」「鉱物…鶏冠石」「化石…ヤベオオツノジカ」に決定したことを広く県民へ伝えることを目的にミニ展示を行った。

B　開催期間

平成 28 年 5 月 24 日（火）～6 月 12 日（日）（18 日間）

C　主な展示構成

・岩石…鬼押出し溶岩(群馬県長野原町　当館収蔵資料)
・鉱物…鶏冠石(群馬県下仁田町　当館収蔵資料)
・化石…ヤベオオツノジカ(群馬県富岡市　当館収蔵資料レプリカ)

③ミニ展示「日本の石、群馬県の石」

A　趣旨

日本地質学会により群馬県の石が「岩石…鬼押出し溶岩」「鉱物…鶏冠石」「化石…ヤベオオツノジカ」に決定したことと、日本鉱物学会により「日本の石…翡翠」が決定したことを広く県民へ伝えることを目的にミニ展示を行った。

B　開催期間

平成 28 年 10 月 1 日（土）～10 月 30 日（日）（26 日間）

C　主な展示構成

・岩石…鬼押出し溶岩(群馬県長野原町　当館収蔵資料)
・鉱物…鶏冠石(群馬県下仁田町　当館収蔵資料)
・化石…ヤベオオツノジカ(群馬県富岡市　当館収蔵資料レプリカ)
・日本の石…翡翠(新潟県糸魚川市　当館収蔵資料)

④Ｃコーナー解説員カウンター展示

展示テーマ	実施期間	展示内容
博物館の ヒミツ	3 月 3 日～6 月 1 日	・博物館の目的と活動の紹介 ・博物館の裏側と貴重な資料の紹介
カイコ	6 月 2 日～11 月 12 日	・カイコの生態について ・カイコと人間の関わりについて
カイガラムシ	11 月 13 日～1 月 31 日	・カイガラムシのからだ・生活の紹介 ・カイガラムシの利用
鉱物	2 月 1 日～5 月 1 日	・鉱物の魅力と特性の紹介 ・人々の生活と鉱物の関係

(4)　共催展示

ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2016　　※詳細は、Ⅱ2（4）学会等の開催を参照

2　教育普及

平成 28 年度は、教育普及事業および学校支援において、のべ 19,157 回の事業を開催し、67,226 名の参加者を得た。その内訳は、以下のようである。

（1）教育普及事業

① 解説員対応

ア　展示解説（一般向け）

常設展示室並びに企画展示室の解説は、時間を決めて行う「定時解説」と来館者の質問に答えたり、解説員から声をかけて説明したりする「随時解説」を実施した。「定時解説」は、常設展示室内を、Ａコーナー(地球の時代)、Ｂコーナー(群馬の自然と環境)、2 階(ダーウィンの部屋、自然界におけるヒト、かけがえのない地球)の 3 つに区分し、それぞれの定時解説時間は 30 分で 1 日３回実施した。企画展開催中は、企画展の定時解説（30 分）を加えて行った。

月	開館日数	定時解説実施回数	常設展定時解説参加者	企画展定時解説参加者	定時解説参加者	一日平均参加者数	随時解説回数	随時解説参加者
4	26	68	141	288	429	16.5	1914	4522
5	27	55	156	651	807	30.0	2827	7002
6	19	13	27		27	1.4	1102	2868
7	27	55	135	150	285	10.6	2173	5382
8	31	123	27	429	739	23.8	2924	7200
9	19	63	126	165	291	15.3	1147	2941
10	26	63	74	187	261	10.0	1783	4718
11	26	80	131	308	439	16.9	1177	2991
12	18	26	86		86	4.8	627	1495
1	23	33	112		112	4.9	849	2197
2	20	39	121		121	6.1	497	1101
3	27	45	165	6	171	6.3	867	2196
合計	289	663	1584	2184	3768	13.0	17887	44613

※対面アンケートを 25 人に実施（満足度結果：とても満足～100%）

イ　ビデオ上映会（一般向け）

自然に対して興味関心を持つきっかけとなることを目的として、参加無料のビデオ上映会を行った。対象は、子どもや家族連れとし、上映内容も自然に関係する低学年用のものを多くした。毎週土曜日の午前 11 時と日曜日・祝日の午前 11 時、午後 2 時に上映した。また、夏期休業中は連日午前 11 時、午後 2 時に上映した。ただし、上映場所である学習室を他の行事で使用する場合は上映を行わなかった。

月	上　映　作　品	上映回数	参加者数
4	ディズニーアニマルワールド「カメ」 （GW特別期間）ビジュアル博物館「恐竜」	14	400
5	自然なぜなにDVD図鑑「ギンヤンマ」 （GW特別期間）ビジュアル博物館「恐竜」	18	850
6	まんがイソップ物語「アリとキリギリス/ワシのおんがえし」	6	82
7	まんが日本昔話「ヘビ女房/幽霊船」	23	636
8	（前半）ウォーキングWITHダイナソー「巨大カギ爪を追え！」 （後半）ウォーキングWITHダイナソー「地上最大の巨大恐竜」	56	3037

9	ちきゅうはおおきなどうぶつえん「あつまれチャンピオン！」	12	565
10	ディスカバリーチャンネル「羽毛恐竜の誕生」	14	502
11	未来への約束	14	273
12	ディズニーアニマルワールド「アザラシ」	7	81
1	ビジュアル博物館「ネコ科の動物」	14	148
2	まんが世界昔話「マッチ売りの少女ほか3編」	10	96
3	まんがイソップ物語「ワシとキツネ　オオカミとおばあさん」	12	213
合　　計		200	6883

ウ　ポイント解説（一般向け）

一般向けの「ポイント解説」を２階展示室から１階Ａコーナーの恐竜を見下ろす位置から行った。恐竜について 10 分程度の解説をした。

月	ポイント解説実施回数	ポイント解説参加者	１回平均参加者数
4	4	37	9.3
5	8	74	9.3
6	7	22	3.1
7	12	60	5.0
8	10	64	6.4
9	1	11	11.0
10	2	10	5.0
11	8	50	6.3
12	5	32	6.4
1	5	26	5.2
2	1	9	9.0
3	1	9	9.0
計	64	404	6.3

エ　紙芝居（一般向け）

当館に来館する子育て中の親子を対象に、自然に対して興味関心を持つきっかけとなることを目的として、参加無料の一般向け「紙芝居」を学習室で実施した。内容も自然に関係する幼児向けのものを多くした。土曜日の午後 2 時 15 分に実施した。

月	紙芝居実施回数	紙芝居参加者	１回平均参加者数
4	5	86	17.2
5	4	69	17.3
6	3	69	23.0
7	5	116	23.2
8	4	202	50.5
9	3	56	18.7
10	5	119	23.8
11	4	81	20.3
12	4	43	10.8
1	4	75	18.8
2	4	59	14.8
3	4	72	18.0
計	49	1047	21.4

オ　スポット解説（学校向け）

学校等の団体を対象に「スポット解説」を実施した。スポット解説は、引率者と事前の打ち合わせを行い、特定の展示資料について 15 分程度の解説を行った。

計　実施数 59 回　3733 名

内　　容	団体数	内　　訳
恐竜 カマラサウルス	50	幼稚園・保育園3　小学校 40 特別支援学校1　　その他 6
尾瀬	3	小学校 1　　中学校2
キリンとゾウ	2	小学校2
館内一周解説	2	高校1，その他1
Aコーナー Bコーナー解説	1	その他1
飛ぶ種	1	小学校 1

カ　ビデオ上映会（学校向け）

学校等の団体を対象に「ビデオ上映会」を実施した。ビデオ上映会は、引率者と事前の打ち合わせを行い、自然史に関係する内容について上映した。

計　実施数 14 回　1104 名

団体数	内　　訳
16	小学校 14　その他 2

キ　解説員研修

展示解説の充実と資質向上のため、解説員の研修を以下の通り実施した。

・救命救急講習　6 月 14 日
・地学系野外研修　6 月 15 日
・職員全体研修　6 月 16 日
・第 52 回企画展(20 周年特別展)研修
　6 月 14 日　7 月 8,15,20,21,22 日　9 月 28,30 日　10 月 4,5,6 日
・科学コミュニケーション研修　12 月 13 日
・解説業務改善のための協議　12 月 28 日
・第 53 回企画展研修
　2 月 22 日　3 月 10,17,22,23,24 日

② ファミリー自然観察会

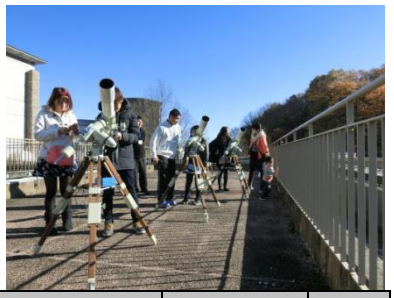
群馬県内の自然についての理解を深めるために、県内各地や博物館周辺を会場として自然観察会を開催し、家族で自然に親しむ機会を提供した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
4月17日(日)	化石さがしに 挑戦しよう	吉井運動公園周辺の鏑川河川敷で化石の観察と採集を行った。	学芸係 髙桒祐司	29
6月5日(日)	水の中の生きものを 調べよう －夏休み自由研究教室（1）－	琴平山公園周辺の雄川で水棲昆虫の観察と採集を行った。	宮原義男	24
7月17日(日)	川原の石を 調べよう －夏休み自由研究教室（2）－	下仁田町青岩公園周辺で川原の石の観察と採集を行った。	下仁田町ジオパーク推進室 登録推進係 関谷友彦	28
9月4日(日)	輝く昆虫、オオセンチコガネを探そう －ウシとの深い関係とは－	下仁田町神津牧場で、糞虫や放牧地にやってくる哺乳類の痕跡を観察した。	元神津牧場職員 庄山由美	31
12月4日(日)	水辺の鳥を 観察しよう －カモ類の仲間－	大室公園五料沼周辺で見られる水辺にやってくる鳥（カモ類を中心に）を観察した。	当館資料整理 ボランティア 清水伸彦	10
延５回開催				計122

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	40	5	0	0
県民のニーズ	・化石発掘体験の場所を変えるなどしてもっと増やしてほしい。 ・昆虫や魚などの観察会を企画してほしい。			

③ 天体観望会

博物館の天体ドームに設置している40cm反射望遠鏡・15cm屈折望遠鏡や移動式の天体望遠鏡、大型双眼鏡を使い、その時季に見られる代表的な星座・星雲、惑星について観察した。



月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
5月3日 (火･祝)	実は出ている昼の星を見てみよう	曇天のため、中止。	学芸係 茂木　誠	／
5月7日（土）	木星と春の夜空に輝く星たちを見てみよう	口径40cm反射望遠鏡や移動式屈折望遠鏡を使って惑星の観察をしたり、春の星座解説を行ったりした。	学芸係 茂木　誠	17
10月10日 (火･祝)	実は出ている昼の星を見てみよう	口径 40cm の反射望遠鏡や移動式屈折望遠鏡を使って昼間見える惑星や恒星を観察した。	学芸係 茂木　誠	33
11月5日(土)	火星と夏・秋の星座を見てみよう	口径40cm反射望遠鏡や移動式屈折望遠鏡を使って惑星の観察をしたり、夏や秋の星座解説を行ったりした。	県立ぐんま天文台 長谷川隆 学芸係 茂木　誠	30

12月3日(土)	見上げてみよう 秋の星たちを	口径40㎝反射望遠鏡や移動式屈折望遠鏡を使って惑星の観察をしたり、秋の星座解説を行ったりした。	学芸係 茂木　誠	24
2月18日(土)	見上げてみよう 冬の星たちを	口径40㎝反射望遠鏡や移動式屈折望遠鏡を使って惑星の観察をしたり、冬の星座解説を行ったりした。	学芸係 茂木　誠	37
延６回計画（５回開催、１回中止）				計141

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	41	5	0	0
県民のニーズ	・観望会を月１回ペースで実施してもらいたい。 ・もっと長く観察したい。			

④ 自然史講座

自然科学の第一戦で活躍される研究者を講師に招き、県民に自然への興味・関心や知識を高める機会を提供した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
5月29日(日)	マダガスカルの鳥	適応放散によって進化したオオハシモズ類の繁殖形態について話した。	上越教育大学 教授 中村　雅彦	35
7月31日(日)	増える！拡がる！害をなす！外来生物の困った問題	日本中に拡がる外来生物の困った問題について話した。オオマリコケムシなども観察した。	ミュージアムパーク茨城県自然博物館 主席学芸員 池澤　広美	27
11月20日(日)	こけティッシュ苔ワールド	当館周辺のコケを採取し、双眼実態顕微鏡を使って観察した。	ミュージアムパーク茨城県自然博物館 学芸員 鵜沢美穂子	28
2月12日(日)	日本人は、どこから来たのか？	3 万年以上前に、海を越えてやってきた最初の日本列島人について話した。	国立科学博物館人類史研究グループ長 海部　陽介	83
延４回開催				計173

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	114	22	0	0
県民のニーズ	・生物進化の最新研究を知りたい ・群馬の自然について詳しく知りたい ・恐竜についての講演を聴きたい			

⑤ 企画展 講演会

企画展に協力いただいた研究者や展示内容に関連する専門家を招いたり、企画展担当者が講師となったりして、企画展に関連した講演会を開催した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
4月16日(土)	水分調節のできるよろいを手に入れた昆虫	昆虫が繁栄した理由について解説した。	東京農業大学昆虫学研究室 岡島秀治	41
10月2日(日)	ティラノサウルス類を中心とした獣脚類恐竜の進化	獣脚類恐竜の進化をティラノサウルス類の系統学的位置などを中心に解説した。	東京大学大学院理学系研究科講師 對比地孝亘	63
10月16日(日)	超肉食恐竜ティラノサウルス類、大解剖	ティラノサウルス類が超肉食恐竜と呼ばれる理由を多面的に解説した。	北海道大学 総合博物館准教授 小林快次	96
3月19日(日)	尾瀬を撮る	尾瀬の風景と現状の解説	風景写真家 新井幸人	55
延４回開催				計255

⑥ 企画展 自然教室

企画展に展示された資料や標本、また企画展に関連した資料や標本等を題材として、企画展に関する興味と関心を高めるために、さまざまな自然教室を実施した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
4月10日(日)	ダンボールアート王と作ろう！「ダンゴムシペーパークラフト」	オカダンゴムシのペーパークラフトをつくった。	ザウルスワン 篠崎　均	20
4月29日(金・祝)	戦国時代のよろいをまとってみよう	戦国時代のよろいを着装し、企画展示室内を案内した。	群馬県立 歴史博物館 中島　秀規	12
5月4日(水・祝)	戦国時代のよろいをまとってみよう	戦国時代のよろいを着装し、企画展示室内を案内した。	教育普及係 月田典寿 学芸係 茂木　誠 菅原久誠	12
7月18日(月・祝) 10：00～11：30	恐竜の生体復元図に挑戦しよう	恐竜の頭骨図にトレーシングペーパーを敷き、生体復元図を描いた。	恐竜造形作家 徳川　広和	59
13：30～15：30	恐竜の生体復元模型に挑戦しよう	恐竜の骨格模型に粘土をつけてオリジナルの模型を作った。		

8月14日（日） 13:30～15:30	いろいろな爬虫類を観察しよう	生きた本物の爬虫類を目の前に、その生態などについて話した。	肉食爬虫類研究所　代表 富田　京一	30
9月22日(木・祝) 13:30～15:30	コハクのストラップをつくろう	コハクを使った簡単な実験を行い、その後、磨いてストラップを作った。	教育普及係 小須田健志	28
10月30日（日） 10:00～11:30	恐竜時代の貝の化石レプリカを作ろう	御所浦より発掘された１億年前の貝化石（実物）から、シリコンゴムを使ってのレプリカ作りを行った。	天草市立御所浦白亜紀資料館学芸員 廣瀬浩司	27
10月30日（日） 13:00～15:00	恐竜時代の貝の化石レプリカを作ろう	御所浦より発掘された１億年前の貝化石（実物）から、シリコンゴムを使ってのレプリカ作りを行った。	天草市立御所浦白亜紀資料館学芸員 廣瀬浩司	23
11月6日（日） 9:40～12:00	恐竜時代の化石さがしに挑戦しよう	神流町恐竜センターの化石発掘体験地において、恐竜時代に生息していた生物の化石を発掘・採集した。	神流町恐竜センター学芸員 久保田克博	30
11月23日（日） 10:00～12:00	超肉食恐竜*T. rex*オリジナル缶バッチを作ろう	*T. rex*展のチラシをモチーフにしたデザインカードをもとにして、オリジナルの缶バッチを製作した。	学芸係 髙桒祐司	100
11月27日（日） 10:00～12:00	超肉食恐竜*T. rex*オリジナル缶バッチを作ろう	*T. rex*展のチラシをモチーフにしたデザインカードをもとにして、オリジナルの缶バッチを製作した。	学芸係 茂木　誠	100
延11回開催				計441

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	９４	１１	1	0

⑦ 自然史博物館探検隊

展示室内の宿泊や、普段公開していない収蔵庫や展示室の裏側探検など通して、子どもたちに博物館を身近なものに感じてもらうとともに、地球の成り立ちや生物の進化、群馬の自然について、興味・関心を高めてもらうため実施した。参加者へ指導（宿泊指導を含む）は、教育普及係長、教育普及係２名、学芸係１名、展示解説員３名で行った。

日　　時：7 月 23 日(土)　集合　午後 6:00
　　7 月 24 日(日)　解散　午前 8:00
参加人数：小学生 30 名　（募集対象：小学 4～6 年生）

⑧ ミュージアムスクール

小学 5 年生から中学 3 年生を対象に、様々な体験を通して自然のしくみを知り、自然を大切にする理科好きな子どもの育成をめざしてミュージアムスクールを実施した。今年度は、3 コースに分け、コース別にテーマに沿って 10 回の課題追究学習を行った。

コース名	概　　要	指導担当職員	参加者数
昆虫コース	博物館周辺の山の中に昆虫トラップを仕掛け、そこに集まる昆虫の種類と数を調査した。	学芸係 高橋克之	2
キノココース	博物館周辺の雑木林の中に生育するキノコについて調査した。また、採取した資料は、温風乾燥法を用いて標本にした。	学芸係 佐藤利正 教育普及係 静野　聡	5
下仁田ジオパークコース	下仁田ジオパーク内にある宮室の逆転層周辺で、そこに住む生物や岩石などについていろいろな角度から調査した。	学芸係 菅原久誠	4
合　　計			11

⑨ 出張展示

ア 移動博物館

遠隔地のため博物館に来館する機会の少ない人等に博物館を利用する機会を提供するため、県内各地の公民館や大型商業施設へ資料を運んで展示する移動博物館を開催した。前年度中に県内の各学校・各公民館、県内特別支援学校に開催希望をとり、実施した。

また、「化石のレプリカづくり」や「飛ぶタネの模型づくり」等の体験活動を行った。

会　　場	期　　日	利用者数	博物館資料点数
けやきウォーク前橋	6月25日(土)・26日(日)　　2日間	1877	108
高崎市六郷公民館	11月3日(木・祝)・5日(土) 2日間	467	67
館林市多々良公民館	2月25日(土)・26日(日)　　2日間	265	108
合　　計		2609	283

イ 他館連携出前教室

年間に数回、県内の公共施設等においてはく製や化石などを展示するとともに、当館のチラシを配布してＰＲ活動を行った。また、必要に応じて化石のレプリカづくり等の体験活動を実施し、当館への興味・関心を高めた。

会　　場	期　　日	担当	参加者数
スマーク伊勢崎	7月23日（土）	教育普及係　月田典寿	756
群馬県生涯学習センター	7月28日（木）	教育普及係　月田典寿	80
合　　計			836

⑩ サイエンス・サタデー

毎週土曜日の午後 2 時から 3 時まで、実験室や館周辺を活用した生物や地学に関連する簡単な実験・観察・ものづくり等の教室を行った。対象を小学生以上とし、講師や補助指導は館職員とボランティアが行った。

月	テーマ	概　　要	参加者数
4	ツバメ型グライダーをつくろう	ツバメについて学んだあと，ツバメ型グライダーをつくり，中庭で飛ばした。（5回）	215
5	動物の足跡オリジナルマスキングテープをつくろう	動物の足のつくりについて学んだ後、足跡スタンプを使ってオリジナルマスキングテープを作った。（4回）	108
6	光るスライムをつくろう	生物の様々な発光について学び，蓄光材を利用した光るスライムをつくった。（3回）	151
7	スピノサウルスの歯のレプリカをつくろう	スピノサウルスについて学んだ後、スピノサウルスの歯のレプリカを作った。（5回）	288
8	アンモナイト化石のレプリカをつくろう	アンモナイトについて学んだあと，石膏でアンモナイト化石のレプリカをつくった。（4回）	233
9	恐竜やじろべえをつくろう	恐竜の分類について学んだ後、恐竜やじろべえをつくった。（3回）	120
10	飛ぶタネの模型を作ろう	飛ぶタネの仕組みについて学んだ後、折り紙で飛ぶタネの模型を作った。（5回）	119
11	水引でデザインポチ袋を作ろう	和紙について学んだ後、和紙を原料とする水引をアレンジし、デザインポチ袋を作った。（4回）	95
12	コケのテラリウムをつくろう	コケのからだのつくりについて学んだあと，コケの採取を行い，コケのテラリウムをつくった。（4回）	97
1	簡易モーターをつくろう	地球の自転について学んだあと，磁石、乾電池を使った簡易モーターを作った。（3回）	78
2	動物糸電話をつくろう	動物の耳や口のはたらきについて学んだ後、動物の顔を形作った糸電話を作った。（4回）	118
3	火山灰から宝石を見つけよう	火山活動について学んだ後、火山灰の椀がけを行い、いろいろな鉱物を探し出した。（4回）	188
合　　計			1810

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	26	1	0	0

⑪ ミュージアム・ナイト・ツアー

夜の博物館をキャラクター等に扮した館職員が案内した。

地球４６億年の歴史について恐竜について紹介したり、動物の生態について紹介したりしながら、薄暗い展示室の特徴を生かして解説を行った。

開催日：１月 26 日（土）・2 月 4 日（土）

参加者合計：82 名

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	20	0	0	0
県民のニーズ	・参加者にライトを渡してほしい。 ・今後もナイトツアーを続けて開催してほしい。			

⑫ バックヤード・ツアー

普段は公開していない博物館のバックヤード（収蔵庫や研究施設）を館職員が案内した。収蔵庫に保管してある化石や剥製などの様々な標本、資料整理の仕方や職員が取り組んでいる調査・研究などについて紹介した。また、毎月第一日曜日にバックヤードツアー30 を行った。

バックヤードツアー30 参加者

月	参加者数	月	参加者数	月	参加者数	月	参加者数
4	9	7	11	10	11	1	8
5	11	8	11	11	10	2	8
6	14	9	11	12	12	3	未実施
合計							116

⑬ 高校生学芸員

高校生の自然科学への関心を高めるため、自分で設定した研究テーマについて、学芸係職員の指導をもとに調査・研究を行う事業を実施した。今年度は９名の高校生が、６分野９のテーマに取り組み、研究発表会を行った。

分　野		主な活動内容	参　加　者	担当
1	哺乳類	ニホンザルにおける成長に伴う頭蓋形態の変化について	県立伊勢崎興陽高等学校 １名	木村 姉崎
		群馬県渋川市におけるネズミ類の生息調査	県立渋川女子高等学校１名	木村 姉崎
2	植物	セイタカアワダチソウの環境的評価について	県立富岡高等学校１名	大森
3	昆虫	バッタの食草の識別について	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校１名	高橋
4	貝類	叶山におけるオモイガケナマイマイの生息調査	共愛学園高等学校１名	茂木
5	化石	アンモナイト類の概要とその特徴について	県立高崎女子高等学校 １名	髙桒
		恐竜の歩行時の地面にかかる圧力について	県立高崎女子高等学校 １名	髙桒
6	地質	荒船山におけるデイサイトの記載岩石学的研究	県立渋川女子高等学校 １名	菅原
		榛名山におけるデイサイトの記載岩石学的研究	県立渋川女子高等学校 １名	菅原

⑭ 大人の自然史倶楽部

大人向けの講座として、参加者の知的好奇心を満たし、それぞれの分野に対する興味関心が高まるきっかけとなるよう以下の３コースで実施した。

コース	内　　容	人数	担当
蘚苔類 地衣類観察 コース	国立科学博物館との共催事業として「群馬県赤城山のコケと地衣類を見る知る楽しむ」を 6 月 11 日～6 月 12 日の 1 泊 2 日コースで開催した。6 月 11 日は、老神地域で地衣類を観察、6 月 12 日は赤城山北面で蘚苔類の観察を行った。 講師は、蘚苔類：樋口正信先生、 地衣類：大村嘉人先生	21	姉崎 佐藤
シダ植物 コース	標本をもとに、シダ植物の系統、分布と生態について学んだ。また、谷川山麓・富岡市鳴滝不動尊エリアにおいて、野外観察を行った。	14	大森
ジオパークで カタツムリ 探求コース	下仁田ジオパークにて、地形や植生など自然環境と関連させながらカタツムリの観察・採集を行った。採集後は、標本作りを行った。	12	茂木

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	6	0	0	0

県民のニーズ	・カヤツリグサ科、イネ科について学びたい。

⑮ 外部資金

・貸出トランクキットの開発

公益財団法人日本海事科学振興財団、船の科学館「海の学びミュージアムサポートプログラム２」の支援を受け、海を学ぶ「磯のいきもの」貸出用トランクキットを開発した。

事業名：「海洋教育」体感型アウトリーチ補助教材（トランクキット）開発

事業期間：平成 28 年 6 月 1 日（水）　～ 平成 29 年 2 月 28 日（火）

協力機関等：群馬県立盲学校、神奈川県立生命の星・地球博物館、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、群馬県立女子大学

支援額：300 万円

事業内容：海のない群馬県における海洋教育の一助とすることを目的に、学校教育機関と連携・協働しながら、社会教育機関ならではの体験型アウトリーチ補助教材「トランクキット」を新規に開発し、プロトタイプとして制作した。

(1) プロトタイプ「トランクキット」の開発・制作

(2) トライアル運用、共同開発

(3) キット改良、運用、完成

開催事業：海に触れるワークショップの開催

開催日：平成 29 年 1 月 14 日（土）、1 月 29 日（日）

講師：庄山由美（サイエンスコミュニケーター）

制作物:

トランクキット

トランクの中の磯ブロック

外に出して自由にアレンジ

液浸標本と３Ｄ模型のセット：クサフグ

フリーズドライ標本と３Ｄ模型

印刷物

ビジュアルテキスト・磯 200 部
ビジュアルテキスト・魚のかたち 200 部
点字テキスト・磯 20 部
点字テキスト・魚のかたち　20 部
点字アンケート票 100 枚
トランクキットの中身　説明点字テキスト　100 枚
チラシ　1000 部
チラシ　点字印刷 100 部
下敷き　500 枚
ふせん　300 部

(2) 教育支援

① 学校・教科主任会などへの講師派遣や館内での講師対応

ア　大学・高等学校教育への支援　　計実施数 8 回　164 名

支援先	対象	実施日	会場	人数	内　　容	対応職員
群馬大学	大学	6 月 25 日	自然史博物館	12	博物館のバックヤード見学と企画展・教育普及イベント発案に関するグループディスカッション	菅原 茂木 姉崎
青山学院大学	大学	8 月 12 日	自然史博物館	24	見学及び博物館や学芸員の職務に関する講義	岩井 菅原
群馬医療福祉大学	大学	9 月 7 日	自然史博物館	17	見学及び博物館の効果的な利用法についての講義普及事業体験	月田
群馬県立高崎女子高等学校	高校	8 月 21 日	自然史博物館	17	博物館の展示見学と収蔵施設の見学	静野
麻布大学	大、大院	9 月 2 日	自然史博物館	28	資料作成の基本実習：植物、昆虫	姉崎 高橋 大森
立正大学	大学	9 月 14 日	自然史博物館	22	博物館の展示見学と収蔵施設の見学	茂木 静野
群馬県立前橋東高校	高 1	10 月 14 日	自然史博物館	22	見学及び博物館の役割と学芸員の仕事に関する講義	岩井 木村 静野
群馬県立尾瀬高等学校	高 1	11 月 10 日	自然史博物館	22	自然史博物館の展示概要、博物館ボランティアによる展示解説	静野

イ　小中学校教育への支援

ⅰ　総合的な学習の時間への対応（一般見学は除く）　　計 2 校　172 名

学　校　名	学年	実施日	人数	内　　容（対応方法）	対応職員等
富岡市立南中学校	中 1	5 月 24 日	150	尾瀬学校事前学習	解説員
富岡市立西中学校	中 1	5 月 24 日	22	尾瀬学校事前学習	解説員

ⅱ　小学校・中学校及び理科主任会等への職員派遣・支援　　計 6 回　180 名

職員派遣先等	対象	実施日	会場	人数	内　　容	対応職員
富岡市中学校理科主任会	教員	4 月 26 日	富岡市立南中学校	10	博物館の貸し出し資料の有効活用	静野
富岡市小学校理科主任会	教員	4 月 28 日	富岡市立富岡小学校	10	博物館の貸し出し資料の有効活用	静野
富岡市小中学校校長会	校長	5 月 2 日	富岡市教育委員会	30	自然史博物館の効果的な利用方法	静野

群馬県中学校理科部会	教員	5月11日	県生涯学習センター	50	自然史博物館の効果的な利用方法	静野
群馬県小学校理科部会	教員	5月26日	県生涯学習センター	50	自然史博物館の効果的な利用方法	小須田
第63回全国中学校理科教育研究会	教員	8月6日	自然史博物館	30	博物館の展示見学（学芸員によるギャラリートーク）と収蔵施設の見学	静野

【出前授業】　　計 計画回数20回・実施回数20回　688名

支援先	対象	実施日	会場	人数	内　　容	対応職員
富岡市立黒岩小学校	クラブ	5月26日	富岡市立黒岩小学校	32	液体窒素実験	静野
富岡市立西小学校	クラブ	6月8日	富岡市立西小学校	21	化石のレプリカ作り	静野
高崎市立玉村南小学校	小3～6	8月1日	高崎市立玉村南小学校	30	学校周辺の貝調査	茂木 静野
高崎市立金子小学校	小1～6	8月3日	高崎市立金子小学校	90	化石のレプリカ作り	静野
高崎市立玉村南小学校	小1～6	8月4日	高崎市立玉村南小学校	30	ツバメグライダー作り	月田
伊勢崎市立宮郷小学校	クラブ	9月28日	伊勢崎市立宮郷小学校	44	化石のレプリカ作り	月田
高崎市立岩平小学校	小6	10月7日	高崎市立岩平小学校	10	化石のレプリカ作り	静野
高崎市立吉井西小学校	小6	10月4日	高崎市立吉井西小学校	44	地層の観察	髙桒 静野
富岡市立西小学校	クラブ	10月19日	富岡市立西小学校	21	液体窒素実験	静野
高崎市立浜尻小学校	クラブ	10月27日	高崎市立浜尻小学校	17	液体窒素実験	小須田
富岡市立西小学校	クラブ	12月7日	富岡市立西小学校	21	光るスライム作り	静野
前橋市立二之宮小学校	クラブ	12月15日	前橋市立二之宮小学校	14	化石のレプリカ作り	静野
高崎市立佐野小学校	小6	12月20日	高崎市立佐野小学校	78	天体望遠鏡を使った太陽の黒点と月の観察	茂木 静野
高崎市立佐野小学校	小6	12月21日	高崎市立佐野小学校	77	天体望遠鏡を使った太陽の黒点と月の観察	茂木 静野
高崎市立浜尻小学校	クラブ	1月19日	高崎市立浜尻小学校	17	化石のレプリカ作り	静野
伊勢崎市立宮郷小学校	クラブ	1月25日	伊勢崎市立宮郷小学校	44	液体窒素実験	静野
富岡市立黒岩小学校	小4～6	1月31日	黒岩小(自然史博物館)	40	冬の星座について講話・天体観望会	茂木 静野

高崎市立 矢中小学校	クラブ	2月2日	高崎市立 矢中小学校	23	液体窒素実験	静野
富岡市立 西小学校	クラブ	2月8日	富岡市立 西小学校	21	簡易モーター作り	静野
前橋市立 二之宮小学校	クラブ	2月16日	前橋市立 二之宮小学校	14	液体窒素実験	静野

② **館内授業**　　計　参加校等 45 校、授業数 64 件、参加人数 2,563 名

学校名	学年	実施日	人数	内容	授業数
板橋区立蓮根小学校	5年	5月11日	75	レプリカ	2
桐生市立桜木小学校	6年	5月12日	43	レプリカ	1
板橋区立志村小学校	5年	5月13日	56	レプリカ	2
板橋区立板橋第九小学校	5年	5月18日	15	レプリカ	1
板橋区立高島第一小学校	5年	5月20日	79	レプリカ	2
太田市立東小学校	3・4年	5月20日	43	液体窒素	1
板橋区立天津わかしお学校	5年	5月25日	5	葉のパウチ	1
玉村町立上陽小学校	4年	5月26日	46	レプリカ	1
板橋区立赤塚新町小学校	5年	5月27日	43	レプリカ	1
太田市立沢野中央小学校	4年	5月27日	57	レプリカ	1
館林市立第二小学校	4年	6月1日	66	レプリカ	2
板橋区立三園小学校	5年	6月3日	93	レプリカ	2
東久留米市立本村小学校	6年	6月8日	58	植物化石	1
板橋区立大谷口小学校	5年	6月8日	54	レプリカ	1
群馬県立富岡高校定時制		6月10日	18	レプリカ	1
板橋区立志村第二小学校	5年	6月22日	100	レプリカ	2
東久留米市立第二小学校	6年	6月24日	103	レプリカ	2
板橋区立板橋第二小学校	5年	6月29日	25	レプリカ	1
武蔵村山市立第三小学校	6年	7月1日	82	レプリカ	2
文京区立音羽中学校	1年	7月6日	100	飛ぶタネ	2
板橋区立志村第一小学校	5年	7月8日	84	レプリカ	2
港区立青山小学校	5年	7月27日	26	レプリカ	1
お台場学園港陽小学校	5年	7月27日	55	レプリカ	1
港区立東町小学校	5年	7月29日	47	レプリカ	1
港区立御田小学校	5年	8月24日	47	レプリカ	1
港区立赤羽小学校	5年	8月24日	49	レプリカ	1
港区立青南小学校	5年	8月26日	85	レプリカ	2
板橋区立前野小学校	5年	9月14日	78	レプリカ	2
板橋区立板橋第一小学校	5年	9月16日	64	レプリカ	2
板橋区立高島第六小学校	5年	10月5日	77	レプリカ	2
板橋区立上板橋第四小学校	5年	10月6日	64	植物化石	2
板橋区立高島第五小学校	5年	10月7日	37	植物化石	1
昭和村立大河原小学校	3・4年	10月7日	28	レプリカ	1
神川町立青柳小学校	3・4年	10月12日	75	レプリカ	2
太田市立宝泉南小学校	4年	10月14日	30	レプリカ	1
伊勢崎市立境小学校	4年	10月19日	53	レプリカ	1

太田市立世良田小学校	4 年	10 月 19 日	33	レプリカ	1
大泉町立南小学校	4 年	10 月 20 日	93	レプリカ	2
玉村町立南小学校	4 年	10 月 21 日	54	レプリカ	1
板橋合同八・十小学校	5 年	10 月 26 日	117	レプリカ	2
板橋区立中台小学校	5 年	10 月 27 日	40	レプリカ	1
安中市立秋間小学校	6 年生	11 月 16 日	23	植物化石	1
ぐんま国際アカデミー	中 1	1 月 18 日	96	レプリカ	2
前橋市立荒牧小学校みやま分校	5・6 年	2 月 16 日	3	レプリカ	1
甘楽町立新屋小学校	6 年	3 月 10 日	44	植物化石	1

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	24	1	0	0
参加者のニーズ	・子供が利用しやすい椅子に変更してほしい			

※授業内容は以下の通り

レプリカ:「化石のレプリカを作ろう」　飛ぶタネ：「飛ぶタネの模型を作ろう」

植物化石：「植物化石を探そう」　葉のパウチ：「葉のパウチ標本をつくろう」

③ 職場体験活動（中学校・高等学校）　計 9 校・24 日・延べ 63 名

学　校　名	学年	実施日	人数	内　　容	対応職員
高崎市立 吉井西中学校	中 2	5 月 24 日～ 27 日	1	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	高橋・茂木・静野
安中市立松井 田南中学校	中 2	8 月 31 日～ 9 月 2 日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	髙桒･木村･月田 静野
富岡市立 東中学校	中 2	9 月 1 日～ 2 日	2	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	木村・静野
安中市立 第一中学校	中 2	9 月 13 日～ 15 日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	茂木･佐藤 静野
富岡市立 富岡中学校	中 2	10 月 13 日 ～14 日	2	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	木村・高橋 静野
富岡市立 南中学校	中 2	10 月 20 日 ～21 日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	高橋･静野
安中市立 北中学校	中 2	11 月 8 日 ～10 日	1	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	茂木・静野
群馬県立高崎高 等特別支援学校	高 1	1 月 17 日～ 20 日	1	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	茂木・佐藤 静野
新島学園 中学校	中 3	3 月 7 日～ 9 日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	茂木・佐藤 静野

④ 教育用資料貸出　延べ 81 団体

貸出先	貸出資料	利用目的	貸出	返却
群馬県立高崎高等学校	・液体窒素（10ℓ ）	科学部	5 月 6 日	5 月 14 日
富岡市小野公民館	・反射式天体望遠鏡 ・屈折式天体望遠鏡	公民館事業	5 月 13 日	5 月 17 日

安中市立後閑小学校	・昆虫標本セットA ・昆虫標本セットB	理科授業	5月24日	6月7日
富岡市小野公民館	・反射式天体望遠鏡 ・屈折式天体望遠鏡	公民館事業	5月31日	6月1日
高崎経済大学付属高等学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	化学実験	5月31日	6月2日
高崎経済大学付属高等学校	・液体窒素（10ℓ ）	理科授業	6月1日	液体のみ
群馬県立高崎高等学校	・液体窒素（10ℓ ）	科学部	6月3日	6月7日
前橋市立広瀬小学校	・ティラノサウルスの歯 ・カマラサウルスの歯 ・胃石	校長講話	6月5日	6月11日
群馬県立富岡高等学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器・実験セット	化学授業	6月7日	6月10日
群馬県立勢多農林高等学校	・液体窒素（10ℓ ）	植物の凍結保存	6月9日	6月30日
群馬県立渋川女子高等学校	・液体窒素（10ℓ ） ・拡散霧箱	文化祭	6月10日	6月11日
高崎市立桜山小学校	・昆虫標本セットA	理科授業	6月12日	6月26日
藤岡市立平井小学校	・昆虫標本セットB	理科授業	6月18日	6月25日
藤岡市立平井小学校	・拡大模型　昆虫頭部	理科授業	6月18日	6月25日
群馬県立高崎高等学校	・液体窒素（10ℓ ）	物理授業	6月23日	液体のみ
富岡市立富岡小学校	・動物頭骨標本 （ライオン，パンダ，ウシ） ・歯のレプリカセット	保健指導	6月24日	7月1日
高崎市立吉井西小学校	・昆虫標本セットA	理科授業	6月28日	7月5日
富岡市立一ノ宮小学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	職業体験	7月10日	7月12日
安中市立松井田北中学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	7月13日	7月16日
群馬県立吉井高等学校	・液体窒素（10ℓ ）	理科授業	7月14日	液体のみ
高崎経済大学付属高等学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	化学実験	7月20日	7月21日
沼田市立升形小学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	7月21日	7月22日

館林市渡瀬公民館	・いろいろな化石 ・進化の根拠	公民館事業	7 月 26 日	7 月 31 日
富岡市小野公民館	・反射式天体望遠鏡 ・屈折式天体望遠鏡	公民館講座	7 月 28 日	8 月 2 日
群馬県立藤岡工業高等学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	クラブ活動	8 月 8 日	8 月 10 日
伊勢崎市あずま公民館	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	公民館事業	8 月 19 日	8 月 23 日
明和県央高等学校	・レプリカ作成セット 石膏＆水 大アンモナイト型 ラバーボール・スパチュラ	化学授業	9 月 3 日	9 月 10 日
高崎市立板鼻小学校	・昆虫標本セット A	理科授業	9 月 3 日	9 月 17 日
前橋市立桂萱中学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	9 月 11 日	9 月 24 日
富岡市小野公民館	・反射式天体望遠鏡 ・屈折式天体望遠鏡	公民館事業	9 月 14 日	9 月 14 日
高崎経済大学付属高等学校	・液体窒素（5ℓ ）	化学実験	9 月 14 日	液体のみ
藤岡市立東中学校	・動物頭骨標本 (ウマ、ウシ、ウサギ、ネコ、ライオン、ヒョウ、ゴリラ、ブタ)	理科授業	9 月 11 日	9 月 21 日
群馬県立勢多農林高等学校	・液体窒素（10ℓ ）	植物の凍結保存	9 月 23 日	10 月 31 日
前橋市立第五中学校	・動物頭骨標本 （草食、雑食、肉食動物）	理科授業	9 月 24 日	10 月 1 日
前橋市立広瀬小学校	・アルソミトラの種子（実物・標本） ・フタバガキの種子（実物・標本）	校長講話	10 月 2 日	10 月 9 日
下仁田町立下仁田中学校	・動物頭骨標本 （ウサギ、ウマ、ヒツジ、ネコ、イヌ、ブタ、アライグマ、トラ、ゴリラ）	理科授業	10 月 4 日	10 月 7 日
高崎市立城南小学校	・屈折式天体望遠鏡	理科授業	10 月 4 日	10 月 7 日
高崎市立長野小学校	・レプリカ作成セット 石膏＆水 大アンモナイト型 ラバーボール・スパチュラ	理科授業	10 月 4 日	10 月 7 日

桐生市青少年野外活動センター	・レプリカ作成セット 石膏＆水 小アンモナイト型 三葉虫型 ビカリア型 ラバーボール・スパチュラ	センター事業	10 月 6 日	10 月 12 日
下仁田町立下仁田中学校	・進化の根拠	理科授業	10 月 18 日	10 月 21 日
中之条町立六合中学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	10 月 12 日	10 月 13 日
高崎市立吉井西小学校	・レプリカ作成セット 石膏＆水 小アンモナイト型 三葉虫型 ラバーボール・スパチュラ	理科授業	10 月 14 日	10 月 21 日
高崎市立南八幡中学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	文化祭	10 月 19 日	10 月 21 日
明和県央高等学校	・レプリカ作成セット 石膏＆水 三葉虫型 ラバーボール・スパチュラ	化学授業	10 月 22 日	11 月 3 日
富岡市立吉田小学校	・動物頭骨標本 （ウシ、ブタ、ライオン）	保健指導	10 月 25 日	11 月 11 日
富岡市立吉田小学校	・歯のレプリカセット	保健指導	10 月 25 日	11 月 11 日
富岡市立丹生小学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	10 月 30 日	11 月 1 日
富岡市立丹生小学校	・動物頭骨標本 （ウシ、ウマ、チンパンジー、ホモ・サピエンス、トラ、キツネ）	保健指導	11 月 2 日	11 月 2 日
富岡市立丹生小学校	・歯のレプリカセット	保健教育	11 月 2 日	11 月 2 日
富岡市小野公民館	・反射式天体望遠鏡 ・屈折式天体望遠鏡	公民館事業	11 月 4 日	11 月 9 日
群馬県立富岡高等学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	文化祭	11 月 4 日	11 月 5 日
高崎市立大類小学校	・レプリカ作成セット 石膏＆水 アンモナイト型 ラバーボール・スパチュラ	理科授業	11 月 8 日	11 月 11 日
高崎市立大類小学校	・化石標本（小）	理科授業	11 月 8 日	11 月 11 日

南牧村立南牧中学校	・歯のレプリカセット	保健教育	11 月 8 日	11 月 11 日
南牧村立南牧中学校	・動物頭骨標本 （ウシ、ウマ、チンパンジー、ホモ・サピエンス、トラ、キツネ）	保健教育	11 月 8 日	11 月 11 日
榛東村立榛東中学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	11 月 8 日	11 月 15 日
富岡市立黒岩小学校	・レプリカ作成セット 石膏＆水 アンモナイト型 ラバーボール・スパチュラ	理科授業	11 月 15 日	11 月 17 日
群馬大学	・動物頭骨標本 （ホモ・サピエンス、ワニ、シマウマ）	大学講義	11 月 17 日	11 月 24 日
高崎市立塚沢小学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	11 月 17 日	11 月 18 日
群馬県立勢多農林高等学校	・液体窒素（10ℓ ）	植物の凍結保存	11 月 18 日	液体のみ
太田市立毛里田中学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	11 月 20 日	11 月 26 日
高崎市立塚沢小学校	・レプリカ作成セット 石膏＆水 アンモナイト型 ラバーボール・スパチュラ	理科授業	11 月 22 日	11 月 23 日
上野村立上野小学校	・レプリカ作成セット 石膏＆水 アンモナイト型 ラバーボール・スパチュラ	理科授業	11 月 23 日	11 月 26 日
上野村立上野小学校	・示準化石セット	理科授業	11 月 23 日	11 月 26 日
高崎市立城南小学校	・レプリカ作成セット 石膏＆水 小アンモナイト型 三葉虫型 ラバーボール・スパチュラ	理科授業	11 月 29 日	12 月 2 日
富岡市立一ノ宮小学校	グルーガン	生活科授業	11 月 30 日	12 月 6 日
富岡市立黒岩小学校	・1000ml ビーカー	理科授業	12 月 1 日	12 月 6 日
安中市立松井田北中学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	12 月 2 日	12 月 6 日

富岡市立黒岩小学校	・レプリカ作成セット 石膏＆水 アンモナイト型 ラバーボール・スパチュラ	理科授業	12 月 13 日	12 月 20 日
学校法人明照学園樹徳中学校	・液体窒素（10ℓ ）	学校見学会	12 月 14 日	液体のみ
藤岡市立小野小学校	・レプリカ作成セット 石膏＆水 アンモナイト型 三葉虫型 ラバーボール・スパチュラ	理科授業	12 月 13 日	12 月 21 日
富岡市小野公民館	・反射式天体望遠鏡 ・屈折式天体望遠鏡	公民館講座	1 月 11 日	1 月 17 日
富岡市小野公民館	・反射式天体望遠鏡 ・屈折式天体望遠鏡	公民館講座	2 月 2 日	2 月 7 日
群馬県立勢多農林高等学校	・液体窒素（10ℓ ）	植物の凍結保存	2 月 3 日	液体のみ
富岡市立南中学校	・チョウ標本	国語科資料	2 月 3 日	2 月 17 日
藤岡市立藤岡第一中学校	・レプリカ作成セット 石膏＆水 アンモナイト型 ラバーボール・スパチュラ	クラブ活動	2 月 14 日	2 月 21 日
藤岡市立藤岡第一中学校	・化石セット	クラブ活動	2 月 14 日	2 月 21 日
富岡市立丹生小学校	・レプリカ作成セット 石膏＆水 大アンモナイト型 三葉虫型 ビカリア型 ラバーボール・スパチュラ	理科授業	3 月 3 日	3 月 10 日
富岡市立富岡小学校	・液体窒素（10ℓ ） ・運搬容器 ・実験セット	全校集会	3 月 7 日	3 月 7 日
県立高崎特別支援学校	・ガビチョウ ・ソウシチョウ	訪問学級	3 月 15 日	3 月 17 日
安中市立松井田北中学校	・いろいろな化石	理科授業	3 月 20 日	3 月 24 日

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
利用者の満足度	58	1	0	0

利用者の感想	・レプリカ作成については、化石について興味をもたせることにつながりました。実物化石を見たことのない児童もおり、一緒に借りた化石を感動しながら観察していました。写真や映像では得られない体験をさせることが出来ました。 ・肉食動物と草食動物の特徴について頭骨を用いながら説明できた。 ・子供たちは液体窒素をテレビで見たことはあっても、実際に触れてみるのは初めてであった。冷やしたものが自分の想像と異なる結果となり驚いていた。ラミネートの資料も有り、授業を進めやすかった。

⑤ 博物館実習

学芸員資格取得のため、当館での実習を希望した学生を対象に博物館実習を行った。

・募集期間：平成 28 年 4 月 1 日～4 月 30 日

・受入期間：平成 28 年 8 月 1 日～8 月 11 日〔実日数 10 日間〕

・受入人数： 9 名（大学別の内訳は下表）

学校名	人数	学校名	人数	学校名	人数
埼玉学園大学	1 名	神奈川工科大学	1 名	成城大学	1 名
帝京大学	1 名	専修大学	1 名	東京農業大学	2 名
群馬県立女子大学	1 名	実践女子大学	1 名		

・主な内容

（講義）「学芸員を目指す人たちへ」、「博物館の組織」、「学芸業務」、「教育普及業務」、「資料の保管・維持管理」、「企画展のできるまで」等

（実習）資料整理業務実習(哺乳類、魚類、昆虫、貝類、菌類、植物、岩石、古生物)

教育普及活動実習（来館者アンケート等）

企画展計画立案・展示製作・解説実習

１班：「食べられる、身近な生き物」

２班：「謎の組織　キャッチ」

３班：「ちょこっと自然さんぽ」

(3)　外部からの問い合わせ対応

当館では社会的ニーズを把握するため、平成 24 年度より外部からの問い合わせ対応について集計を始めた。平成 28 年度の問い合わせ件数は 229 件で前年比より 25 件増加した。問い合わせ元では一般(学生を除く)からの問い合わせが 76 件で最も多く、以下公共団体(44 件)、研究者(41 件)、マスコミ(23 件)が主な問い合わせ元であった(表 1)。今年度は教示(87 件)が一般的な問い合わせ(81 件)を上回り、同定依頼も 48 件あった(表 1)。このような専門性を要求される質問の比率は年々高くなる傾向にある。問い合わせ方法は年々増加傾向にあった電子メール(115 件)が電話(61 件)に比べて大きな比率を占めた。また、来館による問い合わせも 39 件と、昨年より増加し、問い合わせ方法の 2 極化が進んでいる(表 3)。マスコミからの対応を除く一般および学生、研究者、専門機関からの問い合わせの発信元は県内 134 件に対して県外 60 件であった(表 4)。また海外(ベルギー、米国、アルゼンチン、中国)からのレファレンスも 5 件あった。県内からの問い合わせは、近隣市町村(富岡市、安中市)からの割合が年々低下し、県央地域の前橋市や高崎市からのものの比率が高まる傾向があるとともに、沼田や伊勢崎など、問い合わせ件数上位の地域は広域化する傾向にある。

(1) 問い合わせ元の職・所属

一般	76
公共団体	44
研究者	41
マスコミ	23
博物館施設	19
民間機関	15
小中高生	7
その他	2
大学生・院生	2
合計	229

(2) 問い合わせ内容の種別

教示	87
問い合せ	81
同定	49
取材	8
その他	4

(3) 問い合わせ方法

メール	115
電話	61
来館	39
郵送	7
その他	7

(4) マスコミ以外の問い合わせ元の居住地・所在地

群馬県内	134
県外国内	60
海外	5

(5) (4)のうち県内内訳

前橋	39
高崎	21
沼田	11
安中	8
藤岡	8
伊勢崎	8
みなかみ	6
富岡	5
その他	24

(4)　学会等の開催

①ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2016

・開催日時：平成 29 年（2017）年 1 月 14 日（土）13:00～16：50
・場所：自然史博物館・学習室・エントランス
・参加者数：100 名
・報告会趣旨

群馬県には、かけがえのない生き物たちを育む自然を調べ、伝え、守る活動をされている専門機関や団体が数多くあります。地域に根ざし活動を続けるこれらの方々が、互いに出会いその活動を共有化し、関係を深めていくとともに、より多くの県民の方々に多様な取り組みをお伝えしていきたいとの思いから、平成 20 年度より「ぐんまの自然の『いま』を伝える」報告会を開催しています。そして、平成 27 年度より特別展「ぐんまの自然の『いま』」も開催し、県内の野生生物たちが置かれている状況や、多様な保護保全活動の取り組みを広く一般にご紹介するとともに、みんなで群馬の自然の「いま」を共有し、その未来を考えていきたいと思います。

・主催　群馬県（群馬県自然環境課、群馬県立自然史博物館、群馬県立ぐんま昆虫の森）
・後援

群馬県自然環境調査研究会、NPO 群馬県自然保護連盟、（公財）尾瀬保護財団、群馬野外生物学会、（公財）日本自然保護協会、日本野鳥の会群馬、NPO 法人ぐんま緑のインタープリター協会、群馬県野生きのこ同好会、利根沼田自然を愛する会、ヤリタナゴ調査会、かんな川水辺の楽校運営協議会、赤城姫を愛する集まり、NPO 法人日本チョウ類保全協会、環境カウンセラーズぐんま、特例財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団、南限のサケを育む会、NPO 法人 片品・山と森の学校、群馬県緑のインタープリター会、特定非営利活動法人 ピッキオ、日本クマネットワーク、NPO 法人観音山丘陵調査、群馬ナチュラリスト自然保護協議会、NPO 法人尾瀬自然保護ネットワーク、群馬県教育委員会、桐生市教育委員会、渋川市教育委員会、嬬恋村教育委員会、藤岡市教育委員会

・基調講演：講師　細矢　剛（国立科学博物館　植物研究部）
「みんなで自然の『いま』を発信しよう」
・口頭発表：群馬県立尾瀬高等学校自然環境科、（有）アジアネーチャービジョン
麻布大学野生動物学研究室、群馬県水産試験場、群馬県立自然史博物館
・ポスター発表　50 本（タイトル、要旨集等は HP で公開）

・報告会のようす

基調講演（細矢氏）

口頭発表（尾瀬高校）

ポスター発表

②自然史学会連合講演会
「ひろがる自然史！～カイコから恐竜まで～」

開館 20 周年記念事業の一つとして、自然史学会連合が毎年開催している講演会を当館に誘致し、同連合と当館で共催しました。近年は講演会だけでなく、体験教室も実施することが多く、しかもそれが好評であることから当館も両方を実施することとしました。

・開催日時：平成 29 年（2017）年 1 月 21 日（土）
　午前・・・講演会（10:00～12:30）
　午後・・・体験教室（13:00～15:30）
・会場：講演会・・・自然史博物館学習室、
　　体験教室・・自然史博物館実験室、
　　かぶら文化ホールホワイエ
・参加者（当日の来館者）数：565 名
・実施内容

a)講演会
　演題１　コケムシの魅力に迫る
　　～水中の小さな「共同住宅」でくらす動物～
　　講師　広瀬雅人（東京大学大気海洋研究所）
　演題２　富岡製糸場
　　～群馬の自然がはぐくんだ官営工場～
　　講師　岡野雅枝（富岡製糸場）
　演題３　タンポポ調査・西日本
　　～みんなで調べてわかったこと～
　　講師　鈴木　武（兵庫県立人と自然の博物館）
　演題４　よみがえる丹波竜の世界
　　～市民参加による発掘・研究、そしてまちづくり～
　　講師　池田忠広（兵庫県立人と自然の博物館）

b)体験教室
　参加団体：
　　日本サンゴ礁学会「沖縄からサンゴ礁がやってきた！」
　　日本鱗翅学会「体験、鱗粉転写」
　　日本魚類学会「見て触れて、深海魚に親しもう」
　　日本菌学会「身近で不思議な菌の仲間たち！」
　　誠文堂新光社+自然史学会連合「植物缶バッジを作ろう！」
　　日本霊長類学会「群馬のサル、関東のサル、そして世界のサル」
　　日本人類学会「くらべてみよう！チンパンジーとヒト」
　　日本蘚苔類学会「コケティッシュワールドへようこそ」
　　日本古生物学会「みんなで作ろう！化石レプリカ」
　　日本第四紀学会「身近なモノから絵の具をつくろう -第四紀学の視点による岩絵具作成-」
　　技術評論社（展示のみ）

３　資料収集・管理

(1) 資料管理

①温湿度管理

管理場所	管理状況（設定）
第１収蔵庫	夏季：20℃、50%　冬季：18℃、55%　春秋：18～20℃、55～50%
第２収蔵庫	夏季：20℃、50%　冬季：18℃、55%　春秋：18～20℃、55～50%
第３収蔵庫	夏季：20℃、50%　冬季：18℃、55%　春秋：18～20℃、55～50%
常設・企画展示室	常設 1F：24～26℃　常設 2F：20～21℃　企画：23～24℃ 55～50%　55～50%　55～50%

②資料の安全な保護対策

ア 文化財害虫等への忌避対策

忌避対策として以下を実施した。

○第二収蔵庫出入り口に積層タイプの除塵粘着シートのマットを設置し、害虫等の侵入を防いだ。

イ 文化財害虫等の燻蒸作業

番号	作業場所	実施内容	実施日	受託者	使用薬剤
1	第二収蔵庫（生物系）燻蒸	防虫防黴	平成 28 年 6 月 13 日～19 日	関東港業株式会社	アルプ
	常設展示室（2 階 C コーナー奥）	防虫	平成 28 年 6 月 13 日～19 日	関東港業株式会社	ブンガノン＋ライセント
2	（秋季燻蒸庫燻蒸は実施せず）				
3	燻蒸庫保守点検ならびに第 1～3 回燻蒸庫燻蒸	防虫防黴	平成 29 年 2 月 21 日～2 月 27 日	関東港業株式会社	エキヒューム S

（２）基準標本と天然記念物の状況

正基準標本 Holotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	脊椎動物	鳥類	GMNH-PV-170	*Limnofregata hasegawai* Olson et Matsuoka, 2005 ハセガワグンカンドリ
2	化石	無脊椎動物	節足動物 三葉虫類	GMNH-PI-1341	*Pseudophillipsia kiriuensis* Kobayashi et Hamada, 1984
3	化石	無脊椎動物	節足動物 十脚類	GMNH-PI-1701	*Nipponopon hasegawai* Karasawa, Kato et Terabe, 2006 ハセガワニッポノポン
4	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-1256	*Eolyttonia kiryuensis* Tazawa et Takakuwa, 2009
5	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2401	*Joumocetus shimizui* Kimura et Hasegawa, 2010 ジョウモウケタス

6	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3158	*Ikeyacythereis kumejimensis* Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010
7	化石	無脊椎動物	軟体動物 二枚貝類	GMNH-PI- 2116	*Saccella annakensis* Kurihara, 2010
8	化石	無脊椎動物	軟体動物 二枚貝類	GMNH-PI- 2164	*Limopsis nakajimai* Kurihara, 2010
9	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3167	*Hemicytherura huangi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
10	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3170	*Hemicytherura notoensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
11	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3173	*Hemicytherura okuboi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
12	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3182	*Hemicytherura choeae* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
13	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3185	*Hemicytherura japonica* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
14	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3188	*Hemicytherura taiwanensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
15	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI- 3537	*Dasysaria japonica* Tazawa et al., 2012
16	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI- 3504	*Linoproductus ashioensis* Tazawa et al., 2012
17	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 3162	*Loxoconcha tuberculatus* Tanaka et al., 2012
18	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4001	*Aurila joushuensis* Tanaka et al., 2012
19	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4211	*Krithe tomiokaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013a
20	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4228	*Acanthocythereis oshimaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013a
21	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4231	*Acanthocythereis noriyukikeyai* Tanaka and Hasegawa, 2013a
22	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4122	*Semicytherura kaburagawaensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
23	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4125	*Semicytherura usuigawaensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
24	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4128	*Loxoconcha jyoumouensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
25	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4133	*Loxoconcha maedai* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
26	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI- 4137	*Callistocythere nanamagariensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)

27	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4142	*Callistocythere annakensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
28	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4147	*Callistocythere kyokoae* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
29	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4152	*Callistocythere kamitsukensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
30	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4157	*Callistocythere izanami* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
31	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4159	*Callistocythere kuwanoki* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
32	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4163	*Callistocythere myogiensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
33	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4167	*Loxocythere tetsurohanaii* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
34	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4172	*Cornucoquimba kyokoae* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
35	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4177	*Yezocythere takaokai* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
36	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4181	*Trachyleberis itahanaensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
37	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2570	*Ninjadelphis ujiharai* Kimura, 2016 (in Kimura and Barnes, 2016)

等価基準標本 Syntype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	脊椎動物	魚類	GMNH-PV-042	*Sebastes kanezawai* (Niino, 1951)

従基準標本 Paratype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 三葉虫類	GMNH-PI-1342	*Pseudophillipsia kiriuensis* Kobayashi et Hamada, 1984
2	化石	無脊椎動物	節足動物 十脚類	GMNH-PI-1700	*Hoploparia kamimurai* Kato et Karasawa, 2006 カミムラホプロパリア
3	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-1257, 1258	*Eolyttonia kiryuensis* Tazawa et Takakuwa, 2009
4	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3159	*Ikeyacythereis kumejimensis* Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010
5	現生	無脊椎動物	節足動物 昆虫類	GMNH-II	*Uresiphita fusei* Inoue, 1982 イタクラキノメイガ

6	化石	無脊椎動物	軟体動物二枚貝類	GMNH-PI-2113-15, 2117-2124	*Saccella annakensis* Kurihara, 2010
7	化石	無脊椎動物	軟体動物二枚貝類	GMNH-PI-2165 - 2170	*Limopsis nakajimai* Kurihara, 2010
8	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-3538, 3539	*Dasysaria japonica* Tazawa et al., 2012
9	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-3505 - 3525	*Linoproductus ashioensis* Tazawa et al., 2012
10	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-3164	*Loxoconcha tuberculatus* Tanaka et al., 2012
11	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4003	*Aurila joushuensis* Tanaka et al., 2012
12	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4123, 4124, 4203, 4204	*Semicytherura kaburagawaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013b
13	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4126, 4127, 4205, 4206	*Semicytherura usuigawaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013b
14	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4129, 4130, 4131, 4132	*Loxoconcha jyoumouensis* Tanaka and Hasegawa, 2013b
15	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4134, 4135,4136	*Loxoconcha maedai* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
16	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4138, 4139, 4140, 4141	*Callistocythere nanamagariensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
17	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4143, 4144, 4145, 4146	*Callistocythere annakensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
18	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4148, 4149, 4150, 4151	*Callistocythere kyokoae* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)

19	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4153, 4154, 4155, 4156	*Callistocythere kamitsukensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
20	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4158, 4206, 4159, 4207	*Callistocythere izanami* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
21	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4160, 4161, 4162, (4161)	*Callistocythere kuwanoki* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
22	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4164, 4165, 4166	*Callistocythere myogiensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
23	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4168, 4169, 4170, 4171	*Loxocythere tetsurohanaii* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
24	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4173, 4174, 4175, 4176	*Cornucoquimba kyokoae* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
25	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4178, 4179	*Yezocythere takaokai* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
26	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4182, 4183, 4184, 4185	*Trachyleberis itahanaensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)

従基準標本（別性） Allotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3160-61	*Ikeyacythereis kumejimensis* Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010
2	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3168	*Hemicytherura huangi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
3	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3171	*Hemicytherura notoensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
4	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3174	*Hemicytherura okuboi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
5	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3183	*Hemicytherura choeae* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)

6	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3186	*Hemicytherura japonica* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
7	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3189	*Hemicytherura taiwanensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
8	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3163	*Loxoconcha tuberculatus* Tanaka et al., 2012
9	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4002	*Aurila joushuensis* Tanaka et al., 2012
10	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4212	*Krithe tomiokaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013a
11	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4229	*Acanthocythereis oshimaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013a
12	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4231	*Acanthocythereis noriyukikeyai* Tanaka and Hasegawa, 2013a

同地基準標本 Topotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3162-64	*Ikeyacythereis wutzushuii* (Hu et Tao, 2008) (in Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010)

国指定　特別天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	特別指定 年月日
1	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-1028	*Diomedea albatrus* Pallas, 1769 アホウドリ	1962.04.19
2	動物	脊椎動物	哺乳類	GMNH-VM-066 ほか	*Capricornis crispus* (Temminck, 1836) カモシカ	1955.02.15
3	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-855	*Spilornis cheela* (Latham, 1790) カンムリワシ	1977.03.15
4	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-677 ほか	*Grus japonensis* (Muller, 1776) タンチョウ	1952.03.29
5	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-936 ほか	*Lagopus mutus* Montin, 1781 ライチョウ	1955.02.15
6	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA	*Nipponia nippon* (Temminck, 1835) トキ	1952.03.29

国指定　天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	指定年月日
1	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-546 ほか	*Aquila chrysaetos* (Linnaeus, 1758) イヌワシ	1965.05.12

2	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-4658 ほか	*Parnassius eversmanni daisetsuzanus* Matsumura, 1926　ウスバキチョウ	1965.05.12
3	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-847 ほか	*Haliaeetus pelagicus* (Pallas, 1811) オオワシ	1970.01.23
4	動物	無脊椎動物	甲殻類	GMNH-IC-113	*Coenobita cavipes* Stimpson, 1858 オカヤドカリ	1970.11.12
5	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-31292 ほか	*Vacciniina optilete daisetsuczana* (Matsumura, 1926)　カラフトルリシジミ	1967.05.02
6	動物	脊椎動物	爬虫類	GMNH-VR-289	*Plestiodon kishinouyei*　(Stejneger, 1901)　キシノウエトカゲ	1975.06.26
7	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-9674 ほか	*Oeneis melissa daisetsuzana* Matsumura, 1926　ダイセツタカネヒカゲ	1965.05.12
8	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-959	*Anser albifrons* (Scopoli, 1769) マガン	1971.06.28
9	動物	脊椎動物	魚類	GMNH-VP-197 ほか	*Tanakia tanago* (Tanaka, 1909) ミヤコタナゴ	1974.06.25
10	動物	脊椎動物	哺乳類	GMNH-VP-197 ほか	*Tanakia tanago* (Tanaka, 1845) ヤマネ	1975.06.26

県指定　天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	指定年月日
1	地球	鉱物		GMNH-EM-781	Zunyite ズニ石（みなかみ町入須川産）	1973.08.21
2	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-858　ほか	*Colias palaeno aias* Fruhstorfer, 1903 ミヤマモンキチョウ	1977.04.01
3	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-2203　ほか	*Erebia niphonica* (Janson, 1877) ベニヒカゲ	1977.04.01
4	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-2203　ほか	*Aporia hippia japonica* Matsumura, 1919 ミヤマシロチョウ	1977.04.01
5	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-3332 ほか	*Luehdorfia puziloi inexpecta* Sheljuzhko, 1913　ヒメギフチョウ	1976.03.07
6	動物	脊椎動物	両生類	GMNH-VR-206 ほか	*Hynobius lichenatus* Bouleger, 1883 トウホクサンショウウオ	2007.03.27
7	動物	無脊椎動物	両生類	GMNH-VR-035 ほか	*Hynobius kimurae* Dunn, 1923 ヒダサンショウウオ	2007.03.27
8	化石	脊椎動物	両生類	GMNH-PV-001 ほか 1 点	*Rana* aff. *architemporalia* ムカシアカガエル	1996.03.29

9	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2401	*Joumocetus shimizui* Kimura et Hasegawa, 2010 ジョウモウケタス	2012.03.23

(3) 収蔵資料数

番号	分　　野	28 年度	全登録
1	哺乳類	502	5,231
2	鳥類	0	2,077
3	両生・爬虫類	0	642
4	魚類・円口類	10	789
5	昆虫	1,824	55,258
6	クモ類	1	52
7	甲殻類	35	507
8	その他の節足動物	0	6
9	軟体動物	618	12,188
10	その他の無脊椎動物	30	188
11	ロット標本	0	578
12	種子植物	2,751	65,038
13	シダ植物	227	10,857
14	蘚苔類	1	670
15	藻類	0	330
16	地衣類	0	560
17	菌類	192	5,160
18	細菌類	0	0
19	人類	0	1,908
20	古動物	195	5,857
21	古植物	0	2,832
22	岩石	46	2,428
23	鉱物	0	1,792
24	環境・地質現象	0	44
合　計		6,432	174,992

(4) 資料購入

番号	資　料　名　称	分　野	数量	購　入　業　者
1	*T. rex*（STAN）頭骨レプリカ	古生物	1	パレオサイエンス

(5) 委託（製作・資料整理）

番号	委 託 業 務 名 称	分野	数量	委 託 先 名 称	用 途
1	ティランノサウルス大腿骨等化石レプリカ作成業務委託	古生物	3	（株）パレオサイエンス	展　示 研　究
2	ナヌークサウルス頭骨レプリカ作製業務委託	古生物	1	(有)ゴビサポートジャパン	展　示 研　究
3	ミンククジラ骨格標本輸送業務委託	哺乳類	1	（株）パレオサイエンス	展　示
4	群馬県産鉱物調査収集委託	鉱　物	1	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構	展　示 研　究
5	ハチドリ剥製作製業務委託	鳥　類	1	(有)上野剥製所	展 示
6	アクリル樹脂標本製作業務委託	動　物	2	国陽工芸(株)	展 示
7	群馬県産鉱物資料調査収集業務委託	鉱　物	1	ホリミネラロジー(株)	展　示 研　究
8	中生代の香り等嗅覚展示実施業務委託	その他	1	(株)ポプリ・ド・ヨーコ	展　示

(6) 寄贈資料・管理移管資料

① 寄贈資料

番号	受贈資料名称	分野	数量	寄贈者	受付年月日
1	昆虫乾燥標本（ドイツ箱） ・昆虫関係書籍	昆虫類 図書	25 744	池沢　隆一	H28.6.5
2	ミンククジラ骨格標本	哺乳類	1	非公表	H28.6.30
3	軟体動物標本（乾燥）	軟体動物	1518	大谷　洋子	H28.6.22
4	ウミガメ剥製等	脊椎動物・軟体動物	3	池田　武士	H28.7.3
5	キノコ模型	菌類	709	鈴木　豊江	H28.7.14
6	ニホンジカ（剥製）	哺乳類	1	山本　修	H28.7.27
7	陸産軟体動物標本等	軟体動物・棘皮動物ほか	3126	磯　泰巳	H28.8.14
8	昭島市産コククジラ類化石	古脊椎動物	一式	昭島市教育委員会	H28.8.28
9	日本産ホシクサ科植物	植物	10	高田　順	H28.9.21
10	大型哺乳類等剥製等	哺乳類 鳥類 ほか	144	保坂　好子	H28.10.20
11	「巨木学」	図書	1	宮　誠而	H28.10.30

12	ツミ（剥製）	鳥類	1	非公表	H28.11.1
13	ヤマドリ、カモ（剥製）	鳥類	3	真砂　照代	H28.11.1
14	内山層産クジラ類頭骨化石標本	古脊椎動物	1	細谷　宗平	H28.12.25
15	サンゴ標本等	刺胞動物・軟体動物ほか	64	磯　泰巳	H29.1.25
16	ウミガメ頭骨化石標本	古脊椎動物	1	永田　健太郎	H29.3.31
17	陸棲哺乳類検体	哺乳類	812	県内市町村、環境森林事務所等	通年
18	鳥類資料	鳥類	36	県内市町村、環境森林事務所等	通年
19	両生類・爬虫類資料	両生類 爬虫類	5	県内市町村、環境森林事務所等	通年

② 管理移管資料

番号	管理移管資料名称	分野	数量	移管者	受付年月日
	本年度は該当無し				

(7) 寄託資料

番号	寄託資料名称	数量	寄託者名称	寄　託　期　間
	本年度は該当無し			

(8) 貸出資料

番号	貸出資料名称	数量	貸出先名称	貸出期間	備　考
1	アマルガサウルス全身骨格	1	神流町恐竜センター	H10.3.23～	前年度から継続
2	アンモナイト化石等	5	佐野市葛生化石館	H27.6.11～ H28.7.31	前年度から継続,企画展
3	ディメトロドン足跡化石、K/Pg 境界層柱状標本	2	愛媛県美術館	H27.12.15～ H28.4.10	前年度から継続,特別展
4	花粉模型等	59	埼玉県立自然の博物館	H27.12.18～ H28.6.30	前年度から継続,企画展
5	ハイデルベルク人産状模型等	3	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	H28.1.28～ H28.6.28	前年度から継続,企画展
6	カマラサウルス亜成体全身骨格、群馬産スピノサウル	2	朝日新聞社・国立科学博物館	H28.2.25～ 6.30	前年度から継続,

	ス類歯化石（実物）				特別展
7	ディメトロドン足跡化石、K/Pg 境界層柱状標本	2	大阪市立自然史博物館	H28.4.6～H28.7.10	特別展
8	アマルガサウルス 全身骨格等	7	名古屋市科学館	H28.4.6～H28.7.10	企画展
9	群馬産スピノサウルス類 歯化石（レプリカ）	1	朝日新聞社・北九州市立いのちのたび博物館	H28.6.30～9.30	特別展
10	ディメトロドン足跡化石、K/Pg 境界層柱状標本	2	岡山シティミュージアム	H28.7.8～H28.9.10	特別展
11	群馬産スピノサウルス類 歯化石（レプリカ）	1	朝日新聞社等	H28.9.10～H29.1.20	特別展
12	ルビラエウス（昆虫化石）等	24	岩手県立博物館	H28.5.23～9.5	企画展
13	アマルガサウルス等	11	月山あさひ博物村（月山あさひ振興公社）	H28.6.28～10.31	特別企画展
14	アンテトニトルス部分骨格等	19	豊橋市自然史博物館	H28.6.27～10.31	特別企画展
15	アフリカゾウ頭骨等	7	萩博物館（山口県）	H28.6.28～10.14	特別展
16	アロデスムス全身骨格等	3	海遊館（大阪市）	H28.7.1～H29.5.31	企画展
17	ヤマホタルブクロ樹脂封入標本等	4	朝霞市博物館	H28.7.7～9.9	夏季テーマ展
18	ペンギン化石産状レプリカ等	3	名古屋市科学館	H28.7.1～9.15	特別展
19	チョウ頭部拡大模型	1	群馬県立ぐんま昆虫の森	H28.6.12～9.16	企画展
20	アパトサウルス大腿骨等	4	丹波竜化石工房ちーたんの館（丹波市産業経済部恐竜・観光振興課）	H28.7.22～9.1	夏期展示
21	コクチバス剥製標本	1	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	H28.9.20～H29.2.10	企画展
22	ウラベニホテイシメジ（レプリカ）、ムキタケ樹脂封入標本、ツキヨタケ樹脂封入標本	3	埼玉県立自然の博物館	H28.8.24～H29.1.31	企画展
23	スイートピー（花および果実）等生物拡大模型	9	国立科学博物館	H28.12.8～H29.3.31	企画展
24	タカノホシクサ頭花	1	高田　順	H28.12.10～12.31	研究目的
25	ヤベオオツノジカ下顎骨レプリカ	1	東海化石研究会（名古屋市）	H28.12.20～H29.4.15	特別展，H29 年度継続
26	有孔虫拡大模型等	26	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	H29.2.2～6.30	企画展，H29 年度継続

27	トゥオジアンゴサウルス全身骨格等	26	那須塩原市 那須野が原博物館	H29.6.18～ 10.7	特別展, H28 年度分

(9) 借用資料

番号	借用資料名称	数量	借用先名称	借 用 期 間	備考
1	K／T境界層標本 （常設展示）	1	馬場健司	H26.4.1～ H29.3.31	前年度から 継続 期間更新
2	アンモナイト（ヘテロケラス）等化石標本 （常設展示等）	7	松原剛史	H26.4.1～ H29.3.31	前年度から 継続 期間更新
3	沼田湖成層産貝化石等 （常設展示等）	6	佐藤千代子	H26.4.1～ H29.3.31	前年度から 継続 期間更新
4	ストロマトライト等、 岩石資料（常設展示）	9	神奈川県立 生命の星・地球博物館	H28.4.1～ H29.3.31	前年度から 継続 期間更新
5	サイカニア等ヨロイ竜頭骨レプリカ標本	4	田村　博	H28.2.4～ 5.31	前年度から 継続,企画展
6	アノマロカリス等 古生物標本	60	栃木県立博物館	H28.3.2～ 5.31	前年度から 継続,企画展
7	カブトガニ関係画像等	6	笠岡市立カブトガニ博物館	H28.3.5～ 5.15	前年度から 継続,企画展
8	ニホンイシガメ画像	1	和亀保護の会	H28.3.9～ 5.15	前年度から 継続,企画展
9	鉄黒漆塗六十二間筋兜等	17	永田　仁志 （日本甲冑武具研究保存会）	H28.3.15～ 5.15	前年度から 継続,企画展
10	甲冑魚（ドゥンクレオステウス）頭部化石標本	1	十津　守宏	H28.3.17～ 5.31	前年度から 継続,企画展
11	甲冑魚（ドゥンクレオステウス）復元模型等	2	十津　守宏	H28.3.17～ 5.31	前年度から 継続,企画展
12	*T. rex* 肋骨化石標本等	2	十津　守宏	H28.3.17～ 12.15	前年度から 継続,企画展
13	「ウォーキング with ダイナソー」映像	1	株式会社さらい	H28.3.17～ 5.15	前年度から 継続,企画展 （使用料）
14	ナノティランヌス頭骨標本等	2	北海道大学総合博物館	H28.4.8～ 12.15	企画展
15	プテラノドン	1	十津　守宏	H28.4.8～ 12.15	企画展
16	根無し山全景写真	1	ジオパーク下仁田協議会	H28.5.18～ 6.30	ﾃﾞﾒﾃｰﾙ掲載

17	ティランノサウルス 全身骨格レプリカ	1	天草市立御所浦白亜紀資料館	H28.6.21～ 12.15	企画展
18	ティランノサウルス 幼体頭骨（複製）等	3	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	H28.6.3～ 12.15	企画展
19	ティランノサウルス 下顎骨レプリカ等	4	栃木県立博物館	H28.6.8～ 12.15	企画展
20	ティランノサウルス科 歯化石（旧和泉村産）レプリカ	1	大野市教育委員会	H28.6.7～ 12.15	企画展
21	ティランノサウルス 実物標本	2	名古屋市科学館	H28.6.13～ 12.15	企画展
22	ティランノサウルス 頭骨レプリカ等	9	神奈川県立 生命の星地球博物館	H28.6.22～ 12.15	企画展
23	白亜紀化石実物標本	6	むかわ町立穂別博物館	H28.6.20～ 12.15	企画展
24	カルカロドントサウルス 頭骨等	8	十津　守宏	H28.6.23～ 12.15	企画展
25	テスケロサウルス頭骨レプリカ	1	所　十三	H28.6.11～ 12.15	企画展
26	パキケファロサウルス 全身骨格レプリカ等	21	国立科学博物館	H28.6.30～ 12.15	企画展
27	タルボサウルス頭骨 レプリカ	1	みどり市大間々博物館 （コノドント館）	H28.6.30～ 12.15	企画展
28	恐竜化石標本	9	田村　博	H28.6.15～ 12.15	企画展
29	長崎市産ティラノサウルス科および他の獣脚類歯化石画像	1	福井県立恐竜博物館	H28.6.15～ 12.15	企画展
30	タルボサウルス幼体組み上げ全身骨格レプリカ等	2	岡山理科大学生物地球学部	H28.6.22～ 12.15	企画展
31	ティランノサウルス前上顎骨歯	1	所　十三	H28.6.11～ 12.15	企画展
32	カルカロドントサウルス 頸椎等実物化石標本	4	十津　守宏	H28.6.23～ 12.15	企画展
33	白山市産ティラノサウルス類歯化石画像	1	白山市教育委員会	H28.6.18～ 12.15	企画展
34	篠山層群産ティラノサウルス類顎歯標本画像	1	兵庫県立人と自然の博物館	H28.6.30～ 12.15	企画展
35	カナダ産 恐竜実物化石標本	1	森田　洋子	H28.7.11～ 12.15	企画展
36	篠山層群産ティラノサウルス類顎歯標本	1	兵庫県立人と自然の博物館	H28.9.15～ 12.15	企画展

37	タルボサウルス 頭骨レプリカ	1	(有)ゴビサポートジャパン	H28.10.16～ 12.15	企画展 (使用料)
38	サメ類化石標本	2	天草市立御所浦白亜紀資料館	H28.12.14～ H29.12.13	研究目的
39	獣害防止ネット	1	群馬県立林業試験場	H29.1.14～ 5.31	H29 年度へ継続,企画展
40	コウモリ乾燥標本	2	木村　吉幸	H29.1.24～ 5.31	H29 年度へ継続,企画展
41	ヤチヒロヒダタケ標本等	2	国立科学博物館	H29.2.23～ 5.31	H29 年度へ継続,企画展
42	尾瀬保護財団 PR ビデオ等	31	公益財団法人 尾瀬保護財団	H29.2.27～ 5.16	H29 年度へ継続,企画展
43	尾瀬調査調査旗等	9	群馬県庁 尾瀬保全推進室	H29.2.27～ 5.16	H29 年度へ継続,企画展
44	シラネワラビ等写真	20	吉井　広始	H29.2.27～ 5.31	H29 年度へ継続,企画展
45	コウホネネクイハムシ 生態写真	1	ホシザキグリーン財団	H29.2.14～ 5.15	H29 年度へ継続,企画展
46	シマアシブトハナアブ等展翅標本 3 点、ナミハナアブ等写真 7 点	10	群馬県立ぐんま昆虫の森	H29.2.27～ 5.31	H29 年度へ継続,企画展
47	アカシボ関係資料（粒子検体、断面写真）	2	福原　晴夫	H29.2.17～ 5.31	H29 年度へ継続,企画展
48	オコジョ標本	2	国立科学博物館	H29.3.3～ 5.31	H29 年度へ継続,企画展
49	尾瀬への取組み紹介 パネル	3	(株)東京パワーテクノロジー 尾瀬林業事務所	H29.3.9～ 5.31	H29 年度へ継続,企画展
50	ストロマトライト等、 岩石資料（常設展示）	9	神奈川県立 生命の星・地球博物館	H29.4.1～ H30.3.31	本年度から継続 期間更新

(10) 特別観覧

①研究目的

番号	観覧資料名称	数	特別観覧申請者		申請期間	備考
1	鳥類骨格標本	15	（桐生市在住）	宮崎重雄	H28.7.27	熟覧 撮影
2	シカ類化石標本	4	京都大学大学院 （修士課程）	鮫島悠甫	H28.8.9	熟覧 実測 撮影
3	ドクササコ （アクリル封入標本）	3	日本神経学会	登木口　進	H28.8.22	熟覧 撮影

4	ホシクサ科植物 （さく葉標本）	50	秋田自然史研究会	高田　順	H28.9.6	熟覧 撮影
5	カワヂシャ類標本	3	カワゲラの会	掛川優子	H28.10.28	撮影
6	兜岩層産 カエル化石標本	5	筑波大学大学院	指田勝男 ほか一名	H28.12.21	熟覧 模写 実測 撮影
7	アズマツメクサ、マメダオシ（環境省絶滅危惧種）	一式	人間環境大学	藤井　伸二	H29.1.20	熟覧
8	サメ類顎乾燥標本	一式	東京学芸大学 （学部生）	徳丸沙耶夏	H29.1.18	熟覧 模写 実測 撮影

② 撮影等の目的

番号	観覧資料名称	数	特別観覧申請者		申請期間	備考
1	ネアンデルタール人 埋葬ジオラマ	1	パトリア（番組制作会社；BS-TBS 番組「花めぐり」11/26･27 放送分で使用)	勝木　孝	H28.10.4	撮影

(11) 画像等使用許可

番号	使用画像等の名称	数	使用者名称	使用開始日
1	始祖鳥復元模型	1	（株）仮説社 （「せぼねのある動物たち」掲載イラスト用参考資料）	H28.12.21 ～
2	ハドロサウルス類？の卵	1	(株)世界文化クリエイティブ （世界文化社発行「ワンダーしぜんランド 9 月号」掲載）	H28.9.1～
3	ディノサウロイド	1	（株）小学館（同社発行 「恐竜のクライシス」掲載）	H28.7.20～
4	動画「トリケラトプスの復元」（再利用）	1	名古屋大学博物館（博物館展示に関する講義にて 3D 動画の利用例として上映）	H28.5.30～
5	下仁田産鶏冠石、上黒岩産ヤベオオツノジカ	2	日本地質学会（同学会選定の「県の石」基礎資料、学会 Webpage、会員向け広報誌、報道発表用資料に使用）	H28.5.10～
6	鬼押出し溶岩、下仁田産鶏冠石、上黒岩産ヤベオオツノジカ	3	読売新聞前橋支局（「県の石」群馬県分に関する新聞報道で使用）	H28.5.16

7	下仁田産鶏冠石、上黒岩産ヤベオオツノジカ	2	上毛新聞社（「県の石」群馬県分に関する新聞報道で使用）	H28.5.11
8	スピノサウルス全身骨格（飯田市美博所蔵標本）	1	(株)gb（宝島社発行 TJMOOK「最新版!恐竜のすべて」に掲載）	H28.7.28～
9	研究報告 20 号掲載論文「青森県尻屋地域の更新統より産出した 2 種のウミガラス類および 1 新種の記載と体重推定（英文）」の図（p.63, 68）	4	渡辺順也（論文著者；北海道海鳥センター友の会会報誌「Möwe」向け解説文で使用）	H28.7～
10	研究報告 20 号掲載論文「北太平洋の中新統より産出した新たなアロデルフィス科クジラ類（英文）」の図（p.35, 40）	2	Olivier Lambert（Elsevier 発行「The Encyclopedia of Marine Mammals, 3e」掲載予定）	H28.6.21～
11	上黒岩産 ヤベオオツノジカ	1	産総研・地質調査総合センター（「県の石」ポスター展示に使用）	H28.7.27～
12	ティランノサウルス頭骨	1	(株)小学館クリエイティブ（NHK 出版発行書籍「NHK スペシャル 完全解剖ティラノサウルス」に掲載）	H28.8.22～
13	クラドセラケ、ディメトロドン、ディアトリマ（全身骨格）	3	(株)ネイチャー＆サイエンス（河出書房新社発行「楽しい動物化石」掲載）	H28.10.30 ～
14	ディノサウロイド	1	(株)小学館（同社発行「キッズペディア地球館」に掲載）	H28.11.24
15	常設展示 A5 コーナー、、B1 コーナー展示パネル	4	近藤愛子（学校法人清心幼稚園「清心フェスティバル、近藤愛子ワークショップで使用）	H28.11.12
16	群馬県産スピノサウルス類歯化石	1	(株)gb（宝島社発行 TJMOOK「世界に誇る！恐竜王国日本」掲載）	H29.1.20～
17	ディノサウロイド	1	（株）小学館（同社発行「恐竜のクライシス」中国語版に掲載予定）	H28.12.28 ～
18	ディノサウロイド	1	（株）小学館（同社発行「恐竜のクライシス」韓国語版に掲載予定）	H28.12.28 ～
19	アマルガサウルス、カマラサウルス幼体（全身骨格）	2	読売新聞大阪本社（2017 夏開催予定のメガ恐竜展 2017 の広報で使用）	H28.12.27 ～
20	ウグイ、オイカワ、ギンブナ、アユ、イワナ、ヤマネ	6	高崎市教育委員会（同市環境副読本「地球とともに」掲載予定）	H29.4.1～
21	上黒岩産ヤベオオツノジカ鑑定書（遍照寺所蔵）	1	日本地質学会（学会広報誌「ジオルジュ 2017 前期号の記事「怪異と古生物（仮）」掲載予定）	H29.5.10～

22	ギガノトサウルス頭骨	1	(有)ハユマ（PHP 研究所発行「巨大生物陸・海・空から大集合！」掲載）	H29.2.7～
23	常設展示Ａコーナー展示風景	1	ドゥアンドドゥプランニング(有)（岩崎書店発行「ヒサクニヒコの世界恐竜絵本」で掲載予定）	H29.6～
24	「カタクリの成長段階」（総合案内 p.41）	1	丸善出版(株)（同社発行「エコツーリズム：こころおどる里山の旅－飯能エコツアーに学ぶ」掲載）	H29.3.10～
25	常設展示Ａコーナー展示風景	1	ドゥアンドドゥプランニング(有)（技術評論社発行「生命史図譜（仮）（当館監修）」掲載予定）	H27.4～
26	トール石	1	ダドガドデザイン（別冊「元素と周期表」に掲載予定）	H29.4.1～

(12)　資料・展示関係機器等の修復

天体ドーム内にある天体望遠鏡について、平成 28 年 11 月の天体観望会の時は起動していたものの、12 月の天体観望会の時は起動しなかった。そのため同イベントではこの天体望遠鏡を活用できずにイベントを実施せざるを得なかった。その後、天体望遠鏡システムの起動系 PC 内部のハードディスクの破損が判明し、この故障に対し修繕が施され、1 月末に当館内で実施した出前授業ではこれまで通りに運用することができた。しかし、天体望遠鏡システムの起動系 PC、駆動系 PC、天体望遠鏡本体の駆動モーターなど各部位の経年劣化は否めず、別な箇所でいつ故障してもおかしくない状態である。

D コーナーの二足歩行部のガラスカバーは修繕した。A コーナーのガラスケース内照明、C コーナーの書斎、実験室キャビネット内の棚下照明は LED 化した。

一方、平成 23 年３月 11 日の地震で破損したディメトロドン実物全身骨格の棘突起は、ガラスケース内での作業作業実施が困難であるため、修復に着手しておらず、現状維持となっている。

(13)　科学系博物館情報ネットワーク開発事業自然史標本データ整備事業

国立科学博物館のＳNet（科学系博物館情報ネットワーク開発事業）及びＧＢＩＦ(地球規模生物多様性情報機構)の生物標本収蔵データベースネットワークへの参加に伴い、当館の収蔵データベースシステムにあるデータの加工・変換を行った。

・変換データ数：4,500 件（延べ数）
・データ変換委託事業期間：平成 29 年 1 月 5 日～3 月 9 日
・データ変換業務委託先：株式会社 K-Bix

上記ネットワークへのデータ提供件数は、平成28年度末で80,617件である。

(14)　文献資料等の充実

○ 購入

図書	94 冊
和雑誌	229 冊
洋雑誌	42 冊

○ 寄贈受入

図書	223 冊
雑誌	589 冊
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾒﾃﾞｨｱ	1 点
地図	1 点

○ 交換受入図書数

408 冊

○ 交換館数

国内 371 機関
海外　23 機関

4　調査研究

(1)　奥多野及び周辺地域学術調査（自然史調査）

平成 23 年度から 25 年度までの「上野村地域学術調査」では新たな国レベルでの絶滅危惧種の自生やシカの高い分布密度など新知見を得ることができた。しかし小型哺乳類の個体数変動などはさらに長い調査期間を必要とし、菌類などでは年変動の関係上記録漏れになったものもあると考えられる。また、上野村の地質は隣接する神流町とつながっており、地質年代の異なる同種の岩石が分布する南牧村や下仁田町のものと比較することが不可欠である。このことは地質の大きな影響を受ける植物にも言えることである。さらこれまでの調査で未記載と思われる植物の分類群が複数出現し、これらの分布や分類学的取り扱いを議論する上でも周辺地域を含めた調査が不可欠になってきた。これらの状況を鑑み平成 26 年度からの 3 カ年の自然史調査では、上野村に加え上野村での事象を考察する上で必要不可欠な隣接地域の調査を継続・発展させることを目的とする。

①　調査内容

・哺乳類　:小型哺乳類のトラップによる捕獲、カメラトラップ調査、痕跡調査、
　　ライトセンサス調査、バットディテクターによるコウモリ調査
　無脊椎動物　:南牧村にて軟体動物を捕獲
・維管束植物：採集、DNA サンプル採取
・蘚苔類　:採集
・菌類　　:採集
・地質・岩石　:上野村における地質調査・岩石採集

②　調査日および調査内容

5 月 5 日　哺乳類
5 月 7 日　哺乳類
5 月 25 日　菌類
5 月 26 日　小型哺乳類
5 月 27 日　小型哺乳類
6 月 3 日　維管束植物
6 月 14 日　哺乳類
6 月 14 日　軟体動物，小型哺乳類
5 月 15 日　小型哺乳類
6 月 15 日　維管束植物
6 月 19 日　軟体動物
6 月 24 日　軟体動物
7 月 22 日　小型哺乳類，地質・岩石
7 月 23 日　小型哺乳類
7 月 28 日　軟体動物
7 月 15 日　菌類
7 月 26 日　哺乳類
8 月 2 日　哺乳類
8 月 7 日　軟体動物，小型哺乳類
8 月 8 日　小型哺乳類
8 月 19 日　軟体動物
8 月 31 日　菌類

9 月 17 日　維管束植物
10 月 14 日　菌類
10 月 15 日　軟体動物
10 月 20 日　地質・岩石
10 月 24 日　維管束植物
10 月 25 日　菌類
10 月 27 日　軟体動物
10 月 29 日　軟体動物
10 月 30 日　哺乳類
11 月 23 日　哺乳類
11 月 25 日　地質・岩石
11 月 26 日　軟体動物
11 月 29 日　地質・岩石
3 月 12 日　軟体動物

(2)　担当分野別調査研究一覧

担当分野	内容（自然史調査を除く）	主な方法
植物	群馬県および上信越・東北地域における維管束植物の分布調査 群馬県及び周辺部の絶滅危惧植物の生態と保全に関する調査 尾瀬のフロラに関する調査	・踏査、採集、GPS 測位、個体数モニタリング、低温シードバンク保存
菌類	群馬県における菌類生息状況調査 自然史博物館博物館周辺の菌類調査	・群馬県野生きのこ同好会の採集会に参加、採集資料の収蔵 ・博物館周辺の菌類構成の季節的変化の把握 ・博物館周辺のカメラトラップ
鳥類	群馬県における外来生物調査 群馬県における鳥類解剖調査 群馬県における放射性物質汚染状況調査	・ソウシチョウ、ガビチョウの受入、収蔵 ・野鳥病院より検体の受入 ・検体分析調査（全県・食性、繁殖状況、性別、年齢など） ・放射性物質汚染状況調査用（ゲルマニウム分析（筋肉））試料の生成、データ蓄積
哺乳類	群馬県における哺乳類生息状況の長期モニタリング調査 群馬県における外来生物調査 群馬県における野生動物放射性物質汚染状況調査 ニホンジカ個体数調整事業にともなう調査 カモシカ個体数調整事業にともなう調査 イノシシ個体数調整事業にともなう調査 適正管理計画に関わる野生鳥獣の基礎調査	・群馬県鳥獣保護管理員、自然保護指導員報告野生動物情報調査 ・カメラトラップ調査（榛名、玉原、藤原、太田、桐生、稲含山、渡良瀬） ・検体分析調査（全県・食性、繁殖状況、死亡年齢査定） ・放射性物質汚染状況調査用（ゲルマニウム分析（筋肉）、NaI シンチレーション（全身スクリーニング）試料の生成、データ蓄積 ・シャーマントラップ調査（上野村）

脊椎動物 化石	群馬県産ならびに当館所蔵の脊椎動物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究	・収蔵標本のプレパレーションやその研究 ・フィールド調査（県外を含む） ・他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） ・各分類群の専門家、他団体との共同研究 ・採集、寄贈等による標本収集
無脊椎動物 化石	群馬県産ならびに当館所蔵の無脊椎動物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究	・収蔵標本のプレパレーションやその研究 ・フィールド調査（県外を含む） ・他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） ・各分類群の専門家、他団体との共同研究 ・採集、寄贈等による標本収集
植物化石	群馬県産ならびに当館所蔵の植物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究	・収蔵標本のプレパレーションやその研究 ・フィールド調査（県外を含む） ・他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） ・各分類群の専門家、他団体との共同研究 ・採集、寄贈等による標本収集
地質・岩石	群馬県内の地質及び群馬県産の岩石に関する調査研究	・フィールド調査 ・浅間山及び榛名山火山灰の採集 ・岩石研磨片及び薄片観察・記載
鉱物	群馬鉄山に産するベンガラの鉱物調査研究	・粉末Ｘ線回折装置を用いた構成鉱物の同定
無脊椎動物 （軟体動物）	群馬県における軟体動物生息状況調査	・フィールド調査 ・採集資料の収蔵

(3)　美術館・博物館調査研究

「アマゾンはいま」

南米アマゾンは世界最大の面積をもつ熱帯雨林として知られている。面積は 780 平方メートルで日本の約 20 倍に相当する。WWF の報告では 2009 年からの 10 年間で 1200 種の新種が見つかった。一　方で過去 50 年に熱帯雨林全体の 20%近くが破壊されている。まだ知られていない種も相当な数にのぼり知られずに絶滅していくこともある。いままさに生物多様性が危機に瀕していると言える。

今回の展示ではアマゾンに生息する魚類を生体で、哺乳類、鳥類、爬虫類は剥製で展示してアマゾンのジャングルを演出する。環境破壊については藤原幸一様の写真を展示する。日本の取り組みとして人工衛星を使った違法伐採のモニタリングや森を再生する農法アグロフォレストリーとその農産物を紹介する。さらに原住民の装身具の数々を展示する。展示は京都大学野生動物研究センターと共催で開催することになった。アマゾン研究所、国立科学博物館、（株）フルッタフルッタ、NATURE`S PLANET、JICA、JAXA に調査を行った。

「ぐんまの景観がこんなにも素晴らしい５つの理由」

平野、段丘、渓谷、火山、山脈、滝・・・。絶景を目の前にした私たちはつい言葉を失ってしまう。ぐんまでは、このような素晴らしい景観を多くの場所で見ることができる。景観は、空気が地形を切りだした彫刻のようにも見えるし、空気という入れ物の中に壮大な造形作品が鎮座しているようにも見える。まるで文学的表現をしているかのようであるが、実は両方とも科学的な事実を言い代えたものなのである。絶景の構成要素である地形は、空気や水などで削り取られたものの場合もあり、火山のマグマから造られたり川・海の堆積作用で後から造られたりする場合もある。豊かな景観を間近で見てみると、景観を形作る地形・地質は強く人の生活と結びついていて、災害の要

因になる可能性がある反面、温泉や資源などの恵みをもたらしてくれる。この企画展では、ぐんまの絶景・景観美を道標として、景観の成因（つまり地形・地質の成因）と大地がもたらす災害・恵みについて紹介する。

「ぐんまちゃんとめぐる利根川の旅」

「利根川は」開館 20 年を経ても、本館では一度も開催されていないテーマである。この展示を通して来館者に、利根川と利根川流域に生きる生物とその現状を知ってもらうとともに、生物との関わり方を知ってもらうことを１つの目的としている。また、山、里、川、海などの自然や環境を大切にしようとする心を、県民に広く育むことも目的の 1 つである。さらに、利根川の過去と現状を知ることで、河川や火山災害などに対して私たちが今後とるべき行動の基礎的な情報の公開も目的の１つとなっている。

調査にあたり、近隣の博物館、教育研究団体へ赴き、本館では所蔵していない資料の確認、展示へのアドバイスをいただいた。また、県内における資料不足の分野では野外における調査活動も行った。

地域活動支援

「ぐんまの自然のいまを伝える」の調査

当館では、自然保護・保全に携わる団体等の活動成果を当館所蔵の実物標本を活用しながら、県民に展示、教育普及することで、県民の地域の生物多様性保全への関心を高めることを目的に「ぐんまの自然の『いま』を伝える報告会」開催してきた。28 年度は「開館 20 周年記念コレクション展」との連携を図りながら、「ぐんまの自然を伝える」を開催した。この事業を進めるにあたり、関係の団体等に資料を配布するとともに、関係団体からの聞き取り調査を行った。29 年度は事業を 27 年度のように拡大し、口頭・ポスター報告した調査研究や活動事例について解説パネルで紹介すると共に、調査研究に関わるテーマ展示や、実物資料展示、映像等による解説を行い、各種団体を自然史博物館が支援して製作した標本等も展示する。

(4) 群馬県立自然史博物館研究報告第 21 号の発行

内容は、論文 17 編（原著論文 6、短報 5、資料 5、その他 1）である。17 編のうち、外部からの投稿が 11 編であった。

(5) 外部連携による調査研究

事業名	分担区分	担当者名	外部資金	連携組織 資金提供組織	備考
良好な自然環境を有する地域学術調査	分担	大森威宏 姉崎智子 髙桒祐司 菅原久誠	○	群馬県自然環境調査研究会	
生物多様性モニタリング調査	分担	大森威宏 姉崎智子	○	群馬県自然環境調査研究会	
群馬県特定外来生物生息状況調査	代表	姉崎智子	○	群馬県自然環境課	
群馬県希少野生動植物保護条例に係る特定県内希少動植物種モニタリング調査	分担	大森威宏	○	群馬県自然環境課	
尾瀬における植物分布調査およびシカ食害調査	分担	大森威宏	○	群馬県自然環境課尾瀬保全推進室	

群馬県シードバンク構築事業	代表	大森威宏	○	群馬県自然環境課	H23～
山中層群の古生物学的研究	連携	髙桒祐司		神流町恐竜センター、埼玉県立自然の博物館	
絶滅爬虫類の脳形態に関する研究	連携	髙桒祐司		對比地孝亘 （東京大学理学部）	
蝦夷層群における後期白亜紀サメ類群集に関する研究	連携	髙桒祐司		三笠市立博物館	
古生物系標本横断データベースの構築	連携	髙桒祐司		東京大学総合研究博物館	
東松山市葛袋産軟骨魚類化石に関する研究	協力	髙桒祐司		埼玉県東松山市	
来馬層群産脊椎動物化石に関する研究	連携	髙桒祐司		フォッサマグナミュージアム	
群馬県内における菌類調査	連携	佐藤利正		群馬県林業試験場 群馬県野生きのこ同好会	
昭島市産ヒゲクジラ類化石に関する研究	連携	木村敏之		国立科学博物館	
瑞浪市産クジラ類化石に関する研究	連携	木村敏之		瑞浪市化石博物館	
群馬県特定動物保護管理計画にともなう検体分析事業（ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンザル、ニホンジカ、ニホンイノシシ）	連携	姉崎智子		群馬県自然環境課、市町村 東京農業大学、（財）自然環境研究センター、京都大学霊長類研究所、総合研究大学院大学、麻布大学	
野生鳥獣肉をモデルとした放射性物質（セシウム）の体内分布に関する調査	連携	姉崎智子		群馬県食肉衛生検査所	
群馬県ツキノワグマにおける寄生虫調査	協力	姉崎智子		群馬県食肉衛生検査所	
尾瀬シカ捕獲事業における科学的な分析	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境課尾瀬保全推進室、群馬県自然環境課野生動物係	
赤城シカ対策事業におけるシカの科学的な分析	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境課野生動物係	
神津牧場シカ対策事業におけるシカの科学的な分析	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境課野生動物係	
太田金山イノシシ対策事業におけるイノシシの科学的な分析	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境課野生動物係	
群馬県における野生動物カメラトラップ調査	連携	姉崎智子		利根沼田自然を愛する会 桐生自然観察の森	
セルロース分解に関する消化管内細菌叢とその制御システムの多様性	共同	姉崎智子	○	琉球大学熱帯生物圏研究センター、京都大学霊長類研究所	
群馬県産ニホンザルの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		京都大学霊長類研究所	
群馬県内におけるニホンジカの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		麻布大学	
群馬県内におけるニホンカモシカの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		麻布大学	
群馬県におけるツキノワグマの遺伝的多様性	共同	姉崎智子		東京農業大学、東京農工大学	
群馬県におけるツキノワグマの遺伝的追跡調査	共同	姉崎智子		東京農工大学、森林総合研究所	
「海洋教育」体感型アウトリーチ補助教材（トランクキット）開発	代表	姉崎智子	○	船の科学館ミュージアムサポートプログラム２	

尾瀬産維管束植物の分布と保全に関する研究	連携	大森威宏		黒沢高秀（福島大学）	
日本産カヤツリグサ科分布図作成事業	連携	大森威宏		すげの会	
東北日本産トリカブト属植物の分子系統学的研究	連携	大森威宏	○	中屋敷　徳（岩手医科大）	
川場村誌調査員（植物）	分担	大森威宏	○	川場村	
共同利用研究「群馬県空中写真デジタル化・環境解析事業」	連携	姉崎智子		同志社大学	
新学術領域： 「西アジア都市文明の資源基盤と環境」	分担	姉崎智子	○	文部科学省科学研究費補助金	（平成 24 年度～平成 28 年度：研究代表者本郷一美・総合研究大学院大学・葉山高等研究センター）
「神奈川県産のツキノワグマ頭骨の形態変異に関する研究」	連携	姉崎智子		神奈川県立生命の星・地球博物館	
動物園個体の標本化・収蔵	連携	姉崎智子		株式会社群馬サファリワールド、桐生市桐生が岡動物園	
群馬鉄山に産するベンガラの構成鉱物に関する研究	代表	菅原久誠		ホリミネラロジー(株)、鉱物科学研究所	
火星生命探査の岩石学的アプローチ　ーかんらん石に産する微生物化石様組織の起源を探るー	代表	菅原久誠	○	愛媛大学社会共創学部	

・外部研究者への調査協力

研究テーマ	協力者	協力元代表研究者名(所属)	備考
環境省絶滅危惧種の分布	大森威宏	藤井伸二（人間環境大）	情報提供
群馬県産アザミについて	大森威宏	門田裕一（元国立科学博物館）	情報提供
日本産イネ科ススキ属、ハネガヤ属について	大森威宏	陈文俐（中国科学院）・李灵露（北京大大学院）	情報提供・採取同行
東日本産ホシクサ科について	大森威宏	高田　順（秋田自然史研究会）	情報提供・試料提供
オクタマツリスゲの形態と分布について	大森威宏	沼宮内信之（森林技術協会：東北）	情報提供・教示
トゲウオ科化石について	髙桒祐司	籔本美孝（北九州立自然史・歴史博物館）	標本に関する情報提供
ペルー産ペンギン化石について	髙桒祐司	加藤太一（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）	標本に関する情報提供
現生ホホジロザメの標本について	髙桒祐司	Kenshu Shimada (De Paul University, USA)	標本に関する情報提供

論文査読の扱いについて	髙桒祐司	藤倉克則（JAMSTEC）	情報提供
サメの歯化石のレプリカ作成について	髙桒祐司	樽　創（神奈川県立生命の星・地球博物館）	作成可能業者に関する情報提供
微化石模型等について	髙桒祐司	小池渉（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）	標本に関する情報提供
世界化石の日の対応状況について	髙桒祐司	北里　洋（東京海洋大学）	対応状況に関する情報提供
サメ類化石について	髙桒祐司	安藤佑介 （瑞浪市化石博物館）	標本に関する情報提供
兜岩層産カエル類化石の収蔵状況について	髙桒祐司	指田勝男（筑波大学大学院）	標本に関する情報提供
久慈層群産板鰓類化石について	髙桒祐司	平山廉（早稲田大学）	標本同定に関する情報提供
エディアカラ型生物群の標本の収蔵状況について	髙桒祐司	佐々木智啓（東京大学大学院）	標本に関する情報提供
キクザメ類標本の収蔵状況について	髙桒祐司	佐藤たまき（東京学芸大学）	標本に関する情報提供
ディプロモセラスについて	髙桒祐司	安藤寿男（茨城大学）	標本に関する情報提供
クモ類化石標本の収蔵状況について	髙桒祐司	筒井　学（ぐんま昆虫の森）	標本に関する情報提供
関東支部の巡検で依頼可能な県内のバス会社について	髙桒祐司	笠間友博（日本地質学会関東支部）	情報提供
塩ノ沢石灰岩に関する文献について	髙桒祐司	下仁田町自然史館	情報提供
貸出可能なオオツノジカの標本の収蔵状況について	髙桒祐司	九州国立博物館	情報提供
大学講義での T.rex 展図録の使用について	髙桒祐司	石垣　忍（岡山理科大学）	入手方法に関する情報提供
ハクジラ類化石標本について	木村敏之	村上瑞季（早稲田大学）	標本同定に関する議論
カワイルカ類化石標本について	木村敏之	松岡廣繁（京都大学）	標本に関する情報提供

ミトコンドリア DNA ハプロタイプ分析による群馬県ツキノワクマの遺伝的集団構造	姉崎智子	佐々木剛（東京農業大学）	試料提供
ツキノワグマの安定同位体分析	姉崎智子	小池啓介（東京農工大学）	試料提供
ツキノワグマの核 DNA 解析	姉崎智子	大西尚樹（森林総合研究所）	試料提供
ツキノワグマの放射性セシウム汚染・筋肉と血液の相関性	姉崎智子	山崎晃司（東京農工大学）	試料提供
群馬県ニホンザル苦味受容体遺伝子解析	姉崎智子	今井啓雄、鈴木南美（京都大学霊長類研究所）	試料提供
群馬県ニホンジカの遺伝的集団構造	姉崎智子	南正人（麻布大学）	試料提供
群馬県ニホンカモシカの遺伝的集団構造	姉崎智子	南正人（麻布大学）	試料提供
群馬県神流町及び上野村に分布する山中層群の地質調査	菅原久誠	棲井辰哉（立正大学）	研究指導
日本産ワニ類化石について	長谷川善和	飯島正也（北海道大学大学院）	
琉球列島産シカ類化石について	長谷川善和	榊山　匠（北海道大学大学院）	
国内産カメ類化石について	長谷川善和	高橋亮雄（岡山理科大学）	
港川人遺跡の両生・爬虫類研究	長谷川善和	池田忠広（兵庫県立人と自然の博物館）	
日本産ワニ類化石について	長谷川善和	堀　睦（北海道大学大学院）	

5 情報システム

自然史博物館情報システムは平成 28 年 10 月 1 日より第四次システムの運用を開始した。従来のシステムの経年による機器更新に加え，一部のサーバをクラウド化するなど，一層の県民サービスの向上，安定性の向上を図った．システム概要は以下の通りである。情報システムは 5 つのサブシステムから構成されており、これらが相互連携して機能することにより、来館者、外部利用者、館職員が利用しやすいように設計されている。

(1) 収蔵品管理システム

収蔵資料の属性データをデジタル化して一元管理するためのシステムである。データは採集関係、産地関係をはじめとする属性情報だけでなく、当該資料の画像等の管理も行っている。また、一元管理されたデータは、展示情報システム、普及広報システムと連携を図ることで、有効活用している。使用ソフトウェアは Musetheque V4（富士通製）である。第４次システムよりデータセンターを利用したクラウド化をすることによりデータの安全性の一層の向上を図っている．また 3D スキャナを導入し，収蔵資料の３次元情報についても蓄積を行う．このほか 3D プリンタ，4K 対応ビデオカメラも導入された．

(2) 展示情報システム

情報コーナー展示システム、常設展示用展示システム、来館案内システムの 3 つからなる。収蔵情報・クイズ・ビデオ・図書情報が簡単な操作で見られるように構成されており、館内の情報コーナー及び各展示コーナーの端末で利用できる。情報コーナーでは全てが、一方、各展示コーナーでは該当部分のみを利用できる。収蔵情報は、収蔵品管理システムと連動しており、新たな収蔵品の更新情報を直ちに見ることができる。ビデオ番組は、群馬県内の自然環境および景勝地などを過去に撮影したもの等、合計 200 タイトルを保有している。来館案内は、企画展、イベントの情報を、博物館エントランスに設置したディスプレイで常時配信している。また第４次システムでは風除室での情報配信も新たに開始し，一層の来館者サービスの向上に努めている．また学習室プロジェクタも第 4 次システムにより更新した．

(3) 図書文献管理システム

館所蔵の図書文献を管理するシステムである。収蔵品管理システムと同様に、一元管理された図書情報は、展示情報システム、普及広報システムと連携を図ることで、有効活用しており、展示情報システム、普及広報システムに反映され、来館者が図書室、情報コーナーに保管している図書を館の内外から検索できる。収蔵システム同様にデータセンターを利用したクラウド化を行うことで，データの安全性の向上を図っている．

(4) 普及広報システム

インターネット上のＨＰにおいて、イベント、博物館活用ネットワーク、友の会、ボランティア、収蔵品、図書、博物館実習等の各情報や、施設案内・博物館だよりなどを紹介している。展示室・イベント情報については動画配信を行っている。学習用ワークシート、調査報告書、博物館便り（デメテール）は、すべて HP からダウンロードできる。また、イベントや団体・学校利用に関する質問、博物館の資料・展示・研究に関する質問、システム・ホームページに関する質問について、それぞれ電子メールでの対応も行っている。なお第４次システムでは，より柔軟かつ迅速な情報提供を行うことを目的として CMS を導入した．

(5) 学習支援システム

学校から学年単位などの団体で来館し、展示室で課題解決学習を行いたいという要望に応える形で作成したプログラムである。児童・生徒が各コーナーの展示資料の見方や展示場所をコンピュータで調べ、実物の資料を観察ながら学習できるシステムである。

６　出版・広報事業

(1)　出版物

次の広報用印刷物および書籍を発行した。

種類	名　　称	規格	頁数	部数
博物館だより	自然史博物館だより「デメテール」No66	A4 版ｶﾗｰ	4	9,500
	自然史博物館だより「デメテール」No67	A4 版ｶﾗｰ	4	9,500
	自然史博物館だより「デメテール」No68	A4 版ｶﾗｰ	4	9,500
ポスター	開館 20 周年記念展超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅠ	B2 版ｶﾗｰ		3,000
	開館 20 周年記念展超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅠ	B3 版ｶﾗｰ		200
	開館 20 周年記念展超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅡ	B2 版ｶﾗｰ		3,000
	開館 20 周年記念展超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅡ	B3 版ｶﾗｰ		200
	特別展　自然史博物館 20 年のあゆみ	B2 版ｶﾗｰ		3,000
	特別展　自然史博物館 20 年のあゆみ	B3 版ｶﾗｰ		200
	第 53 回企画展ポスター	B2 版ｶﾗｰ		3,000
	第 53 回企画展ポスター	B3 版ｶﾗｰ		200
企画展・特別展リーフレット	開館 20 周年記念展超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅠ	A4 版ｶﾗｰ		80,000
	開館 20 周年記念展超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅡ	A4 版ｶﾗｰ		65,000
	特別展　自然史博物館 20 年のあゆみ	A4 版ｶﾗｰ		17,000
	第 53 回企画展ポスター	A4 版ｶﾗｰ		65,000
企画展図録	開館 20 周年記念展超肉食恐竜 *T. rex*	B5 横版ｶﾗｰ	56	1,900
	地元博物館とビジターセンターが案内する尾瀬の自然	A5 版ｶﾗｰ	62	800
リーフレット	イベントガイド 2016.10～2017.3	A3 版横観音開き表ｶﾗｰ･裏１色		25,000
	イベントガイド 2017.4～2017.9	A3 版横観音開き表ｶﾗｰ･裏１色		25,000
記念誌	群馬県立自然史博物館　20 年のあゆみ	A4 版ｶﾗｰ		300
研究報告	研究報告 20 号	A4 版一部ｶﾗｰ	120	600
パンフレット	みんなで調べる！コケ類を探そう	B4 二折ｶﾗｰ	4	2,000
	みんなで調べる！きのこを探そう	B4 二折ｶﾗｰ	4	2,000

(2)　出版物の主な配布先（研究報告を除く）

群馬県	市町村教育委員会、小中学校、高等学校、幼稚園、保育園、大学、短期大学、公民館、道の駅、地元企業、報道機関、ホテル、旅館、観光施設、児童館、病院
埼玉県	小中学校（一部）、公民館（一部）、旅行業者（一部）

東京都	市町村教委（一部）
栃木県	小中学校（足利・佐野地域）、市町村教委（一部）、旅行業者（一部）
長野県	小中学校（一部）、市町村教委（一部）、旅行業者（一部）
その他	関東近県博物館、同美術館等

(3)　広報（情報発信）・広告・取材

見学予定の団体に対してプロモーション用ＤＶＤの貸出を行った。さらに写真･資料を雑誌･広報誌等に提供し、館および企画展を紹介した。

①プロモーション用ＤＶＤの貸出

平成 28 年度貸出件数 40 件

②　活字媒体による情報資料掲載

ア　県広報等からの発信（３０件）

出版社等の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内容
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2016.4.8	「高校生学芸員」募集
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2016.4.8	「ミュージアムスクール生」募集
群馬県	ぐんま広報	2016.5.3	自然史講座「マダガスカルの鳥」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2016.5.14	博物館の日（５月１７日）イベント
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2016.6.2	サイエンス・サタデー「光るスライムをつくろう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2016.6.23	移動博物館「けやきウォーク前橋」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2016.7.1	サイエンス・サタデー「スピノサウルスの歯のレプリカをつくろう」
群馬県	ぐんま広報	2016.7.3	開館 20 周年記念展超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅠ
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2015.7.9	自然史講座「増える！拡がる！害をなす！外来生物の困った問題」
群馬県	グラフぐんま	2016.7.10	県立施設で科学体験
群馬県	ぐんま広報	2016.8.7	サイエンス・サタデー「アンモナイト化石のレプリカをつくろう」
群馬県	グラフぐんま	2016.8.10	開館 20 周年記念展超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅠ
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2016.9.1	サイエンス・サタデー「翼竜やじろべえをつくろう」
群馬県	ぐんま広報	2016.10.2	開館 20 周年記念展超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅡ
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2016.10.7	サイエンス・サタデー「飛ぶタネの模型を作り、そのしくみについて調べよう」

上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2016.10.8	開館20周年記念展超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅡ
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2016.11.1	移動博物館「高崎市六郷公民館」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2016.11.3	サイエンス・サタデー「水引でデザインポチぶくろを作ろう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2016.12.1	サイエンス・サタデー「コケのテラリウムを作り、コケを観察しよう」
群馬県	ぐんま広報	2017.1.1	特別展「自然史博物館20年のあゆみ～コレクション展～」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2017.1.1	サイエンス・サタデー「簡易モーターを使って地球の力を調べよう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2017.1.5	開館20周年記念長谷川善和講演会「いま恐竜は生きているのか」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2017.2.2	サイエンス・サタデー「動物糸電話を使って音について調べよう」
群馬県	ぐんま広報	2017.2.5	自然史講座「日本人はどこから来たのか？」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2017.2.22	移動博物館「館林市多々良公民館」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2017.3.2	講演会「新井幸人尾瀬を撮る」
群馬県	ぐんま広報	2017.3.5	企画展「尾瀬を科学する」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2017.3.3	サイエンス・サタデー「火山灰から宝石を見つけ、火山について知ろう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2017.3.7	ミュージアムスクール生による研究発表会
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2017.3.8	高校生学芸員による研究発表会

イ　上記以外からの発信（１０１件）

出版社等の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内容
富岡市	広報とみおか	2016.4.1	企画展「よろいをまとった生きものたち」の紹介
ASA富岡　中木新聞店	ニューライフ富岡	2016.4.1	企画展「よろいをまとった生きものたち」の紹介
ASA富岡　中木新聞店	ニューライフ富岡	2016.4.1	企画展講演会「水分調節のできるよろいを手に入れた昆虫」の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2016.4.1	4月の自然史博物館イベントの紹介

朝日ぐんま	朝日ぐんま	2016.4.8	企画展「よろいをまとった生きものたち」の紹介
高崎市教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2016.4.1	自然史博物館イベントの紹介
富岡市	広報とみおか	2016.4.13	企画展「よろいをまとった生きものたち」の紹介
東京新聞社	東京新聞	2016.4.10	前橋の岩神の飛石について
日本教育新聞社	日本教育新聞社	2016.4.18	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2016.4.26	第５１回企画展２万人セレモニー
元裕社	ハロートラベル群馬	2016.4.30	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2016.5.1	5 月の自然史博物館イベントの紹介
全国科学博物館協議会	全科協ＮＥＷＳ	2016.5.1	自然史博物館イベントの紹介
毎日小学生新聞	毎日小学生新聞	2016.5.30	カマラサウルスの紹介
日本博物館協会	博物館研究	2016.6.1	6 月の自然史博物館イベントの紹介
東和広告システム	ふりぺっこ７月号	2016.6.23	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
旺文社	まっぷるおいしい道の駅ドライブ～首都圏版～	2016.6.23	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2016.7.1	7 月の自然史博物館イベントの紹介
全国科学博物館協議会	全科協ＮＥＷＳ	2016.7.1	自然史博物館イベントの紹介
ASA 富岡　中木新聞店	ニューライフ富岡	2016.7.1	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
高崎市教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2016.7.1	自然史博物館イベントの紹介
下野新聞社	T たいむ	2016.7.1	自然史博物館の紹介
JAF	JAF PLUS７月号（群馬）	2016.7.1	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
JAF	JAF PLUS７月号（神奈川）	2016.7.1	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
JAF	JAF PLUS７月号（長野）	2016.7.1	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2016.7.2	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
上毛新聞社	子ども新聞週間風っ子	2016.7.10	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介

誠文堂新光社	子供の科学８月号	2016.7.10	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
朝日新聞	朝日新聞マリオン	2016.7.12	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぱれっと」	2016.7.14	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
朝日新聞	朝日ぐんま	2016.7.15	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま	2016.7.15	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
毎日新聞社	毎日新聞	2016.7.15	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
桐生タイムス社	タウンわたらせ	2016.7.23	自然史博物館の紹介
日経サイエンス	日経サイエンス９月号	2016.7.25	自然史博物館イベントの紹介
富岡市	広報とみおか	2016.8.1	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2016.8.1	8 月の自然史博物館イベントの紹介
藤岡市	藤岡市広報紙８月号	2016.8.1	自然史博物館イベントの紹介
朝日新聞社	群馬マリオン	2016.8.17	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま	2016.8.19	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
朝日新聞	朝日ぐんま「文化紀行」	2016.8.19	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2016.9.1	9 月の自然史博物館イベントの紹介
全国科学博物館協議会	全科協ＮＥＷＳ	2016.9.1	自然史博物館イベントの紹介
朝日ぐんま	朝日ぐんま	2016.9.16	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
上毛新聞社	子ども新聞週間風っ子	2016.9.25	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
橋本新聞販売	はしもとランド	2016.9.25	自然史博物館の紹介
朝日新聞	朝日新聞マリオン	2016.9.27	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2016.9.30	アライグマについて
高崎市教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2016.10.1	自然史博物館イベントの紹介
日本博物館協会	博物館研究	2016.10.1	10 月の自然史博物館イベントの紹介
JAF	JAF PLUS10 月号（新潟）	2016.10.1	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介

JAF	JAF PLUS10 月号（群馬）	2016.10.1	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
JAF	JAF PLUS10 月号（東京）	2016.10.1	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
JAF	JAF PLUS10 月号（神奈川）	2016.10.1	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
株式会社中広	まま・ここっと	2016.10.3	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま	2016.10.7	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま	2016.10.14	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
朝日新聞	朝日ぐんま「地域繚乱」	2016.10.14	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	ぐんまの自転車さんぽ	2016.10.15	自然史博物館の紹介
東京新聞社	東京新聞	2016.10.15	ツキノワグマ、カモシカについて
日経サイエンス	日経サイエンス１２月号	2016.10.25	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
東和広告システム	ふりぺっこ 11 月号	2016.10.27	博物館の紹介
群馬東部よみうり新聞社	Viva! amigo!	2016.10.28	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2016.10.28	自然史博物館について
日本博物館協会	博物館研究	2016.11.1	11 月の自然史博物館イベントの紹介
全国科学博物館協議会	全科協ＮＥＷＳ	2016.11.1	自然史博物館イベントの紹介
富岡市	広報とみおか	2016.11.1	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
ASA 富岡　中木新聞店	ニューライフ富岡	2016.11.1	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」の紹介
誠文堂新光社	月刊天文ガイド	2016.11.1	博物館の紹介
旅行読売出版社	月刊「旅行読売」12 月号	2016.11.2	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2016.12.1	12 月の自然史博物館イベントの紹介
ググッとぐんま観光宣伝推進協議会	ググッとぐんま冬・早春号	2016.12.1	自然史博物館の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま	2016.12.23	博物館イベント「ミュージアムナイトツアー」の紹介
高崎市教育委員会	たかさき子ども活動デー・インフォメーション	2017.1.1	自然史博物館イベント（1 月～3 月）の紹介

日本博物館協会	博物館研究	2017.1.1	1月の自然史博物館イベントの紹介
全国科学博物館協議会	全科協ＮＥＷＳ	2017.1.1	自然史博物館イベントの紹介
富岡市	広報とみおか	2017.1.1	特別展「自然史博物館２０年のあゆみ～コレクション展～」の紹介
朝日新聞	朝日新聞マリオン	2017.1.10	特別展「自然史博物館20年のあゆみ～コレクション展～」の紹介
株式会社ホンダコムテック	関東Hondaじゃらん	2017.1.12	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぱれっと」	2017.1.16	特別展「自然史博物館20年のあゆみ～コレクション展～」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぱれっと」	2017.1.19	特別展「自然史博物館20年のあゆみ～コレクション展～」の紹介
朝日新聞	朝日ぐんま「文化紀行」	2017.1.20	特別展「自然史博物館20年のあゆみ～コレクション展～」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2017.1.22	自然史学会連合講演会について
朝日新聞	朝日新聞マリオン	2017.1.24	特別展「自然史博物館20年のあゆみ～コレクション展～」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2017.1.30	「ぐんまの『いま』を伝える報告会」の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2017.2.1	2月の自然史博物館イベントの紹介
ASA富岡　中木新聞店	ニューライフ富岡	2017.2.1	特別展「自然史博物館20年のあゆみ～コレクション展～」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2017.2.7	特別展「自然史博物館20年のあゆみ～コレクション展～」の紹介
群馬よみうり新聞社	タウンぐんま	2017.2.24	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2017.3.1	3月の自然史博物館イベントの紹介
全国科学博物館協議会	全科協ＮＥＷＳ	2017.3.1	自然史博物館イベントの紹介
株式会社 未来社	フリーペーパー道の駅	2017.3.1	自然史博物館の紹介
ASA富岡　中木新聞店	ニューライフ富岡	2017.3.1	企画展「尾瀬を科学する」の紹介
JAF	JAF PLUS3月号（群馬）	2016.3.1	企画展「尾瀬を科学する」の紹介
JAF	JAF PLUS3月号（神奈川）	2016.3.1	企画展「尾瀬を科学する」の紹介
JAF	JAF PLUS3月号（長野）	2016.3.1	企画展「尾瀬を科学する」の紹介
朝日新聞	朝日新聞マリオン	2017.3.14	企画展「尾瀬を科学する」の紹介

上毛新聞社	上毛新聞「ぱれっと」	2017.3.17	企画展「尾瀬を科学する」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぱれっと」	2017.3.17	3月の自然史博物館イベント「サイエンス・サタデー」の紹介
株式会社ニューズライン	群馬でどこ行く？	2017.3.17	自然史博物館の紹介
朝日新聞	朝日ぐんま	2017.3.24	企画展「尾瀬を科学する」の紹介

③　電波媒体による情報発信

ア　県広報等からの発信（２８件）

氏名	電波媒体	番組名等	放送内容	放送年月
月田典寿	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	講演会「水分調節のできるよろいを手に入れた昆虫」	2016.4.5
小須田健志	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	サイエンス･サタデー「ツバメ型グライダーをつくろう」	2016.4.6
月田典寿	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	企画展「よろいをまとった生きものたち」	2016.4.13
月田典寿	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	企画展「よろいをまとった生きものたち」	2016.5.11
小須田健志	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	自然史講座「マダガスカルの鳥」	2016.5.19
小須田健志	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	サイエンス･サタデー「光るスライムをつくろう」	2016.6.3
静野　聡	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	博物館探検隊	2016.6.24
小須田健志	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	博物館探検隊	2016.6.27
小須田健志	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	開館20周年記念展「超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅠ」	2016.7.14
アナウンサー読み	群馬テレビ	ぐんま一番	開館20周年記念展「超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅠ」	2016.7.24
小須田健志	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	自然史講座「増える！拡がる！害をなす！外来生物の困った問題」	2016.7.28

小須田健志	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	開館 20 周年記念展「超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅠ」	2016. 8. 22
静野　聡	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	開館 20 周年記念展「超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅠ」	2016. 8. 23
月田典寿	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	サイエンス･サタデー「翼竜やじろべえをつくろう」	2016. 9. 2
静野　聡	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	開館 20 周年記念展「超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅠ」	2016. 9. 7
静野　聡	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	開館 20 周年記念展「超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅡ」	2016. 10. 12
静野　聡	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	開館 20 周年記念展「超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅡ」	2016. 11. 10
静野　聡	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	開館 20 周年記念展「超肉食恐竜 *T. rex* エピソードⅡ」	2016. 11. 15
月田典寿	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	サイエンス･サタデー「コケのテラリウムを作りコケを観察しよう」	2016. 12. 2
静野　聡	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	サイエンス･サタデー「コケのテラリウムを作りコケを観察しよう」	2016. 12. 2
月田典寿	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	特別展「自然史博物館 20 年のあゆみ～コレクション展～」	2017. 1. 10
月田典寿	ラジオ高崎	サンセットルーム	特別展「自然史博物館 20 年のあゆみ～コレクション展～」	2017. 1. 14
月田典寿	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	特別展「自然史博物館 20 年のあゆみ～コレクション展～」	2017. 2. 8
戸所雄彦	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	特別展「自然史博物館 20 年のあゆみ～コレクション展～」	2017. 2. 10
静野　聡	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	企画展「尾瀬を科学する」	2017. 3. 9
静野　聡	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	企画展「尾瀬を科学する」	2017. 3. 15

月田典寿	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	サイエンス･サタデー「火山灰から宝石を見つけ、火山について知ろう」	2017.3.16
月田典寿	ラジオ高崎	サンセットルーム	企画展「尾瀬を科学する」	2017.3.18

イ　上記以外からの発信（１０件）

氏名	電波媒体	番組名等	放送内容	放送年月
姉崎智子	ＦＭ群馬	ユウガチャ	「GW！初夏！自然とふれ合おう」について	2016.4.29
髙桒祐司	NHK 前橋	ほっとぐんま640	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」について	2016.7.12
アナウンサー読み	群馬テレビ	News Just6	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」について	2016.7.21
アナウンサー読み	群馬テレビ	ニュース eye8	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」について	2016.7.21
髙桒祐司	ＦＭ群馬	ユウガチャ	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」について	2016.8.2
アナウンサー読み	群馬テレビ	News Just6	開館 20 周年記念式典について	2016.9.30
アナウンサー読み	群馬テレビ	ニュース eye8	開館 20 周年記念式典について	2016.9.30
アナウンサー読み	群馬テレビ	News Just6	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」について	2016.10.12
アナウンサー読み	群馬テレビ	ニュース eye8	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」について	2016.10.12
月田典寿	ＦＭ群馬	ユウガチャ	自然史博物館の紹介	2017.1.3

④　取材対応（２０件）

出版社等の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内　　容
上毛新聞社	上毛新聞	2015.4.23	企画展２万人セレモニーについて

群馬テレビ	群馬テレビ	2016.7.8	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」について
上毛新聞社	グラフぐんま	2016.7.10	サイエンス・サタデーについて
上毛新聞社	グラフぐんま	2015.7.10	ファミリー自然観察会について
中日新聞社	中日新聞	2016.7.14	ニンジャデルフィスについて
毎日新聞社	毎日新聞	2016.7.14	ニンジャデルフィスについて
読売新聞社	読売新聞	2016.7.14	ニンジャデルフィスについて
上毛新聞社	上毛新聞	2016.7.16	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」について
毎日新聞社	毎日新聞	2016.7.22	企画展ワークショップについて
上毛新聞社	上毛新聞	2016.8.14	企画展３万人セレモニーについて
上毛新聞社	子ども新聞週間風っ子	2016.9.26	噴火のしくみ　実験で学ぼう
上毛新聞社	上毛新聞	2016.10.1	開館２０周年記念式典について
産経新聞社	産経新聞	2016.10.1	開館２０周年記念式典について
上毛新聞社	上毛新聞	2016.10.9	企画展８万人セレモニーについて
上毛新聞社	上毛新聞	2016.10.23	企画展「超肉食恐竜 *T. rex*」について
上毛新聞社	上毛新聞	2016.10.30	企画展１０万人セレモニーについて
東京新聞社	東京新聞	2016.11.6	視覚障害者向けツアーについて
上毛新聞社	上毛新聞	2017.2.25	多々良公民館移動博物館について
上毛新聞社	上毛新聞	2017.1.9	カマラサウルスの組み立てイベントについて
上毛新聞社	上毛新聞	2017.3.18	企画展について
群馬テレビ	群馬テレビ	2017.3.23	企画展について

(4)　書籍・雑誌記事の監修

自然史科学の普及ならびに当館の広報を目的として、「群馬県立自然史博物館」名義で、本年度は以下の書籍の監修を実施した。

書籍

・「生物ミステリーPRO ９　古第三紀・新第三紀・第四紀の生物　上巻」

著　者: 土屋　健
出版社: 技術評論社
ページ数: 183 ページ
発行日: 2016 年 8 月 25 日

・「生物ミステリーPRO １０　古第三紀・新第三紀・第四紀の生物　下巻」
著　者: 土屋　健
出版社: 技術評論社
ページ数: 173 ページ
発行日: 2016 年 8 月 25 日

・「『もしも？』の図鑑　くらべる恐竜図鑑」
著　者: 土屋　健
出版社: 実業之日本社
ページ数: 112 ページ
発行日: 2016 年 11 月 19 日

・「ながいながい骨の旅」
文: 松田素子　絵: 川上和生
出版社: 講談社
ページ数: 40 ページ
発行日: 2017 年 2 月 23 日

雑誌

・2016 年度は無し。

7　ボランティア等支援活動

(1)　ボランティア活動

① ボランティア登録状況

活動者	休止者	合計	新規登録者	辞退者
79 名	5 名	84 名	5 名	11 名（連絡なしも含む）

② ボランティア活動状況　（登録人数は重複あり）

分　　野	登録人数	延活動回数
解　説	25名	292
資料整理	31名	227
発　送	16名	28
サイエンス・サタデー	27名	186
合　　計	99名	733

③ ボランティア基礎学習会

ボランティアの基礎知識向上と生涯教育の一環、ボランティアと職員との交流をねらいとして基礎学習会を行った。

テーマ	講　師	日　時	参加者
講話 「港川人遺跡について」	名誉館長 長谷川善和	平成 29 年 3 月 5 日(日)	17 名

④ 解説ボランティア定例会

解説ボランティア同士の情報交換と解説スキル向上のため、2 ヶ月に 1 度、定例会を行った。

日　時	内　容	参加者
平成 28 年 4 月 24 日(土)	情報交換	11 名
平成 28 年 6 月 11 日(土)	ティランノサウルスについての情報提供 情報提供者：松井　純孝	12 名
平成 28 年 8 月 21 日(日)	情報交換	10 名
平成 28 年 10 月 9 日(日)	隕石についての情報提供 情報提供者：内藤　照夫	10 名
平成 28 年 12 月 4 日(日)	A コーナー現状の展示の課題について情報交換 情報提供者：茂木　誠（学芸係）	11 名
平成 29 年 2 月 4 日(土)	化石についての情報提供 情報提供者：森平　利政	11 名

⑤ サタデーボランティア新規メニュー検討会

新規のメニューの説明内容・作成方法等を習得するとともに、改善点を話し合った。

テーマ	講　師	日　時	参加者
・水引でデザインポチ袋をつくろう	学芸係 姉崎智子	平成 28 年 8 月 6 日(土)	8 名
・動物糸電話をつくろう	教育普及係 小須田健志	平成 28 年 11 月 5 日(土)	4 名
・尾瀬の花ミズバショウをつくろう	教育普及係 小須田健志	平成 29 年 2 月 4 日(土)	7 名

⑥　資料整理ボランティア情報交換会

様々な区分で活動しているボランティア同士の情報交換を行った。

日　時	内　容	参加者
平成 28 年 7 月 2 日(土)	情報交換	10 名

⑦　ボランティア全体会

ボランティア全体会を 1 回実施した。内容は、館職員といっしょに、一年間の活動の反省と課題について意見交換を行った。

日　　時	平成 29 年 3 月 5 日(日)10:00～12:00
参加人数	ボランティア 20 名、 館職員 4 名
場　　所	大会議室

(2)　友の会

①　平成 28 年度会員数　366 名

〈内 訳〉

個人会員	62 名
家族会員	76 家族
賛助会員	団体 8・個人 4

②　総会・講演会

日　　時	2016 年 5 月 8 日(日)
参加人数	24 名
講　　師	館長　長谷川善和
演　　題	化石とパソロジーの問題

③　友の会博物館等視察研修会

日　　時	2016 年 11 月 13 日(日)　　7:00～18:00
場　　所	国立科学博物館・日本科学未来館
参加人数	43 名

④ フィールド活動・体験活動

タイトル	川原の石・下仁田町宮室の逆転層の観察	植物観察とアサギマダラのマーキング	コケの観察とテラリウム作り
講　師	菅原久誠（学芸係）	友の会運営委員・群馬ナチュラリスト自然保護協議会	静野　聡（教育普及係）
日　時	6 月 18 日(土) 10:00～12:00	8 月 7 日(日) 7:30～17:15	12 月 18 日（日） 10:00～11:30
参加者	27 名	21 名	25 名

⑤ 友の会通信

	第 35 号	第 36 号
発　行　日	8 月 22 日(月)	2 月 2 日(木)
編集委員会	7 月 16 日(土)	12 月 18 日(日)
場　　所	中会議室	実験室
発 行 部 数	1500 部	1500 部

Ⅲ　資料

１　職員の委員会等委員就任状況

職・氏名	名　　称	依頼先	期　　間
名誉館長　長谷川善和	埼玉県立自然の博物館 資料評価委員会委員	埼玉県立 自然の博物館	
	日本蛇族学術研究所 理事	日本蛇族学術研究所	
	長野県飯田市美術博物館 顧問	飯田市	
	日本洞窟学研究所 理事	岩手県岩泉町	
館長　藤巻 敦	群馬県ツキノワグマ適正管理検討会	群馬県農政部	H28.4.1～
	群馬県ニホンカモシカ適正管理検討会	群馬県農政部	H28.4.1～
	群馬県ニホンザル適正管理検討会	群馬県農政部	H28.4.1～
	群馬県ニホンイノシシ適正管理検討会	群馬県農政部	H28.4.1～
	群馬県ニホンジカ適正管理検討会	群馬県農政部	H28.4.1～
	群馬県カワウ適正管理検討会	群馬県農政部	H28.4.1～
次長　岩井利信	「関東の博物館」編集委員	関東博物館協議会	H28 年度
	第 64 回全国博物館大会実行委員会	日本博物館協会	H28 年度
主幹　大森威宏	前橋市自然環境保全推進委員	前橋市生活環境部	H17.4.1～
	前橋市文化財審議会調査委員	前橋市教育委員会	H27.4.1～
	川場村誌編纂委員	川場村	H26.4.1～
	群馬県自然環境審議会委員	群馬県環境森林部	H21.3.25～
	群馬県尾瀬保護専門委員	群馬県知事	H23.4.1～
	環境省第 5 次レッドデータブック 植物Ⅰ　群馬県主任調査員	日本植物分類学会	H29.1～
	すげの会幹事	すげの会	H20.5.7～
	東北植物研究編集委員	東北植物研究会	H25.12～
	第 4 次尾瀬総合学術調査検討委員	同調査事務局	H27.11～ 28.12
	第 4 次尾瀬総合学術調査実行役員	同学術調査団	28.12～
主幹（学芸員）　髙桒祐司	群馬県自然環境研究調査会・編集委員	群馬県環境森林部	H26.11.8～
	ジオパーク下仁田協議会・委員	下仁田町	H22.3.2～
	ジオパーク下仁田協議会・学術部会長	下仁田町	H27.4.1～
	自然史学会連合・博物館部会委員	自然史学会連合	H22.1.1～
	化石研究会・事務局	化石研究会	H24.6.9～
	日本古生物学会・欧文誌幹事	日本古生物学会	H25.9.9～
	日本古生物学会・将来計画委員会委員	日本古生物学会	H24.2.6～
主幹（学芸員）　木村敏之	「全国的な自然史系標本セーフティネット構築」 ワーキンググループ委員	国立科学博物館	H23.9.10～
	化石研究会・事務局	化石研究会	H24.6.9～
主幹（学芸員）　姉崎智子	第 12 次鳥獣事業計画検討専門部会	群馬県環境森林部	H28.8～
	群馬県ツキノワグマ適正管理検討会、専門部会	群馬県農政部	H25.4.1～
	群馬県ニホンカモシカ適正管理検討会、専門部会	群馬県農政部	H25.4.1～

主幹（学芸員） 姉崎智子	群馬県ニホンザル適正管理検討会、専門部会	群馬県農政部	H25.4.1～
	群馬県ニホンイノシシ適正管理検討会、専門部会	群馬県環境森林部	H25.4.1～
	群馬県ニホンジカ適正管理検討会、専門部会	群馬県環境森林部	H25.4.1～
	環境省鳥獣保護管理調査コーディネーター	環境省自然環境局	H22.6.17～
	日本哺乳類学会 種名・標本委員会委員	日本哺乳類学会	H23.11～
	日本哺乳類学会 イノシシ部会委員	日本哺乳類学会	H25.9.6～
	文化庁全国カモシカ調査指導委員	文化庁	H27.4～
	河川課審議委員会	群馬県河川課	H28.4～
	藤岡市文化財審議委員	藤岡市教育委員会	H28.4～
	前橋市自然環境保全推進委員	前橋市生活環境部	H26.4～
	全国鳥類繁殖分布調査委員	日本鳥類学会	H28.4～
	全国鳥類繁殖分布調査・統計処理委員	日本鳥類学会	H28.4～
主任（学芸員） 菅原久誠	国指定天然記念物「岩神の飛石」環境整備委員会・指導助言	前橋市	H25.8.20～
	ジオパーク下仁田協議会学術部会会員	下仁田町	H27.4.1～
	群馬県自然環境調査研究会会員	群馬県環境森林部	H27.4.1～

２　職員の研修会等講師としての派遣の状況

研　修　会　等　名　称	主　　催　　者	期　　日	派遣職員
日本博物館協会第 64 回全国博物館大会 分科会「博物館をつなぐ IT の活利用」司会	日本博物館協会	H28.11.17	岩井利信
イネ科植物同定研修会講師	桐生自然観察の森	H.28.5.22	大森威宏
植生調査現地研修会講師	かんな川水辺の楽校	H.28.6.18	大森威宏
出前なんでも講座　「群馬の絶滅危惧植物」	日和見山の会	H.28.9.7	大森威宏
総合学習「オオツノジカ」講師	富岡市立黒岩小学校	H28.6.7	髙桒祐司
「恐竜博 2016」恐竜解体指導	朝日新聞社・国立科学博物館	H28.6.14	髙桒祐司
太田市小学校理科主任会講師	太田市小学校理科主任会	H28.8.23	髙桒祐司
「メガ恐竜博 in 豊橋」古生物解体・梱包等指導	読売新聞社ほか	H28.10.10-11	髙桒祐司
論文査読: Paleontological Research	日本古生物学会	H28.10	髙桒祐司
日本ジオパーク関東大会 in 下仁田 関東ストーリー分科会「『ジオパーク周遊モデルコース』を考えよう」コーディネーター	ジオパーク下仁田協議会	H28.11.20	髙桒祐司
寄贈化石標本（脊椎動物など）鑑定指導	佐賀県立宇宙科学館	H29.2.10	髙桒祐司
佐賀県の海の語り部講座-古代編-第 3 回 「多様な古代ザメの世界」講師	佐賀県立宇宙科学館	H29.2.11	髙桒祐司
第 31 回海洋教育フォーラム群馬大会「群馬と海」 「化石から探る太古の群馬の大海原」講師	日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会	H29.2.18	髙桒祐司
論文査読: Paleontological Research	日本古生物学会	H29.3	髙桒祐司
論文査読: Deep-Sea Research Part II	Elsevier	H.28.6	木村敏之
論文査読：eLife	eLife Sciences Publications	H28.7	木村敏之
論文査読：Memoirs of Museum Victoria	Museum Victoria	H28.10	木村敏之

論文査読：Journal of Vertebrate Paleontology	Society of Vertebrate Paleontology	H28.12	木村敏之
論文査読：Journal of Anatomy	Anatomical Society	H29.2	木村敏之
化石発掘指導	瑞浪市化石博物館	H28.12	木村敏之
化石発掘指導	瑞浪市化石博物館	H29.3	木村敏之
展示指導	海遊館	H28.6	木村敏之
展示指導	伊賀盆地化石研究会	H28.7	木村敏之
生態復元画監修	松本市四賀化石館	H28.7	木村敏之
出前なんでも講座　「生物の進化について」	富岡ロータリークラブ	H.28.4.21	木村敏之
講演/見学会　「アキシマクジラ」	昭島市教育委員会	H28.7.28	木村敏之
論文査読：化石	日本古生物学会	H28.6	姉崎智子
群馬県鳥獣保護管理員委嘱式研修	群馬県自然環境課	H.28.4.22	姉崎智子
論文査読：Geobiology	Wiley Online Library	H.28.4.29	菅原久誠
富岡学第 2 期「富岡製糸場を支える礎石について」	富岡市教育委員会	H28.7.16	菅原久誠
科学へジャンプイン東京 2016	科学へジャンプ・イン・東京実行委員会	H28.12.18	菅原久誠
富岡学第 3 期「富岡製糸場を支える礎石について＋」	富岡市教育委員会	H28.12.23	菅原久誠
論文査読：Post-proceedings o f 2nd International Conference of TREPSEA 2016, Manuscript 12034	TREPSEA	H.29.2.17	菅原久誠
論文査読：Post-proceedings o f 2nd International Conference of TREPSEA 2016, Manuscript 22009	TREPSEA	H.29.2.17	菅原久誠
論文査読：Post-proceedings o f 2nd International Conference of TREPSEA 2016, Manuscript 22013	TREPSEA	H.29.2.17	菅原久誠
南牧村のカタツムリ	南牧村総合文化祭　南牧村文化協会	H28.3. 27	茂木　誠

３　職員の論文発表等

(1)　論文等

職・氏名	論　　題	発　表　誌	発表年
名誉館長 長谷川善和	沖縄の更新世港川人遺跡の地形と地質 （長谷川善和・鎮西清高・野原朝秀・池谷仙之・和田秀樹・大山盛弘）	群馬県立自然史博物館研究報告, (21): 7-18.	2017
	Second discovery of a spinosaurid tooth from the Sebayashi Formation (Lower Cretaceous), Kanna Town, Gunma Prefecture, Japan. （KUBOTA Katsuhiro, TAKAKUWA Yuji and HASEGAWA, Yoshikazu）	Bulletin of the Gunma Museum of Natural History, (21): 1-6.	2017
	A new species of the genus *Eschrichtius* (Cetacea: Mysticeti) from the Early Pleistocene of Japan (Toshiyuki Kimura, Yoshikazu Hasegawa, and Naoki Kohno)	Paleontological Research	in press

主幹　大森威宏	尾瀬ヶ原におけるオゼコウホネ *Nuphar pumilum* (Timm) DC var. *ozeensis* (Miki) H.Hara（広義）の保全生物学的研究 4 自動撮影カメラ画像解析によるオゼコウホネとヒツジグサのフェノロジー特性.（大森威宏）	尾瀬の自然保護－群馬県特殊植物等保全事業調査報告書－, (39):29-36.	2017
	尾瀬のイブキソモソモ *Poa radula* French.et Sav.について（大森威宏）	尾瀬の自然保護－群馬県特殊植物等保全事業調査報告書－, (39):37-38.	2017
	尾瀬ヶ原山ノ鼻及び背中アブリ田代におけるシカ攪乱地の植生の変化 5―永久方形枠設置後 5 年間の変化と、植生回復及び低層湿原性の双子葉植物に与えるシカ侵入防止ネットの効果―.（大森威宏）	尾瀬の自然保護－群馬県特殊植物等保全事業調査報告書－, (39):1-10.	2017
	至仏山東面登山道保全対策について.（片野光一・吉井広始・鈴木伸一・大森威宏）	尾瀬の自然保護ー群馬県特殊植物等保全事業調査報告書-, (39):11-19.	2017
主幹（学芸員）　髙桒祐司	Second discovery of a spinosaurid tooth from the Sebayashi Formation (Lower Cretaceous), Kanna Town, Gunma Prefecture, Japan. （KUBOTA Katsuhiro, TAKAKUWA Yuji and HASEGAWA Yoshikazu）	Bulletin of the Gunma Museum of Natural History, (21): 1-6.	2017
	板鼻層の凝灰岩（小林二三雄・飯島静男・金子稔・沢口宏・髙桒祐司・矢島博）	良好な自然環境を有する地域学術調査報告書, (42): 101-109.	2016
主幹（学芸員）　木村敏之	カズハゴンドウにおける手根骨･中手骨･指骨の同一集団内における多様性（木村敏之）	群馬県立自然史博物館研究報告, (21):　.	2017
	A new species of the genus *Eschrichtius* (Cetacea: Mysticeti) from the Early Pleistocene of Japan (Toshiyuki Kimura, Yoshikazu Hasegawa, and Naoki Kohno)	Paleontological Research	in press
主幹（学芸員）　姉崎智子	群馬県片品村におけるニホンジカの食性変化（姉崎智子）	群馬県立自然史博物館研究報告, (21):101-104.	2017
主任（学芸員）　菅原久誠	荒山･鍋割山県自然環境保全地域（1年目）（菅原久誠･矢島博）	良好な自然環境を有する地域学術調査報告書, (42): 5-8.	2016
	愛媛県松山市に降下した 2016 年 10 月 8 日阿蘇山噴火による火山灰の構成粒子記載（速報）（菅原久誠）	群馬県立自然史博物館研究報告, (21): 39-42.	2017
主幹　茂木　誠	群馬県玉村町およびその周辺地域におけるヌマガエルの分布	群馬県立自然史博物館研究報告, (21): 109-112.	2017

(2)　学会等発表

職・氏名	発　表　題	学 会 名 等	発表年
主幹　大森威宏	オクタマツリスゲ（*Carex filipes* var. *kuzakaiensis*）はどこまで分布するか？（大森威宏）	すげの会第 27 回全国大会（於: 新潟県阿賀町）	2016. 6.11
	川場村の植物相について（予報）－川場村誌資料に向けて　（大森威宏・阿部利夫）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2016　（於: 群馬県立自然史博物館）	2017.1.14
	群馬県内の里山における絶滅危惧植物種ヒメアマナの 10 年間の開花個体数動態　（石川真一・大森威宏・増田和明）	第 64 回日本生態学会大会（於: 早稲田大学早稲田キャンパス）	2017.3.16
主幹（学芸員）木村敏之	アロデルフィス科内における系統関係及び摂餌戦略 (木村敏之)	日本古生物学会第 166 回例会（於早稲田大学）	2016.1.27-29
	群馬県上野村における小型哺乳類生息調査	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2016（於: 群馬県立自然史博物館）	2017.1.14
主幹（学芸員）姉崎智子	群馬県北部地域におけるニホンジカの食性 (姉崎智子)	日本哺乳類学会（於：筑波大学）	2016.9.2-25
	群馬県北部地域におけるニホンジカの食性変化（姉崎智子）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2016（於: 群馬県立自然史博物館）	2017.1.14
	ミトコンドリア DNA の D-loop 領域部分配列に基づいた群馬県ツキノワグマの集団構造（和久大介・中野敬太・姉崎智子・佐々木剛）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2016（於: 群馬県立自然史博物館）	2017.1.14
主幹　茂木　誠	群馬県南西部において，ホラアナゴマオカチグサを再発見する	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2016（於: 群馬県立自然史博物館）	2016.1.14
	群馬県玉村町およびその周辺地域におけるヌマガエルの分布	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2016（於: 群馬県立自然史博物館）	2016.1.14
主任（学芸員）菅原久誠	群馬県立自然史博物館の教育普及プログラムを利用した下仁田ジオパークにおける学際的コンテンツの開発（菅原久誠・ジオパーク下仁田協議会）	日本地質学会第 123 年学術大会（於:日本大学文理学部）	2016.9.11
	群馬県南西部荒船山星尾峠周辺の地質（菅原久誠）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 20166（於: 群馬県立自然史博物館）	2017.1.12

(3) 著書・訳書・監修

氏　　名	書　　誌　　題	発　行　所	発表年	備考
主幹（学芸員） 髙桒　祐司	「世界遺産『ジョギンズ化石断崖』」 古生物（動物）CG 監修	TBS	2017. 2.26	

(4) その他（自然史に関する解説や意見のマスコミ等への発表・表彰など）

氏　　名	論　　題	発表誌／発行所	発表年	備考
主幹　大森威宏	尾瀬特集番組制作・取材協力	NHK さわやか自然百景	2016.7	
	尾瀬総合学術調査取材・コメント	NHK イブニングネットワーク首都圏	2016.12	
	村誌編さん便り	広報かわば	2016.5	
	春日部署管内強盗殺人死体遺棄事件に係る捜査協力感謝状贈呈	春日部警察署	2016.7.21	
	「群馬県立自然史博物館 [vol.2]」	遺伝(2016 年 5 月号)	2016.5.1	
主幹（学芸員） 髙桒祐司	日本地質学会「県の石（鉱物・岩石・化石）」群馬県分基礎資料	日本地質学会 Webpage	2016.5.10	
	「群馬県立自然史博物館 [vol.3]」	遺伝（2016 年 7 月号）	2016.7.1	
	「メガロドンのいた海」	国立科学博物館「海のハンター展」図録	2016.7.8	
	「群馬県立自然史博物館開館 20 周年記念展超肉食恐竜 *T. rex* Episode I ティランノサウルスの時代とからだ」	朝日ぐんま	2016.8	
	最近発行された書籍の紹介	化石研ニュース 128 号	2017.3.14	
	「ヤベオオツノジカ化石 歴史紡ぐ貴重な県の石」	上毛新聞オピニオン 21	2017.1.15	
	「科学研究の根拠 標本の保管、継承を」	上毛新聞オピニオン 21	2017.3.15	
	恐竜さんぽ（９回分）	毎日小学生新聞		
	「ストルティオミムス」		2016.6.20	
	「ヘレラサウルス」		2016.6.27	
	「ティラノサウルスの子？ ジェーン」		2016.7.4	
	「ライスロナックス」		2016.10.24	
	「アリオラムス」		2016.10.31	
	「ディロン」		2016.11.7	
	「アンハングエラ」		2016.11.21	
	「マメンチサウルス」		2017.2.20	
	「ステノプテリギウス」		2017.2.27	

主幹（学芸員） 姉崎智子	「奥多野の生物」	ぐんま地域文化 47 号	2016.10	
	博物館・哺乳類担当の仕事	遺伝	2016.12	
	「誘因物が野生動物に与える影響」 「生命表と生存曲線」 「生物多様性」	みどりのインタープリター協会	2016.6 2016.9 2016.12	
主任（学芸員） 菅原久誠	「群馬県立自然史博物館 [vol.4]」	遺伝（2016 年 9 月号）	2016.9.1	

４　職員の視察・研修会等への参加

氏　　名	事　項	行き先	概　　要	年月日	備考
主任（学芸員） 菅原久誠	研修	幕張メッセ	火山学会主催火山防災ワークショップ	2016. 5.21	
次長　岩井利信	大会視察等	屋久島 屋久島ランド	日本蘚苔類学会屋久島大会視察	2016. 8.29～31	
	博物館視察	三重県総合博物館･豊橋市自然史博物館	展示更新博物館･先進館視察	2017 3.24～26	
係長　戸所雄彦 主幹　小須田健志	博物館視察	ミュージアムパーク　茨城県博	「教職員のための博物館の日」運営方法、普及業務の視察	2016.8.4	
主幹　茂木　誠	博物館等視察	福島大学	企画展関連、展示物の調査(ニホンカワウソ)	2016.6. 28	
	シンポジウム参加	東京都美術館	カワウソ国際シンポジウム	2017.3. 19	
	博物館等視察	富山市科学博物館	企画展関連事業や展示物等の調査	2017. 3.23	

５　職員研修

館職員を対象に「プロに学ぶ職業人のための研修」を次の日程・内容で実施した。

①平成２８年　６月１６日（木）　　１３：３０～１６：３０

場所：富岡市体育館会議室

講師：田野　芳久　（動物写真家）

内容：生物写真に関わる撮影テクニック等

②平成２８年１２月１３日（火）　　１３：３０～１６：３０

場所：群馬県立自然史博物館会議室

講師：日本科学未来館　科学コミュニケーター　池辺　靖

科学コミュニケーター　本田　隆行

内容：科学コミュケーション等

６　視察受入

受 入 日	団　　体　　名	人　数
4 月 15 日	板橋区教育委員会（特支）	15
4 月 15 日	板橋区教育委員会	46
4 月 21 日	東久留米市教育委員会	20
4 月 21 日	練馬区教育委員会	20
4 月 22 日	中野区教育委員会	35
4 月 23 日	練馬区教育委員会	40
5 月 13 日	武蔵村山市教育委員会	18
5 月 25 日	文京区教育委員会	24
7 月 22 日	板橋区教育委員会	31
8 月 26 日	千代田区教育委員会	12
合　　計　　人　　数		261

7　教育普及事業利用者数実績一覧

事　業　名	項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
企画展記念講演・関連行事等	開催回数（回）	3	1		2	1	1	3	3				1	15
	参加者数（人）	73	12		59	30	28	209	230				55	696
ファミリー自然観察会	開催回数（回）	1		1	1		1			1				5
	参加者数（人）	29		24	28		31			10				122
天体観望会	開催回数（回）		1					1	1	1		1		5
	参加者数（人）		17					33	30	24		37		141
自然史講座	開催回数（回）		1		1				1			1		4
	参加者数（人）		35		27				28			83		173
移動博物館	開催回数（回）			2					2			2		6
	参加者数（人）			1877					467			265		2609
ミュージアムスクール	開催回数（回）		1	4	4	2	2	3	2	2	2	4	2	28
	参加者数（人）		10	13	15	7	5	11	4	5	6	13	15	104
サイエンス・サタデー	開催回数（回）	5	4	3	5	4	3	5	4	4	3	4	4	48
	参加者数（人）	215	108	151	288	233	120	119	95	97	78	118	188	1810
館内授業	開催回数（回）		13	12	9	4	4	17	1		2	1	1	64
	参加者数（人）		462	517	394	183	142	701	23		96	3	44	2565
定時解説	開催回数（回）	68	55	13	55	123	63	63	80	26	33	39	45	663
	参加者数（人）	429	807	27	285	739	291	261	439	86	112	121	171	3768
随時解説	開催回数（回）	1914	2827	1102	2173	2924	1147	1783	1177	627	849	497	867	17887
	参加者数（人）	4522	7002	2868	5382	7200	2941	4718	2991	1495	2197	1101	2196	44613
紙芝居	開催回数（回）	5	4	3	5	4	3	5	4	4	4	4	4	49
	参加者数（人）	86	69	69	116	202	56	119	81	43	75	59	72	1047
一般向けポイント	開催回数（回）	4	8	7	12	10	1	2	8	5	5	1	1	64
	参加者数（人）	37	74	22	60	64	11	10	50	32	26	9	9	404
博物館探検隊	開催回数（回）				1									1
	参加者数（人）				30									30
ビデオ上映会	開催回数（回）	14	18	6	23	56	12	14	14	7	14	10	12	200
	参加者数（人）	400	850	82	636	3037	565	502	273	81	148	96	213	6883
ミュージアムナイトツアー	開催回数（回）										1	1		2
	参加者数（人）										42	40		82
バックヤードツアー	開催回数（回）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		11
	参加者数（人）	9	11	14	11	11	11	11	10	12	8	8		116
高校生学芸員	開催回数（回）		1	5	5	5	4	3	3	5	7	7	2	47
	参加者数（人）		11	7	7	5	5	3	4	11	9	8	11	81
出前授業	開催回数（回）		1	1		3	1	4		4	3	3		20
	参加者数（人）		32	21		150	44	92		190	101	58		688
教職員実技研修会	開催回数（回）					1								1
	参加者数（人）					8								8
職場体験学習	開催回数（回）		4			1	5	5	2		4		3	24
	参加者数（人）		4			4	24	32	2		4		12	82
大人の自然史倶楽部	開催回数（回）							2	2	1				5
	参加者数（人）							10	13	3				26
その他	開催回数（回）		1		2	1					4			8
	参加者数（人）		78		836	2					262			1178
	合計	2015	2941	1160	2299	3140	1248	1911	1305	688	932	576	942	19157
		5800	9582	5692	8174	11875	4274	6831	4740	2089	3164	2019	2986	67226

8　来館者アンケート集計結果

実施日：8/2,3,10　9/3,11　10/15,27　11/5,19　1/25　2/18　3/18,20
回答数：273 人（男 114 人　女 159 人）

来館者データ

住所	
群馬県	66%
埼玉県	10%
東京都	5%
神奈川県	4%
長野県	4%
栃木県	4%
千葉県	1%
その他	4%

誰と来た	
一人で	3%
友達と	11%
家族で	82%
学校で	0%
その他	3%

どんな目的で	
常設展を	19%
企画展を	43%
天気が悪い	3%
何となく	16%
その他	19%

博物館について

何で知ったか			
新聞記事	4%	インターネット	27%
新聞広告	0%	ポスターやチラシ	24%
テレビ	1%	口コミ	4%
ラジオ	1%	特になし	12%
観光情報誌	3%	その他	22%

来館数	
初めて	36%
2～4回	34%
5回以上	30%

職員の対応	
よい	91%
ややよい	8%
ややよくない	0%
よくない	1%

館の施設	
よい	89%
ややよい	11%
ややよくない	0%
よくない	0%

当館の展示	
よい	89%
ややよい	11%
ややよくない	0%
よくない	0%

９　来館者学校アンケート集計結果

アンケート提出校数　～　226 校

学校の所在	
県内	100
県外	126
・東京	75
・埼玉	39
・長野	7
・千葉	3
・栃木	2

来館した学年					
小１	0.4%	中１	3.1%	特別支援	2.7%
小２	0.9%	中２	2.2%	不明	9.3%
小３	2.7%	中３	0.0%	小？	18.6%
小４	14.6%	高１	1.3%	中？	2.7%
小５	31.9%	高２	0.4%	高？	0.4%
小６	8.4%	高３	0.4%		

見学時間	
1時間未満	8%
1時間～1時間30分未満	23%
1時間30分～2時間未満	21%
2時間～2時間30分未満	20%
2時間30分～3時間未満	11%
3時間～3時間30分未満	10%
3時間30分～	4%
不明	3%

学校としての来館数	
初めて	19%
来館したことがある	81%
不明	0%

「初めて来館」した人の情報源	
前の学校で来館	29%
ほかの先生から聞いた	2%
個人的に来館	24%
ホームページ	2%
旅行会社から聞いた	2%
当館のチラシ	27%
その他	12%

来館の観点	
展示の内容（学習効果等）	48%
コースの設定（学校からの距離、旅行目的地の途上にある等）	40%
上記の両方	12%
その他	1%

来館の観点	
他にも目的場所がある	34
当館のみである	192

「他にも目的場所がある」学校の目的場所

富岡製糸場　25%　長野方面　20%　榛名方面(榛名山,榛名湖,伊香保グリーン牧場) 14%
群馬サファリパーク　9%　富士重工業(太田)　8%　こんにゃくパーク　6%
伊勢崎・高崎方面　6%　群馬県庁　3%　谷川・尾瀬方面　2%
富岡市内　2%　嬬恋　2%　妙義　2%
前橋・大胡方面　1%　陸上競技場　1%　その他 1%

今後の当館利用希望			
あり	100%	なし	0%

入館者数一覧

	開館日数	入館者数 入館者計	有料入館者数 有料計	個人計	一般	大・高	小中			団体計	一般	大・高	小中	無料入館者数 無料計	個人計	幼児	小中	65歳	身障者	その他	招待券	団体計	学校	社会教育	特別券
8年度計	132	120,712	72,274	67,465	50,455	1,626	15,384			4,809	3,692	760	357	48,438	39,840		3,931	11,864	1,232	22,813		8,598	6,478	2,120	0
9年度計	301	207,688	120,399	108,699	76,721	2,828	29,150			11,700	6,449	2,200	3,051	86,119	59,045		4,316	14,454	4,092	36,183		27,074	22,806	4,268	1,170
10年度計	304	165,071	87,078	75,535	53,940	1,891	19,704			11,543	4,872	2,112	4,559	77,993	55,216		3,380	12,856	3,445	35,535		22,777	20,533	2,244	0
11年度計	303	150,211	76,710	65,686	45,978	1,715	17,993			11,024	3,459	3,001	4,564	73,501	54,248		3,209	11,391	2,737	36,911		19,253	18,059	1,194	0
12年度計	301	156,633	51,108	46,126	44,700	1,426				4,982	2,862	2,120		104,028	77,600	23,335	24,971	10,280	1,935	13,038	4,041	26,428	25,831	597	1,497
13年度計	303	159,416	56,190	50,893	49,392	1,501				5,297	3,389	1,908		102,897	78,551	24,738	27,022	5,569	866	16,533	3,823	24,346	24,346		329
14年度計	301	166,989	63,759	58,504	56,701	1,632		171	0	5,255	3,209	2,046		103,034	77,599	26,014	32,025		1,314	14,647	3,599	25,435	25,435		196
15年度計	298	171,697	61,013	55,518	53,806	1,493		219	0	5,495	4,428	1,067		110,405	81,682	27,054	33,487		1,446	15,765	3,930	28,723	28,723		279
16年度計	292	160,456	57,588	52,009	50,340	1,468		201	0	5,579	4,333	1,246		102,581	76,587	26,392	30,807		1,613	13,820	3,955	25,994	25,994		287
17年度計	292	153,613	56,936	51,960	50,165	1,630		165	0	4,976	3,589	1,387		96,506	71,646	24,784	28,155		1,714	12,656	4,337	24,860	24,860		171
18年度計	293	166,629	62,612	56,048	54,364	1,531		153	0	6,564	4,852	1,712		103,843	74,550	29,129	29,692		1,671	11,038	3,020	29,293	29,293		174
19年度計	292	161,626	60,907	54,693	52,893	1,630		170	0	6,214	5,561	653		100,590	72,899	28,633	27,860		1,798	11,470	3,138	27,691	27,691		129
20年度計	291	146,170	52,475	47,588	45,761	1,610		212	5	4,887	4,572	315		93,578	64,706	24,564	25,162		1,693	10,501	2,786	28,872	28,872		117
21年度計	290	162,760	62,780	58,346	55,752	2,295		297	2	4,434	3,413	1,021		99,858	71,946	25,663	30,545		1,749	10,544	3,445	27,912	27,912		122
22年度計	288	148,697	57,050	51,172	48,807	2,043		320	2	5,878	4,685	1,193		91,499	64,193	22,853	25,993		1,867	10,654	2,826	27,306	27,306		148
23年度計	291	177,698	68,720	61,269	58,508	2,483		275	3	7,451	6,183	1,268		108,815	81,997	28,783	33,614		2,765	11,497	5,338	26,818	26,818		163
24年度計	290	182,038	73,849	67,598	64,107	3,059		431	1	6,251	4,676	1,575		107,984	80,489	27,846	33,372		2,733	11,621	4,917	27,495	27,495		205
25年度計	288	166,533	65,505	60,853	57,910	2,632		307	4	4,652	3,148	1,504		100,873	74,294	28,497	28,571		2,419	11,074	3,733	26,579	26,579		155
26年度計	289	167,549	66,363	61,604	58,271	2,921		405	7	4,759	3,033	1,726		101,027	73,742	28,006	27,286		2,730	10,591	5,129	27,285	27,285		159
27年度計	290	188,680	77,413	71,165	67,290	3,428		434	13	6,248	4,537	1,711		111,060	81,219	33,343	28,636		3,387	11,226	4,627	29,841	29,841		207
								友の会																	
28年度								一般	高大																特別券
4月	26	15,602	7,464	6,390	6,195	194		1	0	1,074	562	512		8,124	7,693	3,282	2,858		288	723	542	431	431		14
5月	27	24,475	9,569	9,046	8,661	378		7	0	523	217	306		14,884	10,052	4,287	3,628		296	1,065	776	4,832	4,832		22
6月	19	9,817	2,996	2,922	2,813	92		17	0	74	74	0		6,811	3,286	1,373	973		145	766	29	3,525	3,525		10
7月	27	26,095	9,918	9,478	9,149	283		46	0	440	305	135		16,136	10,872	4,777	3,972		336	1,455	332	5,264	5,264		41
8月	31	36,981	18,218	17,168	16,252	867		49	0	1,050	828	222		18,730	18,266	7,147	8,591		683	1,199	646	464	464		33
9月	19	18,113	8,189	7,874	7,433	392		48	1	315	265	50		9,900	8,370	3,778	2,962		415	661	554	1,530	1,530		24
10月	26	27,813	7,862	7,576	7,272	222		82	0	286	174	112		19,911	12,268	3,826	2,716		436	4,945	345	7,643	7,643		40
11月	26	15,359	6,725	5,952	5,705	176		71	0	773	704	69		8,612	7,230	3,102	2,555		259	688	626	1,382	1,382		22
12月	18	5,362	2,494	2,425	2,260	129		36	0	69	69	0		2,859	2,292	1,074	887		124	187	20	567	567		9
1月	23	9,747	4,932	4,924	4,659	188		77	0	8	8	0		4,794	4,577	2,035	1,761		193	417	171	217	217		21
2月	20	8,445	3,993	3,984	3,789	152		43	0	9	9	0		4,441	4,432	1,948	1,460		188	212	624	9	9		11
3月	27	14,213	6,919	6,725	6,190	466		69	0	194	70	124		7,269	6,970	3,266	2,687		321	508	188	299	299		25
28年度計	289	212,022	89,279	84,464	80,378	3,539		546	1	4,815	3,285	1,530		122,471	96,308	39,895	35,050		3,684	12,826	4,853	26,163	26,163		272
合計	6,018	3,492,888	1,440,008	1,307,195	1,176,239	44,381	82,231	4,306	38	132,813	88,227	32,055	12,531	2,047,100	1,508,357	469,529	517,084	66,414	46,890	340,943	67,497	538,743	528,320	10,423	5,780

移動博物館入館者数

	(人)		(人)		(人)		(人)		(人)		(人)		(人)
10年度	979	13年度	1,719	16年度	2,421	19年度	1,959	22年度	2,979	25年度	6,390	28年度	2,609
11年度	1,556	14年度	3,240	17年度	3,416	20年度	1,362	23年度	6,121	26年度	2,171		
12年度	1,646	15年度	3,868	18年度	2,585	21年度	2,793	24年度	2,004	27年度	777	累計	50,595

入館者数一覧〔4月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通ﾊﾟｽ
4/1	金	609	248	240	236	4	0	0	8	8	0	359	359	130	206	3	4	16	0	0	2	2
2	土	989	472	472	455	17	0	0	0	0	0	517	517	217	234	12	17	37	0	0	0	0
3	日	1,252	613	613	585	28	0	0	0	0	0	639	639	236	295	26	32	50	0	0	0	0
4	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	火	890	326	326	321	5	0	0	0	0	0	563	563	165	273	52	45	28	0	0	1	1
6	水	385	154	154	144	10	0	0	0	0	0	231	231	86	108	7	15	15	0	0	0	0
7	木	164	73	73	73	0	0	0	0	0	0	91	91	28	29	9	18	7	0	0	0	0
8	金	54	38	35	33	2	0	0	3	3	0	15	15	7	1	0	7	0	0	0	1	1
9	土	596	287	287	278	9	0	0	0	0	0	309	309	129	112	23	24	21	0	0	0	0
10	日	936	461	461	449	12	0	0	0	0	0	475	475	194	193	16	23	49	0	0	0	0
11	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	火	94	58	58	55	3	0	0	0	0	0	36	36	19	1	7	8	1	0	0	0	0
13	水	59	39	39	37	2	0	0	0	0	0	20	20	10	1	1	2	6	0	0	0	0
14	木	212	110	45	45	0	0	0	65	1	64	102	35	8	3	0	16	8	67	67	0	0
15	金	116	39	39	39	0	0	0	0	0	0	76	76	9	0	1	65	1	0	0	1	1
16	土	718	323	323	317	6	0	0	0	0	0	391	391	161	159	20	23	28	0	0	4	4
17	日	1,230	636	636	615	21	0	0	0	0	0	592	592	242	261	18	20	51	0	0	2	2
18	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	火	54	39	39	38	1	0	0	0	0	0	15	15	8	0	1	2	4	0	0	0	0
20	水	232	33	33	33	0	0	0	0	0	0	199	71	13	6	11	34	7	128	128	0	0
21	木	609	510	62	61	1	0	0	448	0	448	99	99	5	0	5	70	19	0	0	0	0
22	金	85	24	24	23	1	0	0	0	0	0	61	61	6	1	0	51	3	0	0	0	0
23	土	579	257	257	251	6	0	0	0	0	0	322	322	108	119	14	62	19	0	0	0	0
24	日	970	479	479	465	13	1	0	0	0	0	490	490	215	191	14	21	49	0	0	1	1
25	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	火	350	61	61	61	0	0	0	0	0	0	289	53	15	0	8	27	3	236	236	0	0
27	水	61	47	47	47	0	0	0	0	0	0	14	14	10	0	1	1	2	0	0	0	0
28	木	1,368	631	81	80	1	0	0	550	550	0	737	737	651	2	1	78	5	0	0	0	0
祝29	金	1,542	768	768	743	25	0	0	0	0	0	774	774	334	325	23	27	65	0	0	0	0
30	土	1,448	738	738	711	27	0	0	0	0	0	708	708	276	338	15	31	48	0	0	2	2
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		15,602	7,464	6,390	6,195	194	1	0	1,074	562	512	8,124	7,693	3,282	2,858	288	723	542	431	431	14	14

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通ﾊﾟｽ
月TOTAL																						
平 日	16	5,342	2,430	1,356	1,326	30	0	0	1,074	562	512	2,907	2,476	1,170	631	107	443	125	431	431	5	5
土日祝	10	10,260	5,034	5,034	4,869	164	1	0	0	0	0	5,217	5,217	2,112	2,227	181	280	417	0	0	9	9
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	15,602	7,464	6,390	6,195	194	1	0	1,074	562	512	8,124	7,693	3,282	2,858	288	723	542	431	431	14	14
年間TOTAL（平成28年度）																						
平 日	16	5,342	2,430	1,356	1,326	30	0	0	1,074	562	512	2,907	2,476	1,170	631	107	443	125	431	431	5	5
土日祝	10	10,260	5,034	5,034	4,869	164	1	0	0	0	0	5,217	5,217	2,112	2,227	181	280	417	0	0	9	9
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	15,602	7,464	6,390	6,195	194	1	0	1,074	562	512	8,124	7,693	3,282	2,858	288	723	542	431	431	14	14

開館以来の累計（開館日数 57555日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	3,296,468	1,358,193	1,229,121					129,072			1,932,753	1,419,742						513,011		5,522	
平 均	573	236	214					22			336	247						89			

入館者数一覧〔5月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
5/1	日	1,767	912	912	870	42	0	0	0	0	0	854	854	443	301	23	23	64	0	0	1	1
2	月	399	263	263	246	17	0	0	0	0	0	135	135	87	23	4	5	16	0	0	1	1
3	祝	2,222	1,153	1,153	1,113	40	0	0	0	0	0	1,066	1,066	465	488	13	18	82	0	0	3	3
4	祝	3,525	1,850	1,850	1,776	73	1	0	0	0	0	1,675	1,675	696	775	43	45	116	0	0	0	0
5	祝	2,011	1,034	1,034	977	56	1	0	0	0	0	977	977	481	380	23	23	70	0	0	0	0
6	金	247	121	121	117	4	0	0	0	0	0	125	92	45	10	6	25	6	33	33	1	1
7	土	802	376	376	349	27	0	0	0	0	0	424	424	161	162	18	24	59	0	0	2	2
8	日	978	429	429	402	27	0	0	0	0	0	547	547	226	222	15	28	56	0	0	2	2
9	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	火	260	105	76	74	2	0	0	29	29	0	155	104	46	6	2	33	17	51	51	0	0
11	水	623	141	84	82	2	0	0	57	25	32	481	138	72	1	1	55	9	343	343	1	1
12	木	229	76	53	53	0	0	0	23	23	0	153	45	15	1	1	13	15	108	108	0	0
13	金	643	43	43	41	2	0	0	0	0	0	600	143	66	7	0	58	12	457	457	0	0
14	土	820	370	333	322	10	1	0	37	0	37	448	448	181	180	7	18	62	0	0	2	2
15	日	1,355	561	561	546	12	3	0	0	0	0	790	790	325	245	20	30	170	0	0	4	4
16	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	火	352	51	51	49	2	0	0	0	0	0	301	118	50	2	23	43	0	183	183	0	0
18	水	528	47	47	44	3	0	0	0	0	0	481	63	20	0	1	42	0	418	418	0	0
19	木	409	40	40	39	1	0	0	0	0	0	369	65	4	0	3	58	0	304	304	0	0
20	金	432	26	26	24	2	0	0	0	0	0	406	47	5	2	1	39	0	359	359	0	0
21	土	781	347	275	269	6	0	0	72	72	0	433	406	169	160	13	61	3	27	27	1	1
22	日	901	464	464	443	21	0	0	0	0	0	435	435	226	159	15	28	7	0	0	2	2
23	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	火	444	28	28	26	2	0	0	0	0	0	416	37	4	0	1	32	0	379	379	0	0
25	水	946	37	37	37	0	0	0	0	0	0	909	131	37	2	0	85	7	778	778	0	0
26	木	382	49	49	46	3	0	0	0	0	0	333	333	13	294	0	26	0	0	0	0	0
27	金	1,238	300	41	40	1	0	0	259	22	237	938	96	7	0	0	88	1	842	842	0	0
28	土	989	343	297	288	8	1	0	46	46	0	646	357	177	98	16	62	4	289	289	0	0
29	日	929	367	367	352	15	0	0	0	0	0	561	373	176	109	20	68	0	188	188	1	1
30	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	火	263	36	36	36	0	0	0	0	0	0	226	153	90	1	27	35	0	73	73	1	1
計		24,475	9,569	9,046	8,661	378	7	0	523	217	306	14,884	10,052	4,287	3,628	296	1,065	776	4,832	4,832	22	22

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	15	7,395	1,363	995	954	41	0	0	368	99	269	6,028	1,700	561	349	70	637	83	4,328	4,328	4	4
土日祝	12	17,080	8,206	8,051	7,707	337	7	0	155	118	37	8,856	8,352	3,726	3,279	226	428	693	504	504	18	18
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	27	24,475	9,569	9,046	8,661	378	7	0	523	217	306	14,884	10,052	4,287	3,628	296	1,065	776	4,832	4,832	22	22
年間TOTAL（平成28年度）																						
平 日	31	12,737	3,793	2,351	2,280	71	0	0	1,442	661	781	8,935	4,176	1,731	980	177	1,080	208	4,759	4,759	9	9
土日祝	22	27,340	13,240	13,085	12,576	501	8	0	155	118	37	14,073	13,569	5,838	5,506	407	708	1,110	504	504	27	27
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	53	40,077	17,033	15,436	14,856	572	8	0	1,597	779	818	23,008	17,745	7,569	6,486	584	1,788	1,318	5,263	5,263	36	36

開館以来の累計（開館日数 5782日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	3,320,943	1,367,762	1,238,167					129,595			1,947,637	1,429,794						517,843		5,544	
平 均	574	237	214					22			337	247						90			

入館者数一覧〔6月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通ﾊﾟｽ
6/1	水	596	47	45	45	0	0	0	2	2	0	549	66	14	2	6	44	0	483	483	0	0
2	木	187	43	43	43	0	0	0	0	0	0	144	22	8	3	0	11	0	122	122	0	0
3	金	457	103	35	30	5	0	0	68	68	0	354	106	76	2	2	26	0	248	248	0	0
4	土	709	257	257	242	11	4	0	0	0	0	452	247	116	92	6	30	3	205	205	0	0
5	日	938	460	460	435	24	1	0	0	0	0	477	477	203	238	16	16	4	0	0	1	1
6	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	火	178	48	48	48	0	0	0	0	0	0	130	22	9	2	1	10	0	108	108	0	0
8	水	355	57	57	56	1	0	0	0	0	0	298	56	10	0	1	45	0	242	242	0	0
9	木	430	52	52	48	4	0	0	0	0	0	378	100	33	0	25	42	0	278	278	0	0
10	金	324	51	48	47	0	1	0	3	3	0	273	57	11	2	7	34	3	216	216	0	0
11	土	632	264	264	258	6	0	0	0	0	0	367	253	124	92	10	23	4	114	114	1	1
12	日	820	426	426	413	12	1	0	0	0	0	394	394	176	200	4	11	3	0	0	0	0
13	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	水	568	66	66	65	0	1	0	0	0	0	502	66	17	0	1	46	2	436	436	0	0
23	木	226	57	57	54	3	0	0	0	0	0	169	169	115	2	21	31	0	0	0	0	0
24	金	328	48	47	45	2	0	0	1	1	0	279	68	10	1	15	41	1	211	211	1	1
25	土	1,042	413	413	403	7	3	0	0	0	0	628	402	176	159	9	54	4	226	226	1	1
26	日	932	465	465	451	10	4	0	0	0	0	462	434	241	168	7	16	2	28	28	5	5
27	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	火	188	61	61	59	1	1	0	0	0	0	127	33	10	4	2	17	0	94	94	0	0
29	水	460	44	44	41	2	1	0	0	0	0	416	58	13	0	0	42	3	358	358	0	0
30	木	447	34	34	30	4	0	0	0	0	0	412	256	11	6	12	227	0	156	156	1	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		9,817	2,996	2,922	2,813	92	17	0	74	74	0	6,811	3,286	1,373	973	145	766	29	3,525	3,525	10	10

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通ﾊﾟｽ
月TOTAL																						
平 日	13	4,744	711	637	611	22	4	0	74	74	0	4,031	1,079	337	24	93	616	9	2,952	2,952	2	2
土日祝	6	5,073	2,285	2,285	2,202	70	13	0	0	0	0	2,780	2,207	1,036	949	52	150	20	573	573	8	8
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	19	9,817	2,996	2,922	2,813	92	17	0	74	74	0	6,811	3,286	1,373	973	145	766	29	3,525	3,525	10	10
年間TOTAL（平成28年度）																						
平 日	44	17,481	4,504	2,988	2,891	93	4	0	1,516	735	781	12,966	5,255	2,068	1,004	270	1,696	217	7,711	7,711	11	11
土日祝	28	32,413	15,525	15,370	14,778	571	21	0	155	118	37	16,853	15,776	6,874	6,455	459	858	1,130	1,077	1,077	35	35
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	72	49,894	20,029	18,358	17,669	664	25	0	1,671	853	818	29,819	21,031	8,942	7,459	729	2,554	1,347	8,788	8,788	46	46

開館以来の累計（開館日数 5801日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	3,330,760	1,370,758	1,241,089					129,669			1,954,448	1,433,080						521,368		5,554	
平 均	574	236	214					22			337	247						90			

入館者数一覧〔7月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
7/1	金	418	39	39	37	2	0	0	0	0	0	379	93	14	3	0	75	1	286	286	0	0
2	土	717	303	303	294	7	2	0	0	0	0	412	279	144	86	11	35	3	133	133	2	2
3	日	782	426	426	415	10	1	0	0	0	0	352	352	189	133	13	14	3	0	0	4	4
4	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	火	658	53	53	51	2	0	0	0	0	0	605	58	13	0	1	44	0	547	547	0	0
6	水	395	46	46	44	2	0	0	0	0	0	349	94	5	1	2	86	0	255	255	0	0
7	木	356	110	55	55	0	0	0	55	0	55	246	48	14	0	1	32	1	198	198	0	0
8	金	498	40	39	38	1	0	0	1	1	0	458	158	107	1	2	48	0	300	300	0	0
9	土	1,222	549	523	497	23	3	0	26	26	0	670	476	248	153	18	56	1	194	194	3	3
10	日	828	463	463	440	22	1	0	0	0	0	363	363	183	157	10	13	0	0	0	2	2
11	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	火	72	45	45	43	2	0	0	0	0	0	27	27	12	5	6	4	0	0	0	0	0
13	水	328	61	61	59	2	0	0	0	0	0	267	44	15	1	2	23	3	223	223	0	0
14	木	204	69	69	64	5	0	0	0	0	0	134	70	49	3	1	15	2	64	64	1	1
15	金	264	82	82	82	0	0	0	0	0	0	182	167	110	3	13	40	1	15	15	0	0
16	土	1,339	652	588	554	25	9	0	64	64	0	674	674	331	230	17	76	20	0	0	13	13
17	日	2,606	1,397	1,359	1,332	24	3	0	38	38	0	1,209	1,209	608	483	25	38	55	0	0	0	0
18	月	2,161	1,099	1,059	1,024	26	9	0	40	40	0	1,058	1,058	490	467	17	35	49	0	0	4	4
19	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	水	199	109	108	103	3	2	0	1	1	0	88	88	35	25	4	16	8	0	0	2	2
21	木	687	209	209	206	3	0	0	0	0	0	478	360	196	86	6	59	13	118	118	0	0
22	金	1,244	238	234	228	5	1	0	4	4	0	1,006	676	280	227	19	145	5	330	330	0	0
23	土	1,396	458	457	447	8	2	0	1	1	0	938	494	227	165	12	71	19	444	444	0	0
24	日	1,912	857	844	811	26	7	0	13	13	0	1,053	787	373	317	23	55	19	266	266	2	2
25	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	火	1,493	427	404	387	17	0	0	23	23	0	1,066	532	174	202	34	107	15	534	534	0	0
27	水	1,245	320	230	218	11	1	0	90	10	80	923	447	120	196	19	78	34	476	476	2	2
28	木	963	238	176	170	6	0	0	62	62	0	724	287	98	102	8	72	7	437	437	1	1
29	金	1,132	256	251	244	6	1	0	5	5	0	876	600	156	275	29	130	10	276	276	0	0
30	土	1,104	494	485	474	11	0	0	9	9	0	607	511	238	191	23	36	23	96	96	3	3
31	日	1,872	878	870	832	34	4	0	8	8	0	992	920	348	460	20	52	40	72	72	2	2
計		26,095	9,918	9,478	9,149	283	46	0	440	305	135	16,136	10,872	4,777	3,972	336	1,455	332	5,264	5,264	41	41

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	16	10,156	2,342	2,101	2,029	67	5	0	241	106	135	7,808	3,749	1,398	1,130	147	974	100	4,059	4,059	6	6
土日祝	11	15,939	7,576	7,377	7,120	216	41	0	199	199	0	8,328	7,123	3,379	2,842	189	481	232	1,205	1,205	35	35
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	27	26,095	9,918	9,478	9,149	283	46	0	440	305	135	16,136	10,872	4,777	3,972	336	1,455	332	5,264	5,264	41	41
年間TOTAL（平成28年度）																						
平 日	60	27,637	6,846	5,089	4,920	160	9	0	1,757	841	916	20,774	9,004	3,466	2,134	417	2,670	317	11,770	11,770	17	17
土日祝	39	48,352	23,101	22,747	21,898	787	62	0	354	317	37	25,181	22,899	10,253	9,297	648	1,339	1,362	2,282	2,282	70	70
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	99	75,989	29,947	27,836	26,818	947	71	0	2,111	1,158	953	45,955	31,903	13,719	11,431	1,065	4,009	1,679	14,052	14,052	87	87

開館以来の累計（開館日数 5828日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	3,356,855	1,380,676	1,250,567					130,109			1,970,584	1,443,952						526,632		5,595	
平 均	576	237	215					22			338	248						90			

入館者数一覧〔8月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
8/1	月	457	202	199	192	6	1	0	3	3	0	253	253	94	136	2	15	6	0	0	2	2
2	火	751	336	334	324	10	0	0	2	2	0	413	413	185	181	9	29	9	0	0	2	2
3	水	615	297	296	281	14	1	0	1	1	0	318	318	126	128	7	42	15	0	0	0	0
4	木	759	337	303	288	15	0	0	34	34	0	420	420	149	177	18	62	14	0	0	2	2
5	金	815	378	316	294	22	0	0	62	8	54	437	437	123	244	10	47	13	0	0	0	0
6	土	1,097	530	504	465	36	3	0	26	25	1	564	564	223	238	27	54	22	0	0	3	3
7	日	1,606	842	761	724	32	5	0	81	79	2	762	762	326	357	20	35	24	0	0	2	2
8	月	755	349	288	265	22	1	0	61	16	45	406	406	104	205	36	56	5	0	0	0	0
9	火	981	400	381	341	40	0	0	19	19	0	581	581	244	258	22	50	7	0	0	0	0
10	水	942	397	369	350	19	0	0	28	28	0	543	543	176	234	35	89	9	0	0	2	2
11	木	1,904	1,008	967	915	49	3	0	41	40	1	893	889	427	376	20	24	42	4	4	3	3
12	金	1,923	971	883	824	57	2	0	88	62	26	952	952	354	488	23	42	45	0	0	0	0
13	土	1,797	997	916	864	51	1	0	81	47	34	800	785	317	386	23	29	30	15	15	0	0
14	日	2,295	1,289	1,229	1,146	80	3	0	60	57	3	1,006	1,006	431	488	25	33	29	0	0	0	0
15	月	2,242	1,184	1,109	1,063	43	3	0	75	73	2	1,055	1,055	440	478	52	52	33	0	0	3	3
16	火	2,023	1,059	1,011	954	57	0	0	48	48	0	962	962	404	481	16	20	41	0	0	2	2
17	水	1,399	714	683	637	43	3	0	31	29	2	684	684	279	323	36	24	22	0	0	1	1
18	木	1,022	533	532	495	35	2	0	1	1	0	489	489	195	251	12	13	18	0	0	0	0
19	金	1,239	503	479	460	19	0	0	24	24	0	732	732	212	428	24	50	18	0	0	4	4
20	土	1,923	1,031	956	924	31	1	0	75	54	21	892	892	380	386	45	44	37	0	0	0	0
21	日	1,819	936	896	874	21	1	0	40	39	1	883	874	351	414	35	35	39	9	9	0	0
22	月	469	250	239	227	12	0	0	11	10	1	219	219	52	142	7	10	8	0	0	0	0
23	火	710	303	265	248	14	3	0	38	35	3	406	365	106	164	23	44	28	41	41	1	1
24	水	937	365	343	332	10	1	0	22	22	0	572	437	119	198	30	73	17	135	135	0	0
25	木	777	280	268	257	8	3	0	12	12	0	497	449	203	169	20	46	11	48	48	0	0
26	金	866	246	242	221	21	0	0	4	4	0	620	408	112	177	29	72	18	212	212	0	0
27	土	1,736	917	899	869	28	2	0	18	18	0	817	817	367	356	31	34	29	0	0	2	2
28	日	1,995	1,043	1,024	979	40	5	0	19	19	0	951	951	422	454	16	23	36	0	0	1	1
29	月	483	202	199	188	8	3	0	3	3	0	280	280	79	152	20	27	2	0	0	1	1
30	火	389	185	148	136	11	1	0	37	11	26	202	202	108	60	5	16	13	0	0	2	2
31	水	255	134	129	115	13	1	0	5	5	0	121	121	39	62	5	9	6	0	0	0	0
計		36,981	18,218	17,168	16,252	867	49	0	1,050	828	222	18,730	18,266	7,147	8,591	683	1,199	646	464	464	33	33

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	22	20,809	9,625	9,016	8,492	499	25	0	609	450	159	11,162	10,726	3,903	5,136	441	888	358	436	436	22	22
土日祝	9	16,172	8,593	8,152	7,760	368	24	0	441	378	63	7,568	7,540	3,244	3,455	242	311	288	28	28	11	11
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	31	36,981	18,218	17,168	16,252	867	49	0	1,050	828	222	18,730	18,266	7,147	8,591	683	1,199	646	464	464	33	33
年間TOTAL（平成28年度）																						
平 日	82	48,446	16,471	14,105	13,412	659	34	0	2,366	1,291	1,075	31,936	19,730	7,369	7,270	858	3,558	675	12,206	12,206	39	39
土日祝	48	64,524	31,694	30,899	29,658	1,155	86	0	795	695	100	32,749	30,439	13,497	12,752	890	1,650	1,650	2,310	2,310	81	81
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	130	112,970	48,165	45,004	43,070	1,814	120	0	3,161	1,986	1,175	64,685	50,169	20,866	20,022	1,748	5,208	2,325	14,516	14,516	120	120

開館以来の累計（開館日数 5859日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	3,393,836	1,398,894	1,267,735					131,159			1,989,314	1,462,218						527,096		5,628	
平 均	579	239	216					22			340	250						90			

入館者数一覧〔9月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通ﾊﾟｽ
9/1	木	132	75	73	60	13	0	0	2	2	0	57	57	38	3	2	7	7	0	0	0	0
2	金	193	70	64	61	3	0	0	6	6	0	123	123	56	1	22	40	4	0	0	0	0
3	土	1,049	517	448	426	19	3	0	69	69	0	526	526	234	190	36	29	37	0	0	6	6
4	日	1,797	928	905	869	28	8	0	23	21	2	869	869	383	385	21	20	60	0	0	0	0
5	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	火	159	107	99	89	10	0	0	8	5	3	52	52	33	2	4	8	5	0	0	0	0
7	水	752	98	98	91	7	0	0	0	0	0	654	335	232	5	4	86	8	319	319	0	0
8	木	309	100	100	88	12	0	0	0	0	0	209	133	44	4	29	53	3	76	76	0	0
9	金	309	129	85	68	17	0	0	44	20	24	180	75	42	1	2	25	5	105	105	0	0
10	土	1,269	524	488	451	27	9	1	36	36	0	743	563	197	276	16	40	34	180	180	2	2
11	日	1,468	741	724	693	27	4	0	17	17	0	723	723	332	299	19	19	54	0	0	4	4
12	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	火	359	127	106	90	16	0	0	21	21	0	232	232	160	1	39	26	6	0	0	0	0
14	水	310	98	72	69	3	0	0	26	5	21	212	55	14	0	3	29	9	157	157	0	0
15	木	151	62	62	56	5	1	0	0	0	0	89	30	17	0	2	6	5	59	59	0	0
16	金	659	83	83	64	18	1	0	0	0	0	576	216	63	0	63	81	9	360	360	0	0
17	土	1,127	446	436	422	9	5	0	10	10	0	679	452	193	178	10	39	32	227	227	2	2
18	日	3,506	1,915	1,891	1,816	72	3	0	24	24	0	1,589	1,589	718	703	42	48	78	0	0	2	2
19	祝	2,316	1,173	1,165	1,116	46	3	0	8	8	0	1,139	1,139	499	474	36	40	90	0	0	4	4
20	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	水	302	95	92	79	12	1	0	3	3	0	206	159	77	0	41	28	13	47	47	1	1
22	祝	1,946	901	883	825	48	10	0	18	18	0	1,042	1,042	446	440	24	37	95	0	0	3	3
23	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		18,113	8,189	7,874	7,433	392	48	1	315	265	50	9,900	8,370	3,778	2,962	415	661	554	1,530	1,530	24	24

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通ﾊﾟｽ
月TOTAL																						
平 日	11	3,635	1,044	934	815	116	3	0	110	62	48	2,590	1,467	776	17	211	389	74	1,123	1,123	1	1
土日祝	8	14,478	7,145	6,940	6,618	276	45	1	205	203	2	7,310	6,903	3,002	2,945	204	272	480	407	407	23	23
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	19	18,113	8,189	7,874	7,433	392	48	1	315	265	50	9,900	8,370	3,778	2,962	415	661	554	1,530	1,530	24	24
年間TOTAL（平成28年度）																						
平 日	93	52,081	17,515	15,039	14,227	775	37	0	2,476	1,353	1,123	34,526	21,197	8,145	7,287	1,069	3,947	749	13,329	13,329	40	40
土日祝	56	79,002	38,839	37,839	36,276	1,431	131	1	1,000	898	102	40,059	37,342	16,499	15,697	1,094	1,922	2,130	2,717	2,717	104	104
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	149	131,083	56,354	52,878	50,503	2,206	168	1	3,476	2,251	1,225	74,585	58,539	24,644	22,984	2,163	5,869	2,879	16,046	16,046	144	144

開館以来の累計（開館日数 5878日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	3,411,949	1,407,083	1,275,609					131,474			1,999,214	1,470,588						528,626		5,652	
平 均	580	239	217					22			340	250						90			

入館者数一覧〔10月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
10/1	土	1,508	584	559	541	10	8	0	25	25	0	922	688	281	243	59	81	24	234	234	2	2
2	日	1,022	547	547	502	31	14	0	0	0	0	470	470	215	188	17	25	25	0	0	5	5
3	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	火	540	50	50	48	2	0	0	0	0	0	489	159	60	2	44	50	3	330	330	1	1
5	水	639	92	92	87	4	1	0	0	0	0	546	117	14	4	25	69	5	429	429	1	1
6	木	863	98	58	56	0	2	0	40	0	40	765	90	19	2	3	64	2	675	675	0	0
7	金	816	59	59	57	1	1	0	0	0	0	753	155	75	6	7	66	1	598	598	4	4
8	土	1,166	559	559	543	6	10	0	0	0	0	602	512	214	199	41	42	16	90	90	5	5
9	日	2,578	1,319	1,319	1,286	28	5	0	0	0	0	1,252	1,252	607	515	31	42	57	0	0	7	7
10	祝	1,779	875	875	840	19	16	0	0	0	0	902	902	401	382	42	35	42	0	0	2	2
11	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	水	476	84	84	75	9	0	0	0	0	0	391	104	61	9	3	30	1	287	287	1	1
13	木	312	39	39	39	0	0	0	0	0	0	273	67	38	2	2	25	0	206	206	0	0
14	金	869	67	67	61	6	0	0	0	0	0	801	157	82	2	0	71	2	644	644	1	1
15	土	601	308	308	290	15	3	0	0	0	0	293	293	128	97	30	26	12	0	0	0	0
16	日	1,190	623	623	596	24	3	0	0	0	0	562	562	247	225	11	48	31	0	0	5	5
17	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	火	711	72	72	71	1	0	0	0	0	0	639	103	29	2	5	62	5	536	536	0	0
19	水	983	88	61	59	2	0	0	27	27	0	895	119	34	4	3	76	2	776	776	0	0
20	木	849	132	41	39	2	0	0	91	91	0	717	152	67	3	2	75	5	565	565	0	0
21	金	915	54	54	53	1	0	0	0	0	0	861	166	55	10	29	65	7	695	695	0	0
22	土	1,164	448	448	412	31	5	0	0	0	0	714	444	184	165	20	56	19	270	270	2	2
23	日	1,237	588	588	570	11	7	0	0	0	0	648	648	318	265	16	16	33	0	0	1	1
24	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	火	382	45	45	43	2	0	0	0	0	0	337	202	159	0	6	35	2	135	135	0	0
26	水	682	79	54	51	3	0	0	25	25	0	603	87	18	6	6	55	2	516	516	0	0
27	木	967	109	51	50	1	0	0	58	0	58	858	201	125	0	0	72	4	657	657	0	0
28	金	3,728	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,728	3,728	0	0	0	3,728	0	0	0	0	0
29	土	784	387	387	379	3	5	0	0	0	0	395	395	173	181	11	10	20	0	0	2	2
30	日	1,052	556	536	524	10	2	0	20	6	14	495	495	222	204	23	21	25	0	0	1	1
31	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		27,813	7,862	7,576	7,272	222	82	0	286	174	112	19,911	12,268	3,826	2,716	436	4,945	345	7,643	7,643	40	40

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	14	10,004	1,068	827	789	34	4	0	241	143	98	8,928	1,879	836	52	135	815	41	7,049	7,049	8	8
土日祝	11	14,081	6,794	6,749	6,483	188	78	0	45	31	14	7,255	6,661	2,990	2,664	301	402	304	594	594	32	32
無料日	1	3,728	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,728	3,728	0	0	0	3,728	0	0	0	0	0
合 計	26	27,813	7,862	7,576	7,272	222	82	0	286	174	112	19,911	12,268	3,826	2,716	436	4,945	345	7,643	7,643	40	40
年間TOTAL（平成28年度）																						
平 日	107	62,085	18,583	15,866	15,016	809	41	0	2,717	1,496	1,221	43,454	23,076	8,981	7,339	1,204	4,762	790	20,378	20,378	48	48
土日祝	67	93,083	45,633	44,588	42,759	1,619	209	1	1,045	929	116	47,314	44,003	19,489	18,361	1,395	2,324	2,434	3,311	3,311	136	136
無料日	1	3,728	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,728	3,728	0	0	0	3,728	0	0	0	0	0
合 計	175	158,896	64,216	60,454	57,775	2,428	250	1	3,762	2,425	1,337	94,496	70,807	28,470	25,700	2,599	10,814	3,224	23,689	23,689	184	184

開館以来の累計（開館日数 5904日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	3,439,762	1,414,945	1,283,185					131,760			2,019,125	1,482,856						536,269		5,692	
平 均	583	240	217					22			342	251						91			

入館者数一覧〔11月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
11/1	火	265	122	45	40	4	1	0	77	77	0	142	142	87	1	10	39	5	0	0	1	1
2	水	530	88	61	58	3	0	0	27	27	0	442	191	14	99	3	73	2	251	251	0	0
3	祝	1,170	559	531	507	20	4	0	28	28	0	610	610	307	236	13	18	36	0	0	1	1
4	金	329	151	120	112	8	0	0	31	31	0	178	72	39	15	5	10	3	106	106	0	0
5	土	1,031	534	387	365	17	5	0	147	147	0	496	496	264	164	15	36	17	0	0	1	1
6	日	1,286	692	524	504	12	8	0	168	166	2	592	592	247	296	12	21	16	0	0	2	2
7	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	火	219	68	45	45	0	0	0	23	23	0	150	90	62	0	3	14	11	60	60	1	1
9	水	206	73	53	48	3	2	0	20	20	0	133	71	32	0	16	20	3	62	62	0	0
10	木	299	44	44	44	0	0	0	0	0	0	255	100	10	0	2	84	4	155	155	0	0
11	金	356	116	80	76	4	0	0	36	0	36	240	130	38	4	30	54	4	110	110	0	0
12	土	636	328	328	321	3	4	0	0	0	0	305	305	129	116	23	14	23	0	0	3	3
13	日	1,252	641	641	635	6	0	0	0	0	0	610	610	311	224	14	14	47	0	0	1	1
14	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	火	149	81	58	53	4	1	0	23	23	0	68	68	40	4	6	11	7	0	0	0	0
16	水	255	61	57	54	0	3	0	4	4	0	194	94	60	0	4	23	7	100	100	0	0
17	木	85	62	62	61	1	0	0	0	0	0	23	23	13	1	2	2	5	0	0	0	0
18	金	391	71	38	35	3	0	0	33	2	31	320	123	13	2	19	78	11	197	197	0	0
19	土	1,000	518	518	494	19	5	0	0	0	0	481	481	201	207	15	18	40	0	0	1	1
20	日	1,289	603	558	537	16	5	0	45	45	0	681	681	286	280	13	25	77	0	0	5	5
21	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	火	127	47	47	45	2	0	0	0	0	0	80	80	53	5	3	12	7	0	0	0	0
23	祝	1,461	618	596	567	13	16	0	22	22	0	842	842	330	354	15	25	118	0	0	1	1
24	木	295	30	30	30	0	0	0	0	0	0	265	25	4	2	1	13	5	240	240	0	0
25	金	201	44	44	39	0	5	0	0	0	0	157	73	42	1	5	20	5	84	84	0	0
26	土	887	404	384	360	20	4	0	20	20	0	479	479	187	192	11	24	65	0	0	4	4
27	日	1,472	659	630	607	15	8	0	29	29	0	812	812	311	349	14	30	108	0	0	1	1
28	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	火	67	42	42	39	3	0	0	0	0	0	25	25	20	2	0	3	0	0	0	0	0
30	水	101	69	29	29	0	0	0	40	40	0	32	15	2	1	5	7	0	17	17	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		15,359	6,725	5,952	5,705	176	71	0	773	704	69	8,612	7,230	3,102	2,555	259	688	626	1,382	1,382	22	22

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	16	3,875	1,169	855	808	35	12	0	314	247	67	2,704	1,322	529	137	114	463	79	1,382	1,382	2	2
土日祝	10	11,484	5,556	5,097	4,897	141	59	0	459	457	2	5,908	5,908	2,573	2,418	145	225	547	0	0	20	20
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	15,359	6,725	5,952	5,705	176	71	0	773	704	69	8,612	7,230	3,102	2,555	259	688	626	1,382	1,382	22	22
年間TOTAL（平成28年度）																						
平 日	123	65,960	19,752	16,721	15,824	844	53	0	3,031	1,743	1,288	46,158	24,398	9,510	7,476	1,318	5,225	869	21,760	21,760	50	50
土日祝	77	104,567	51,189	49,685	47,656	1,760	268	1	1,504	1,386	118	53,222	49,911	22,062	20,779	1,540	2,549	2,981	3,311	3,311	156	156
無料日	1	3,728	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,728	3,728	0	0	0	3,728	0	0	0	0	0
合 計	201	174,255	70,941	66,406	63,480	2,604	321	1	4,535	3,129	1,406	103,108	78,037	31,572	28,255	2,858	11,502	3,850	25,071	25,071	206	206

開館以来の累計（開館日数 5930日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	3,455,121	1,421,670	1,289,137					132,533			2,027,737	1,490,086						537,651		5,714	
平 均	583	240	217					22			342	251						91			

入館者数一覧〔12月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
12/1	木	148	22	19	16	3	0	0	3	3	0	126	15	6	2	0	7	0	111	111	0	0
2	金	62	17	17	15	2	0	0	0	0	0	44	44	29	3	5	7	0	0	0	1	1
3	土	437	192	192	186	1	5	0	0	0	0	242	242	91	69	55	26	1	0	0	3	3
4	日	639	354	324	308	11	5	0	30	30	0	284	284	155	106	9	9	5	0	0	1	1
5	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	火	199	71	40	40	0	0	0	31	31	0	128	101	59	1	3	38	0	27	27	0	0
7	水	77	58	58	56	2	0	0	0	0	0	19	19	8	0	1	10	0	0	0	0	0
8	木	98	53	49	49	0	0	0	4	4	0	45	9	5	0	1	3	0	36	36	0	0
9	金	53	38	37	37	0	0	0	1	1	0	15	15	13	1	0	1	0	0	0	0	0
10	土	489	220	220	205	12	3	0	0	0	0	267	267	84	167	5	11	0	0	0	2	2
11	日	562	322	322	273	46	3	0	0	0	0	239	239	126	98	8	6	1	0	0	1	1
12	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	土	332	146	146	140	2	4	0	0	0	0	186	186	69	81	12	17	7	0	0	0	0
18	日	443	222	222	206	6	10	0	0	0	0	221	221	122	84	4	11	0	0	0	0	0
19	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	火	177	27	27	23	4	0	0	0	0	0	150	28	16	0	1	9	2	122	122	0	0
21	水	33	28	28	27	1	0	0	0	0	0	5	5	2	0	1	2	0	0	0	0	0
22	木	318	22	22	19	3	0	0	0	0	0	296	25	5	3	3	14	0	271	271	0	0
23	祝	515	267	267	246	18	3	0	0	0	0	248	248	115	123	4	4	2	0	0	0	0
24	土	368	202	202	192	7	3	0	0	0	0	165	165	83	71	5	4	2	0	0	1	1
25	日	412	233	233	222	11	0	0	0	0	0	179	179	86	78	7	8	0	0	0	0	0
26	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		5,362	2,494	2,425	2,260	129	36	0	69	69	0	2,859	2,292	1,074	887	124	187	20	567	567	9	9

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	9	1,165	336	297	282	15	0	0	39	39	0	828	261	143	10	15	91	2	567	567	1	1
土日祝	9	4,197	2,158	2,128	1,978	114	36	0	30	30	0	2,031	2,031	931	877	109	96	18	0	0	8	8
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	18	5,362	2,494	2,425	2,260	129	36	0	69	69	0	2,859	2,292	1,074	887	124	187	20	567	567	9	9
年間TOTAL（平成28年度）																						
平 日	132	67,125	20,088	17,018	16,106	859	53	0	3,070	1,782	1,288	46,986	24,659	9,653	7,486	1,333	5,316	871	22,327	22,327	51	51
土日祝	86	108,764	53,347	51,813	49,634	1,874	304	1	1,534	1,416	118	55,253	51,942	22,993	21,656	1,649	2,645	2,999	3,311	3,311	164	164
無料日	1	3,728	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,728	3,728	0	0	0	3,728	0	0	0	0	0
合 計	219	179,617	73,435	68,831	65,740	2,733	357	1	4,604	3,198	1,406	105,967	80,329	32,646	29,142	2,982	11,689	3,870	25,638	25,638	215	215

開館以来の累計（開館日数 5948日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	3,460,483	1,424,164	1,291,562					132,602			2,030,596	1,492,378						538,218		5,723	
平 均	582	239	217					22			341	251						90			

入館者一覧〔1月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
1/1	祝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	月	549	313	313	290	20	3	0	0	0	0	236	236	121	94	11	10	0	0	0	0	0
3	火	814	463	463	430	32	1	0	0	0	0	349	349	168	159	12	9	1	0	0	2	2
4	水	610	329	329	314	15	0	0	0	0	0	281	281	136	133	6	6	0	0	0	0	0
5	木	338	166	166	156	9	1	0	0	0	0	172	172	80	81	5	4	2	0	0	0	0
6	金	452	185	185	174	9	2	0	0	0	0	267	267	65	157	17	28	0	0	0	0	0
7	土	539	288	288	276	11	1	0	0	0	0	249	249	114	107	14	14	0	0	0	2	2
8	日	949	553	553	534	13	6	0	0	0	0	396	396	203	177	8	7	1	0	0	0	0
9	祝	651	360	360	333	19	8	0	0	0	0	290	290	177	91	12	10	0	0	0	1	1
10	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	土	486	208	208	200	5	3	0	0	0	0	275	275	84	75	3	102	11	0	0	3	3
15	日	535	265	265	242	7	16	0	0	0	0	270	270	121	106	12	11	20	0	0	0	0
16	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	火	56	31	31	31	0	0	0	0	0	0	23	23	16	3	1	1	2	0	0	2	2
18	水	184	49	49	48	1	0	0	0	0	0	135	35	20	0	2	13	0	100	100	0	0
19	木	122	58	58	56	0	2	0	0	0	0	64	64	49	0	2	7	6	0	0	0	0
20	金	193	38	38	37	0	1	0	0	0	0	155	46	25	5	1	12	3	109	109	0	0
21	土	565	241	241	220	8	13	0	0	0	0	322	322	126	111	17	51	17	0	0	2	2
22	日	894	462	462	448	8	6	0	0	0	0	432	432	205	175	15	15	22	0	0	0	0
23	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	火	89	35	33	30	2	1	0	2	2	0	53	45	8	0	17	17	3	8	8	1	1
25	水	49	36	35	31	4	0	0	1	1	0	11	11	4	2	2	1	2	0	0	2	2
26	木	71	42	37	36	1	0	0	5	5	0	28	28	18	0	1	3	6	0	0	1	1
27	金	32	17	17	15	2	0	0	0	0	0	15	15	3	3	4	4	1	0	0	0	0
28	土	576	276	276	267	5	4	0	0	0	0	297	297	134	124	2	4	33	0	0	3	3
29	日	932	478	478	456	13	9	0	0	0	0	452	452	145	158	27	86	36	0	0	2	2
30	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	火	61	39	39	35	4	0	0	0	0	0	22	22	13	0	2	2	5	0	0	0	0
計		9,747	4,932	4,924	4,659	188	77	0	8	8	0	4,794	4,577	2,035	1,761	193	417	171	217	217	21	21

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	14	3,620	1,801	1,793	1,683	99	11	0	8	8	0	1,811	1,594	726	637	83	117	31	217	217	8	8
土日祝	9	6,127	3,131	3,131	2,976	89	66	0	0	0	0	2,983	2,983	1,309	1,124	110	300	140	0	0	13	13
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	23	9,747	4,932	4,924	4,659	188	77	0	8	8	0	4,794	4,577	2,035	1,761	193	417	171	217	217	21	21
年間TOTAL（平成28年度）																						
平 日	146	70,745	21,889	18,811	17,789	958	64	0	3,078	1,790	1,288	48,797	26,253	10,379	8,123	1,416	5,433	902	22,544	22,544	59	59
土日祝	95	114,891	56,478	54,944	52,610	1,963	370	1	1,534	1,416	118	58,236	54,925	24,302	22,780	1,759	2,945	3,139	3,311	3,311	177	177
無料日	1	3,728	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,728	3,728	0	0	0	3,728	0	0	0	0	0
合 計	242	189,364	78,367	73,755	70,399	2,921	434	1	4,612	3,206	1,406	110,761	84,906	34,681	30,903	3,175	12,106	4,041	25,855	25,855	236	236

開館以来の累計（開館日数 5971日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	3,470,230	1,429,096	1,296,486					132,610			2,035,390	1,496,955						538,435		5,744	
平 均	581	239	217					22			341	251						90			

入館者数一覧〔2月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
2/1	水	81	39	39	35	4	0	0	0	0	0	42	42	13	7	6	6	10	0	0	0	0
2	木	96	56	56	50	5	1	0	0	0	0	40	34	19	7	2	3	3	6	6	0	0
3	金	64	42	42	42	0	0	0	0	0	0	21	21	16	2	0	3	0	0	0	1	1
4	土	550	245	245	227	14	4	0	0	0	0	301	301	104	105	27	26	39	0	0	4	4
5	日	994	501	501	487	10	4	0	0	0	0	492	492	231	181	12	8	60	0	0	1	1
6	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	火	127	85	83	77	4	2	0	2	2	0	42	42	25	1	1	2	13	0	0	0	0
8	水	85	59	57	55	2	0	0	2	2	0	26	26	17	1	1	0	7	0	0	0	0
9	木	74	45	45	40	5	0	0	0	0	0	29	29	13	4	3	3	6	0	0	0	0
10	金	101	43	41	33	8	0	0	2	2	0	58	58	16	5	26	8	3	0	0	0	0
11	祝	885	428	428	413	13	2	0	0	0	0	454	454	186	176	10	15	67	0	0	3	3
12	日	1,172	576	576	555	13	8	0	0	0	0	595	595	245	228	14	15	93	0	0	1	1
13	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	火	96	48	48	46	2	0	0	0	0	0	48	48	35	2	0	3	8	0	0	0	0
15	水	126	50	50	48	2	0	0	0	0	0	76	76	46	1	9	7	13	0	0	0	0
16	木	96	53	53	37	15	1	0	0	0	0	42	39	14	2	6	6	11	3	3	1	1
17	金	233	43	42	38	2	2	0	1	1	0	190	190	158	1	0	18	13	0	0	0	0
18	土	826	338	338	327	6	5	0	0	0	0	488	488	181	177	13	20	97	0	0	0	0
19	日	1,341	546	546	525	12	9	0	0	0	0	795	795	316	260	19	20	180	0	0	0	0
20	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	土	524	295	295	272	20	3	0	0	0	0	229	229	106	97	19	7	0	0	0	0	0
26	日	834	434	434	424	9	1	0	0	0	0	400	400	166	198	19	17	0	0	0	0	0
27	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	火	140	67	65	58	6	1	0	2	2	0	73	73	41	5	1	25	1	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		8,445	3,993	3,984	3,789	152	43	0	9	9	0	4,441	4,432	1,948	1,460	188	212	624	9	9	11	11

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	12	1,319	630	621	559	55	7	0	9	9	0	687	678	413	38	55	84	88	9	9	2	2
土日祝	8	7,126	3,363	3,363	3,230	97	36	0	0	0	0	3,754	3,754	1,535	1,422	133	128	536	0	0	9	9
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	20	8,445	3,993	3,984	3,789	152	43	0	9	9	0	4,441	4,432	1,948	1,460	188	212	624	9	9	11	11
年間TOTAL（平成28年度）																						
平 日	158	72,064	22,519	19,432	18,348	1,013	71	0	3,087	1,799	1,288	49,484	26,931	10,792	8,161	1,471	5,517	990	22,553	22,553	61	61
土日祝	103	122,017	59,841	58,307	55,840	2,060	406	1	1,534	1,416	118	61,990	58,679	25,837	24,202	1,892	3,073	3,675	3,311	3,311	186	186
無料日	1	3,728	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,728	3,728	0	0	0	3,728	0	0	0	0	0
合 計	262	197,809	82,360	77,739	74,188	3,073	477	1	4,621	3,215	1,406	115,202	89,338	36,629	32,363	3,363	12,318	4,665	25,864	25,864	247	247

開館以来の累計（開館日数 5991日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	3,478,675	1,433,089	1,300,470					132,619			2,039,831	1,501,387						538,444		5,755	
平 均	581	239	217					22			340	251						90			

入館者数一覧〔3月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
3/1	水	48	38	38	32	6	0	0	0	0	0	10	10	7	1	0	2	0	0	0	0	0
2	木	81	50	50	40	10	0	0	0	0	0	31	31	19	3	3	6	0	0	0	0	0
3	金	150	35	35	32	3	0	0	0	0	0	115	115	94	0	2	18	1	0	0	0	0
4	土	664	342	306	292	12	2	0	36	36	0	318	318	144	146	11	13	4	0	0	4	4
5	日	796	446	425	391	24	10	0	21	20	1	349	349	175	154	10	9	1	0	0	1	1
6	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	火	118	53	53	39	14	0	0	0	0	0	65	65	46	0	10	9	0	0	0	0	0
8	水	169	80	80	56	24	0	0	0	0	0	89	89	58	1	12	18	0	0	0	0	0
9	木	221	65	65	30	33	2	0	0	0	0	156	156	88	1	16	51	0	0	0	0	0
10	金	140	37	37	30	7	0	0	0	0	0	103	59	54	0	0	5	0	44	44	0	0
11	土	633	337	337	321	12	4	0	0	0	0	296	296	159	96	23	15	3	0	0	0	0
12	日	956	535	535	509	21	5	0	0	0	0	420	420	196	205	7	9	3	0	0	1	1
13	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	火	242	72	72	53	19	0	0	0	0	0	169	169	109	1	27	32	0	0	0	1	1
15	水	169	48	48	39	9	0	0	0	0	0	121	121	109	1	0	11	0	0	0	0	0
16	木	227	76	76	62	14	0	0	0	0	0	150	150	102	1	4	43	0	0	0	1	1
17	金	114	73	71	56	14	1	0	2	2	0	39	39	26	6	3	4	0	0	0	2	2
18	土	927	342	342	326	11	5	0	0	0	0	585	330	160	113	10	36	11	255	255	0	0
19	日	1,523	837	837	812	21	4	0	0	0	0	684	684	334	275	15	18	42	0	0	2	2
20	祝	1,115	571	571	539	22	10	0	0	0	0	542	542	233	238	17	31	23	0	0	2	2
21	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	水	171	125	124	100	23	1	0	1	1	0	46	46	25	14	3	3	1	0	0	0	0
23	木	207	114	113	96	17	0	0	1	1	0	92	92	51	34	1	5	1	0	0	1	1
24	金	176	103	103	82	19	2	0	0	0	0	73	73	38	32	1	1	1	0	0	0	0
25	土	686	363	363	331	24	8	0	0	0	0	320	320	126	134	26	23	11	0	0	3	3
26	日	1,619	872	872	842	26	4	0	0	0	0	743	743	347	322	18	18	38	0	0	4	4
27	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	火	811	308	307	272	29	6	0	1	1	0	502	502	123	275	50	44	10	0	0	1	1
29	水	848	315	313	287	24	2	0	2	2	0	533	533	190	288	10	28	17	0	0	0	0
30	木	688	302	296	284	11	1	0	6	6	0	386	386	149	173	31	26	7	0	0	0	0
31	金	714	380	256	237	17	2	0	124	1	123	332	332	104	173	11	30	14	0	0	2	2
計		14,213	6,919	6,725	6,190	466	69	0	194	70	124	7,269	6,970	3,266	2,687	321	508	188	299	299	25	25

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	18	5,294	2,274	2,137	1,827	293	17	0	137	14	123	3,012	2,968	1,392	1,004	184	336	52	44	44	8	8
土日祝	9	8,919	4,645	4,588	4,363	173	52	0	57	56	1	4,257	4,002	1,874	1,683	137	172	136	255	255	17	17
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	27	14,213	6,919	6,725	6,190	466	69	0	194	70	124	7,269	6,970	3,266	2,687	321	508	188	299	299	25	25
年間TOTAL（平成28年度）																						
平 日	176	77,358	24,793	21,569	20,175	1,306	88	0	3,224	1,813	1,411	52,496	29,899	12,184	9,165	1,655	5,853	1,042	22,597	22,597	69	69
土日祝	112	130,936	64,486	62,895	60,203	2,233	458	1	1,591	1,472	119	66,247	62,681	27,711	25,885	2,029	3,245	3,811	3,566	3,566	203	203
無料日	1	3,728	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,728	3,728	0	0	0	3,728	0	0	0	0	0
合 計	289	212,022	89,279	84,464	80,378	3,539	546	1	4,815	3,285	1,530	122,471	96,308	39,895	35,050	3,684	12,826	4,853	26,163	26,163	272	272

開館以来の累計（開館日数 6018日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	3,492,888	1,440,008	1,307,195					132,813			2,047,100	1,508,357						538,743		5,780	
平 均	580	239	217					22			340	251						90			

１１　職員名簿

職　　名		氏　　名	当館における履歴
名誉館長（嘱託）		長谷川　善和	7.4～　8.3 建設準備室参与 8.4～　22.3 館長 22.4～ 名誉館長
館長		藤巻　敦	28.4～
次長（総務係長）		浅野　春仁	28.4～
次長（学芸係長）		岩井　利信	22.4～25.3 教育普及係主幹 27.4～
総務係	主幹	佐藤　泰利	25.4～
	主任	畑　祐栄	13.4.～19.3 28.4～
教育普及係	教育普及係長	戸所　雄彦	24.4～28.3 主幹 28.4～29.3 教育普及係長
	主幹	小須田　健志	23.4～
	主幹	静野　聡	6.4～7.3 建設準備室（嘱託） 27.4～
	副主幹	月田　典寿	11.4～12.3 資料整理員（嘱託） 27.4～
学芸係	主幹	高橋　克之	12.4～
	主幹	大森　威宏	10.4～
	主幹（学芸員）	髙桒　祐司	5.4～8.3 建設準備室 8.4～
	主幹（学芸員）	木村　敏之	14.4～
	主幹	茂木　誠	6.4～7.3 建設準備室（嘱託） 26.4～
	主幹	佐藤　利正	28.4～29.3
	副主幹（学芸員）	姉崎　智子	17.4～
	主任（学芸員）	菅原　久誠	25.4～
展示解説員 （嘱託）	高橋　弘美　外所　宏美　菊地　如子　佐々木尚子 近藤　愛子　松本恵利那　林　夏希　荻原　千晴		